

平成 25 年度
救急医療アンケート調
査結果

救急医療委員会

目 次

ページ

| | |
|---|-----|
| 総 括 | ①～⑫ |
| 調査事項 | |
| ① 病院の基本情報 | 1 |
| ●地域別 | 1 |
| ●都道府県別 | 2 |
| ●設立母体 | 3 |
| ●常勤医数 | 3 |
| ●救急外来対応可能な科 | 4 |
| ●病床数 | 5 |
| ●救急体制 | 5 |
| ●二次救急病院の場合、常勤の専門医が救急医療に携わっていますか | 6 |
| ●DPC 病院(準備病院含む)の有無 | 6 |
| ②救急車不応需率 | 7 |
| ●年間救急車受け入れ台数 | 7 |
| ●救急車からの入院率 | 10 |
| ●年間救急車不応需 | 13 |
| ③時間外救急患者の動向 | 16 |
| ●救急外来患者の入院率 | 25 |
| ●救急外来患者(救急車、時間外、来院患者を含む)の年齢構成の変化 | 34 |
| ●救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者が病院全体の入院患者に占める割合 | 50 |
| ●救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者が収入に関連しているか否かの検討 | 53 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| ④救急外来原価計算のお尋ね（二次救急病院に限る） | 55 |
| ●救急外来部門損益計算の結果 | 55 |
| ⑤救急外来における未収金 | 56 |
| ●発生件数 | 56 |
| ●全救急外来受診患者に占める率 | 56 |
| ●発生金額 | 57 |
| ⑥医師の当直業務に関する解釈の不統一に関する問題 | 57 |
| ●医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けたことがありますか | 57 |
| ●ある場合は、具体的内容 | 58 |
| ●ある場合、病院の行った対応 | 58 |
| ⑦時間外外来事故負担金（選定療養費） | 59 |
| ●時間外外来自己負担金を徴収してありますか | 59 |
| ●徴収している場合、徴収する条件がありますか | 59 |
| ⑧終末期医療 | 61 |
| ●日本救急医学会終末期医療のあり方検討委員会のガイドライン | 61 |
| 「救急医療における終末期医療に関する提言」を現場が知っていますか | 61 |
| ●知っている場合、「提言」を利用していますか | 61 |
| ●救急外来においてトラブルが生じたことがありますか | 62 |
| ⑨救急車の有料化 | 62 |
| ●救急車利用の有料化について | 62 |
| ⑩診療アシストについて | 63 |

- 救急に専従の診療アシスタントはいますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
- 診療アシスタントの人数・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
- ⑩休日夜間の宿日直をする医師・看護師の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
 - 休日夜間の宿日直をする医師の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
 - 休日夜間の宿日直をする看護師の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

- 別紙1（救急外来対応可能な科）・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
- 別紙2（医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けた内容（その他））・・・・・・・・・・66
- 別紙3（病院の行った対応）・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
- 別紙4（終末期医療の対応トラブル）・・・・・・・・・・・・・・・・・・67

平成 25 年度アンケート調査総括

救急医療委員会では救急医療の実態に関して、平成 20 年から（調査対象期間：平成 18/19 年度）アンケート調査を行ってきた。その結果、共有する問題点が明らかになるとともに、病院の相対的評価が可能となった。23 年（22 年度）のアンケートでは、救急医療に関する法規の改正、ならびに診療報酬増額改定の要望につながる基礎データの収集を目的として回答項目をしぼり、回答を選択方式とした。

調査結果のなかで特筆すべきは救急外来の原価計算に関してであった。黒字の病院はわずか 11%にとどまり、粗平均値は月当たり 313 万円の赤字であった。この結果に基づき、平成 24 年度の診療報酬改定に向けて四病院団体協議会を通して ① 救急搬送受け入れ加算 2000 点の新設、② 救急医療管理加算の増点と期間の延長、1,200 点 14 日間、を要望した。しかし、認められたものは ① 夜間休日救急搬送医学管理料 200 点（初診時のみ）② 救急医療管理加算 7 日間、800 点は据え置かれた；ただし 6 歳未満が 200 点から 400 点に、6 歳から 15 歳までに 200 点が更に加算、というものであった。わずかな改善には止まったが、22 年度アンケート調査が一定の役割を果たしたものと考えている。

24 年調査（23 年度）は全く同じ回答項目とし、前回調査からの変化を検討した。救急外来の原価計算では、粗平均値は 22 年度と変わらず 311 万円の赤字であった。これに基づいて、平成 26 年度の診療報酬改定に向けて四病院団体協議会を通して、上記二項目を同様に要望したが、救急医療管理加算の要件が厳格化されただけで、救急医療に関してはむしろ後退したと言える。

24 年の調査結果に対して厚生労働省から赤字になる要因は何かと問い合わせがあったため、今回の調査では、客観的に分析できるような綿密な損益計算書を作成した。検死と死亡時画像診断（Ai）に関する質問は、前回までにおよその傾向が把握できたことから割愛した。

調査期間

平成 25 年 7 月 25 日から、11 月 29 日の 4 ヶ月間

回答率

回答率は 32.7%（対象：救急指定病院 1,759 病院中 654 病院）であり、回答率は 2.2% 増加した。なお、今回は対象を救急指定病院とした（前回までは全病院が対象）。

今回の調査は 24 年度を主対象期間としたが、比較のため一部は 22 年度と、23 年度を含む。救急外来原価計算は 25 年 9 月単月、未集金は 25 年 1 月単月のものである。

① 基本情報（平成 25 年 4 月 1 日現在）

◇ **設立母体** 国立、自治体、公的が 56.7%、私的が 43.3%であり偏りはない。

◇ **常勤医数**

常勤医数では 1~39 人が 45.8 %、40~99 人が 32.6 %、100 人以上が 21.0 %であり、これまでの調査の病院構成とほぼ等しい。1~19 人の病院が 165 病院で全体の 25.2%を占め、中小の救急指定病院の実態も反映し得る。

◇ **救急外来対応可能な科**

内科 94.5%、外科 89.8%、整形外科 81.0% が上位 3 科で前回と不変である。次いで循環器科 66.2%、脳神経外科 61.5%、泌尿器科 58.1%、小児科 58.0%、消化器外科 50.3% が 50%を越え、順位は前回と不変であった。全科とも前回調査に比して 2~3%増加しているが、対象を救急指定病院にしぼったためと考えられる。総合診療科のある病院は 18.3%、救急科は 29.1%であった。

◇ **常勤の救急専門医**

「常勤の救急専門医がいる」が 127 病院 (26.4%)、「いない」が 306 病院 (63.6%)で救急専門医の不足を示す (10%は無回答)。

◇ 病床数

20~199 床が 27.2%、200~499 床が 46.9%、500 床以上が 25.8%であり、全国病院の構成比から見れば大病院に偏りがあると言える。

◇ 救急体制

救命救急センター (ER 含まず) が 13 病院 2.0%、救命救急センター (ER 含む) が 119 病院 18.2%、二次救急が 73.5%であり、救命救急センター132 病院 20.2%は実際の全国構成比率より高い (26 年 4 月 1 日現在、全国で 266 病院 3.5%)。

◇ DPC 病院

474 病院 (72.5%) が DPC 病院であり、DPC 病院が多いことが本調査回答病院の特徴である。26 年 4 月 1 日現在で DPC/PDPS 病院は 1585 病院で全一般病院の 19.4%に過ぎない。

② 年間救急車受け入れ台数

◇ 年間救急車受け入れ台数

二次救急病院が 73.5%を占めることから、年間 499 台以下すなわち一日 1.5 台以下の病院が 15.4% (平成 22 年度 15.7%、23 年度 14.7%) あった。粗平均値 (中央値に件数をかけた平均) は 22 年度が 2,432 台、23 年度が 2,554 台で 24 年度が 2,570 台と増え続けている (22 年度比 +138 台、0.7%、23 年度比 +16 台と微増)。岩手、宮城、福島の前 3 県からの回答数はわずか 18 病院で全体の 2.7%に過ぎないので、東日本大震災が影響を及ぼしたとは考えにくい。

増減率

24 年度は増加した病院が 58.6% (22 年度と 23 年度の比較では 68.9%) であり、20%以上増加した病院は 6.4% (8.9%)、

一方 20%以上減少した病院は 3.2 % (2.6 %) であった。粗平均値は+ 1.8 % (4.1 %) である。全体として増加はしているが、3~4 割の病院では減少しており、24 年度は 23 年度に比して増加率が鈍っている。

◇ 救急車からの入院率

救急車からの入院率は粗平均値が 22 年度 45.5%、23 年度 45.5 %、24 年度 45.4 %とほとんど変わっていない。60%以上の入院率は、22 年度 83 病院、12.8%、23 年度 90 病院、13.8 %、24 年度 82 病院、12.5 %であった。

◇ 年間救急車不応需率

救急車不応需率（受け入れ不能率）を自院で調べている病院は 277 病院、42.4%と、これまでの調査で最も高かった。不応需率粗平均値は 22 年度 18.1%、23 年度 18.4 %、24 年度 18.1 %とほとんど変わっていない。不応需率 10%未満の病院は、22 年度 38.0%、23 年度 38.0 %、24 年度 37.5 %と全体の 4 割弱を占め、救命救急センターをはじめとする地域救急の基幹病院が含まれているものと思われる。一方、不応需率 30%以上の病院は、22 年度 22.6 %、23 年度 23.3 %、24 年度 24.8 %と微増しており、2 極化が進んでいる可能性がある。

受け入れられない理由（二つ選択）は「専門医あるいは対応できる医師がいない」が最多で 55.4%、「手術や処置などで手一杯である」49.1%、「満床である」26.5%が三大要因であることに変わりがない。次いで「当直医の自己判断」11.8%、「輪番制などの当番日でないから」5.0 %、「その他」8.3 %であった。

③ 時間外救急患者の動向

◇ 救急外来患者の増減

1) 救命救急センター（ER 含まず：13 病院） 救急車搬送のみということになるが 24 年度は増加 64%、減少 36%であり、増減率の粗平均値は+4%で増加している。

2) 救命救急センター（ER 含む：119 病院）

救急外来患者数は1万人台にピークがあるが、平成22年度は粗平均値が、年間20,439人(一日平均56人)、23年度は年間20,862人(一日平均57人)、24年度は年間20,720人(一日平均57人)とほぼ横ばいの状態である。

3) 二次救急病院 (481病院)

二次救急病院の平日夜間一日平均患者数の粗平均値は、22年度15.9人、23年度16.0人、24年度16.0人と変化が無い。ただし一日平均9人以下の病院が22年度42%、23年度42%、24年度42%であるのに対して一日平均40人以上の病院が、22年度8.4%、23年度8.8%、24年度8%、あり二次救急病院の較差は大きい。

◇ 救急外来患者の入院率

1) 救命救急センター (ER含まず：13病院)

この群では救急車からの入院率と同義であるが、22年度59%、23年度68%、24年度70%と漸増している。救命救急センターにおいても30%未満から、90%以上までばらつきがあり、較差が大きい

2) 救命救急センター (ER含む：119病院)

22年度22.0%、23年度22.4%、24年度22.7%と微増している。

3) 二次救急病院 (481病院)

22年度21.2%、23年度21.6%、24年度21.5%と不変である。ただし10%未満の病院が22年度9.3%、23年度8.9%、24年度8.9%あるのに対して、30%以上の病院が、22年度21%、23年度21%、24年度21.5%、あり二次救急病院のばらつきの大きさが示される。

◇ 救急外来患者の年齢構成の変化

1) 14歳以下の小児

平成22年度、10%未満の病院は37.1%、30%以上の病院が20%とばらつきが非常に大きい。粗平均値は17.9%であった。粗平均値は平成23年度17.8%、平成24年度17.0%と漸減している。これにともない、10%未満23年度36.4%平

成 24 年度 38.3 と増加、 30%以上 23 年度 18.6 %、平成 24 年度は 16.3%と減少している。

変化率で見ると、23 年度（22 年度からの変化率）は減少 27.7%、不変(±1 %未満) 46.7%、増加 25.1%、24 年度（23 年度からの変化率）は減少 43.3 %、不変(±1 %未満) 44.3 %、増加 12.3 %であり減少傾向が明らかである。

2) 65 歳以上の高齢者

平成 22 年度、ピークは 30~39.9% にあり、粗平均値は 33.1 %であった。10%未満の病院は 2.5%しかなく、30%以上の病院が 62.3%であった。粗平均値は平成 23 年度 33.9 %、平成 24 年度 34.7 %とわずかずつではあるが、確実に増加している。これにともない、10%未満の病院が 23 年度 2.4 % 平成 24 年度 2.1%と減少、30%以上が 23 年度 66.2 %、平成 24 年度は 77.2%と増加している。

変化率で見ると、23 年度（22 年度からの変化率）は減少 17.5 %、不変 (±1 %未満) 35.0 %、増加 47.6 %、24 年度は減少 14.8 %、不変 31.5 %、増加 53.6 %であり増加傾向が明らかである。

3) 75 歳以上の高齢者

平成 22 年度、ピークは 20~29.9% にあり、粗平均値は 22.9 %であった。10%未満の病院は 6.7%、30%以上の病院が 21.9%であった。粗平均値は平成 23 年度 24.1 %、平成 24 年度 24.5 %と漸増している。これにともない、10%未満の病院が 23 年度 6.3 % 平成 24 年度 5.4%と減少、30%以上が 23 年度 23.9 %、平成 24 年度は 23.7%と微増している。

変化率で見ると、23 年度（22 年度からの変化率）は減少 13.2 %、不変 (±1 %未満) 34.9 %、増加 51.9 %、24 年度は減少 17.7 %、不変 36.3 %、増加 46.0 %であった。

4) 90 歳以上の高齢者

平成 22 年度、ピークは 4.9%以下 にあり、粗平均値は 3.7 %であった。10%未満の病院が 95.2%であり、10%以上の病院が 4.8%であった。粗平均値は平成 23 年度 3.8 %、平成 24 年度 3.9 %と微増している。10%未満の病院は 23 年度 96.1 % 平成 24 年度 96.1%、10%以上は 23 年度 3.8 %、平成 24 年度は 3.9%と微減している。

変化率で見ると、23 年度（22 年度からの変化率）は減少 7.5 %、不変 (±1 %未満) 83.6 %、増加 8.9 %、24 年度は減少 3.8 %、不変 86.4 %、増加 9.7 %でありほぼ不変と言って良い。

◇ 救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者が全入院患者に占める割合

4.9%以下から 50.0%以上まで分散している。22 年度のピークは 20~29.9%にあり、粗平均値は 22.8%であった。23 年度は 23.1%、24 年度は 23.0%と 18/19 年度が 21.0%であったことからみると増加傾向にある。

病院ごとに見ると、23 年度は（22 年度に比して）減少 36.3%、不変 15.0%、増加 48.6%であり、24 年度は（23 年度に比して）減少 42.2%、不変 15.6%、増加 42.2%であった。

◇ 救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者が病院全体の収入に関連しているか

1) 救急外来からの入院患者数実数の変化

23 年度は（22 年度に比して）減少 36.1%、不変 10.7%、増加 53.6%であり、24 年度は（23 年度に比して）減少 37.3%、不変 13.1%、増加 49.5%と増加傾向にある。

2) 入院収入の変化

23 年度は（22 年度に比して）減少 23.8%、不変 15.7%、増加 60.5%であり、24 年度は（23 年度に比して）減少 23.5%、不変 14.9%、増加 63.1%と増加傾向にある。

①と②を単純に関連付けることは難しいが、一般的に救急外来からの入院患者の入院単価が高いことを考えれば、救急外来からの実人数増加は入院収入の増加の一要因であると考えられる。

④ 救急外来原価計算（二次救急病院に限る）

前文に述べたごとく、今回はじめて分析に耐える損益計算表を作成したが、煩雑であったせいか 38 病院からしか回答が得られなかった。またデータの欠落や、極端に値が大きく誤りと推定されるものを除外すると、全項目でデータが記入され平均できた病院は 14 病院に過ぎなかった。

14 病院の平均病床数は 302 床であった。平成 25 年 9 月単月の救急外来の収支を見ると、収益が 1,260 万円、に対し支出

が 2,207 万円で、平均 947 万円の赤字である。

内訳をみると、給与費が 1,097 万円であった。すなわち、医業収入のほとんどは人件費で消えてしまい、医薬品、診療材料、その他はほとんど病院の持ち出しという構図であることが伺える。

⑤ 救急外来における未集金（25 年 1 月単月）

◇ 発生件数

9 件以下が 49.1%である一方、50 件以上が 11.3%に上る。粗平均値は 18.2 件であった（平成 23 年 1 月、22.3 件）。

◇ 全救急外来受診患者に占める率

1.9%以下が 54.0 %なのに対して、10%以上が 7.2%ある。粗平均値は 3.1%であった（平成 23 年 1 月、3.7%）。

◇ 発生金額

29 万円以下が 74.9%であったが、120 万円以上も 5.7%存在する。粗平均値は 32.4 万円であった（平成 23 年 1 月、39.6 万円）。

⑥ 医師の当直業務に関する解釈の不統一に関する問題

医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けた病院は 9 病院（1.4%）に過ぎず、これまでのアンケート調査からは著減している（前回 29 病院、4.1%）。「労働基準法に基づく宿日直業務の範囲を超えている」が 8 病院、その他が 1 病院であった。

その対応として、「現状を維持した」が 5 病院、「当直料から時間外手当とした」が 1 病院、救急外来を縮小、閉鎖した病院は無く、その他が 1 病院あった。

⑦ 時間外外来自己負担金（選定療養費）

選定療養費を徴収している病院は 108 病院 (16.7%) で、前回調査とほぼ同様であった。21 年度、14.6%からは増加している。90 病院 (86.5%) が徴収する際に条件を設けている。

徴収額は 1,999 円以下から 1 万円以上まで分布し、粗平均額は 5,845 円であり、前回調査 (5,216 円) に比してやや増額している。

時間外救急外来患者は 4 病院で減少しているが、2 病院では増加しており、粗平均値は -1%とほとんど効果を認めていない (前回調査では-8.0%)。

⑧ 終末期医療

◇ 日本救急医学会終末期医療のあり方検討委員会のガイドライン「救急医療における終末期医療に関する提言」を救急医療の現場が知っているか

「全員が知っている」病院が 14.3%、「一部の人が知っている」病院が 71.2%あり、あわせると 85.5%と高率で (前回 62.1%)、前回調査よりも多く次第に周知されつつあることが伺える。

しかし「提言」に則した運用をしている病院は、58.7%と前回調査とほぼ不変であった。

◇ 終末期の患者さんへの対応でのトラブル

救急外来で終末期の患者さんへの対応でのトラブルが生じたことのある病院は 13.0% (77 病院)あった。

問題は看取りか、蘇生かということに尽きるが、分類をすると： ①ご本人の意思が明確に示されていない場合、 ②ご本人の意思が明確に示されていても当直医が知り得ない場合、あるいは主治医の方針が当直医に伝達されていない場合 ③ご家族内での意見が統一されていない場合 ④ 蘇生しないことへの同意書があっても急変時に蘇生へと考えがが変わる場合、 などである。

⑨ 救急車の有料化

救急車利用の有料化に関しては、賛成 14.8%、どちらかと言えば賛成 32.7%、反対 14.1%、どちらかと言えば反対 15.9%、であった。およそ半分が賛成派であるが、反対派も 3 割いる。

⑩ 診療アシスタント

◇ 救急に専従の診療アシスタント

救急に専従の診療アシスタントがいる病院は 94 病院、14.7%とまだ少ない。

人数は 2 人以下が 70.0%と大半であるが、6 人以上も 11 病院（12.4%）ある。粗平均値は 2.3 人であった。

⑪ 医師・看護師確保

◇ 休日夜間の宿日直をする医師の確保

確保できている 47.0 %、どちらかと言えば確保できている 33.5%をあわせると 8 割を超える。一方で、確保できていないが 35 病院（5.4%）あった。

◇ 休日夜間の宿日直をする看護師の確保

確保できている 53.0 %、どちらかと言えば確保できている 31.1%をあわせると 84.1%であった。一方で、確保できていないが 30 病院（4.6%）であり、医師とほぼ等しいレベルである。

総括

1. 母集団の特徴として中核病院が多いことが挙げられる。DPC/PDPS 病院が 72.5%（全国では 26 年 4 月 1 日現在で全一般病院の 19.4%）、救命救急センターが 132 病院 20.2%（26 年 4 月 1 日現在、全国で 266 病院 3.5%）を占めており、このアンケートの結果は救急医療基幹病院への偏りがある。
2. 救急車受け入れ台数は 22 年度から 24 年度にかけてわずかではあるが増加し続けている。不応需率（受け入れ不能率）は 18%強で横ばい、救急車からの入院率も 45%前後でほぼ不変であった。
3. 時間外救急外来患者数はほぼ横ばいであるが、救急外来からの入院患者が全入院患者に占める割合は増加しつつある。
4. 時間外救急外来患者の年齢構成は、22 年度から 24 年度のわずか 3 年間でも小児の減少と高齢者の増加が明らかであり、24 年度は小児がおおよそ 5 人に 1 人、65 歳以上が 3 人に 1 人、75 歳以上が 4 人に 1 人を占めている。
5. 二次救急病院救急外来の原価計算では、月当たり平均 947 万円の赤字であった。収益が 1,260 万円に対し支出が 2,207 万円であり、給与費が 1,097 万円であった。すなわち、医業収入のほとんどは人件費で消えてしまい、医薬品、診療材料、その他の費用はほとんど病院の持ち出しという構図である。
6. 医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けた病院は、理由は不明であるが著減している。
7. 選定療養費を徴収している病院は増加しつつあり、徴収額も 5,845 円と微増しているが、その効果がほとんど認められなくなってきている。

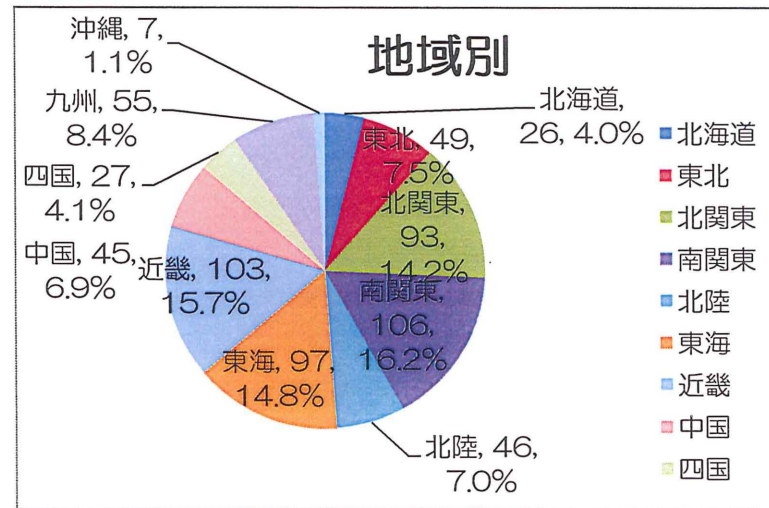
8. 救急車の有料化に対しては、およそ半分が賛成、3割が反対である。

集 計 結 果

①病院の基本情報

●地域別

| | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| 北海道 | 26 | 4.0% |
| 東北 | 49 | 7.5% |
| 北関東 | 93 | 14.2% |
| 南関東 | 106 | 16.2% |
| 北陸 | 46 | 7.0% |
| 東海 | 97 | 14.8% |
| 近畿 | 103 | 15.7% |
| 中国 | 45 | 6.9% |
| 四国 | 27 | 4.1% |
| 九州 | 55 | 8.4% |
| 沖縄 | 7 | 1.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



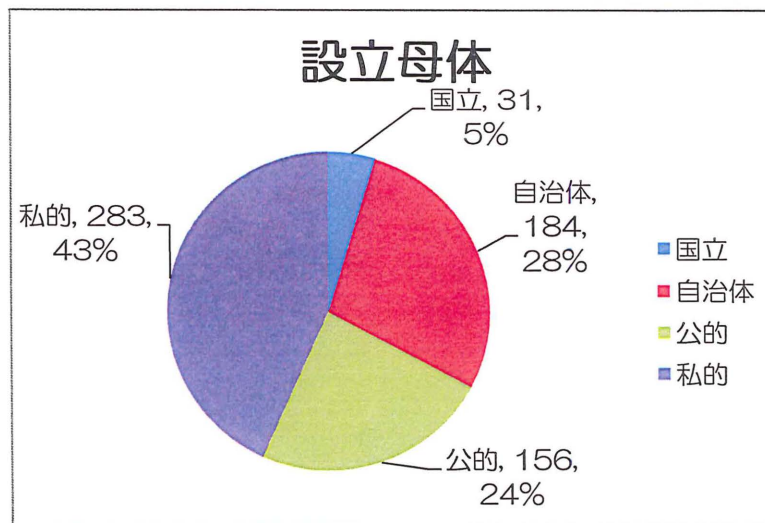
●都道府県別

| 都道府県 | 病院数 | 構成比 |
|------|-----|------|
| 北海道 | 26 | 4.0% |
| 青森県 | 10 | 1.5% |
| 岩手県 | 2 | 0.3% |
| 宮城県 | 8 | 1.2% |
| 秋田県 | 14 | 2.1% |
| 山形県 | 7 | 1.1% |
| 福島県 | 8 | 1.2% |
| 茨城県 | 20 | 3.1% |
| 栃木県 | 13 | 2.0% |
| 群馬県 | 14 | 2.1% |
| 埼玉県 | 29 | 4.4% |
| 千葉県 | 34 | 5.2% |
| 東京都 | 41 | 6.3% |
| 神奈川県 | 31 | 4.7% |
| 山梨県 | 0 | 0.0% |
| 新潟県 | 20 | 3.1% |
| 富山県 | 10 | 1.5% |
| 石川県 | 9 | 1.4% |
| 福井県 | 7 | 1.1% |
| 長野県 | 17 | 2.6% |
| 岐阜県 | 17 | 2.6% |
| 静岡県 | 26 | 4.0% |
| 愛知県 | 42 | 6.4% |
| 三重県 | 12 | 1.8% |
| 滋賀県 | 6 | 0.9% |
| 京都府 | 17 | 2.6% |
| 大阪府 | 42 | 6.4% |
| 兵庫県 | 22 | 3.4% |
| 奈良県 | 11 | 1.7% |
| 和歌山県 | 5 | 0.8% |

| 都道府県 | 病院数 | 構成比 |
|------|-----|--------|
| 鳥取県 | 2 | 0.3% |
| 島根県 | 5 | 0.8% |
| 岡山県 | 13 | 2.0% |
| 広島県 | 16 | 2.4% |
| 山口県 | 9 | 1.4% |
| 徳島県 | 2 | 0.3% |
| 香川県 | 7 | 1.1% |
| 愛媛県 | 9 | 1.4% |
| 高知県 | 9 | 1.4% |
| 福岡県 | 28 | 4.3% |
| 佐賀県 | 2 | 0.3% |
| 長崎県 | 9 | 1.4% |
| 熊本県 | 8 | 1.2% |
| 大分県 | 4 | 0.6% |
| 宮崎県 | 2 | 0.3% |
| 鹿児島県 | 2 | 0.3% |
| 沖縄県 | 7 | 1.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |

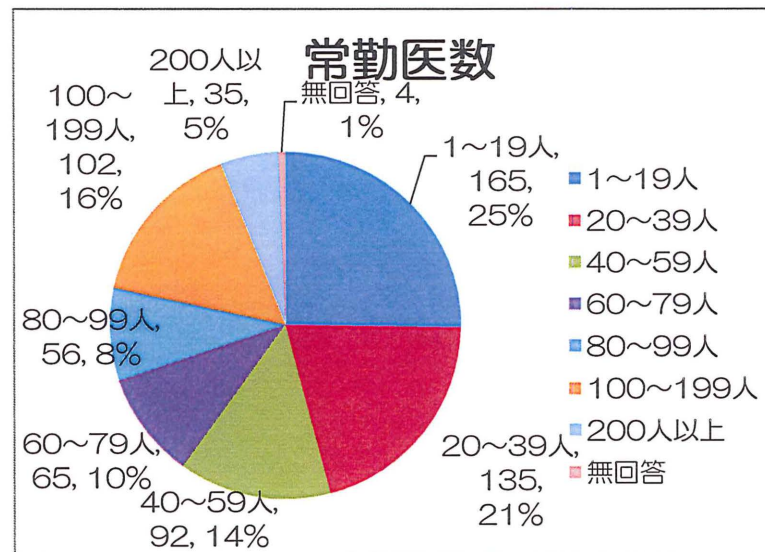
●設立母体

| 母体 | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| 国立 | 31 | 4.7% |
| 自治体 | 184 | 28.1% |
| 公的 | 156 | 23.9% |
| 私的 | 283 | 43.3% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



●常勤医数

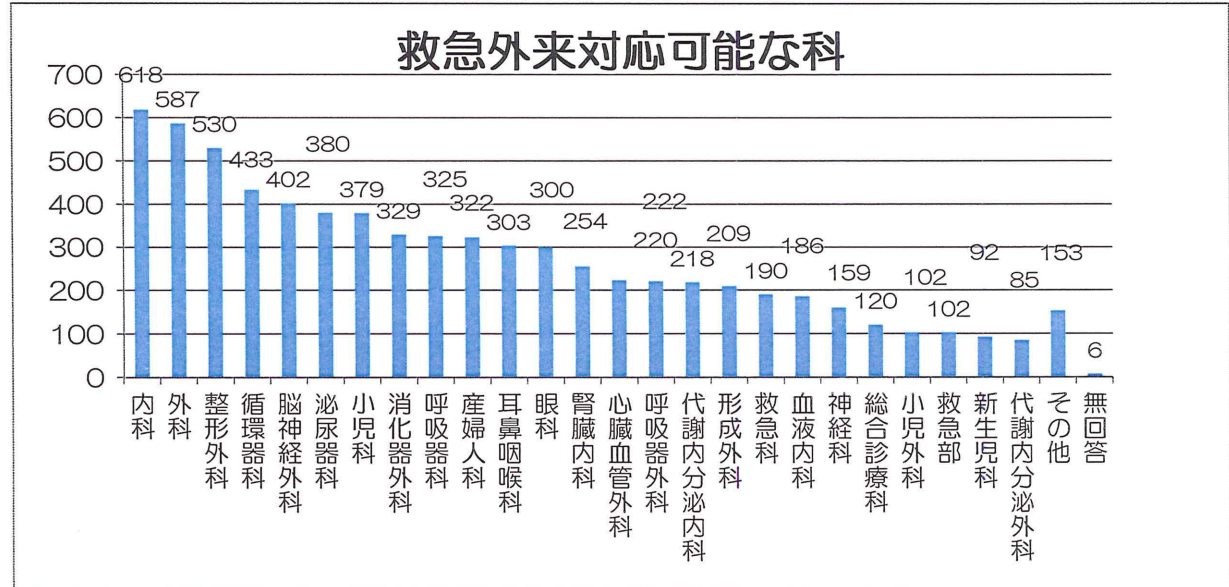
| 人数 | 病院数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 1~19人 | 165 | 25.2% |
| 20~39人 | 135 | 20.6% |
| 40~59人 | 92 | 14.1% |
| 60~79人 | 65 | 9.9% |
| 80~99人 | 56 | 8.6% |
| 100~199人 | 102 | 15.6% |
| 200人以上 | 35 | 5.4% |
| 無回答 | 4 | 0.6% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



●救急外来対応可能な科

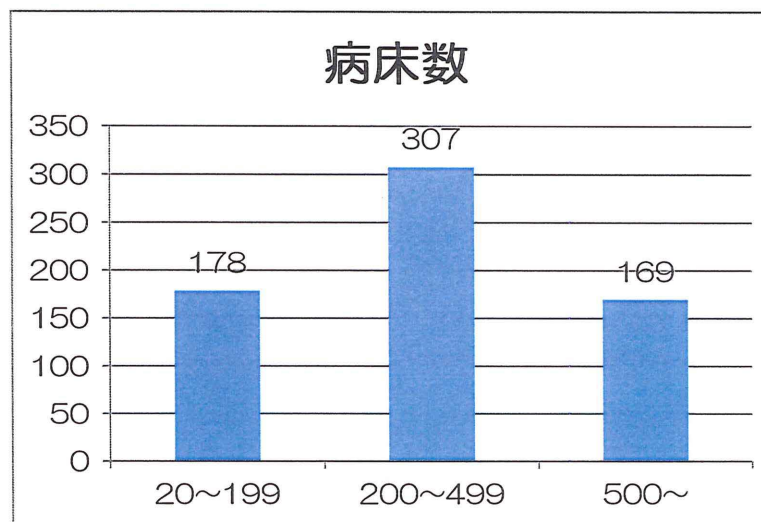
| 科目 | 病院数 | 割合 |
|---------|------|-------|
| 内科 | 618 | 94.5% |
| 外科 | 587 | 89.8% |
| 整形外科 | 530 | 81.0% |
| 循環器科 | 433 | 66.2% |
| 脳神経外科 | 402 | 61.5% |
| 泌尿器科 | 380 | 58.1% |
| 小児科 | 379 | 58.0% |
| 消化器外科 | 329 | 50.3% |
| 呼吸器科 | 325 | 49.7% |
| 産婦人科 | 322 | 49.2% |
| 耳鼻咽喉科 | 303 | 46.3% |
| 眼科 | 300 | 45.9% |
| 腎臓内科 | 254 | 38.8% |
| 心臓血管外科 | 222 | 33.9% |
| 呼吸器外科 | 220 | 33.6% |
| 代謝内分泌内科 | 218 | 33.3% |
| 形成外科 | 209 | 32.0% |
| 救急科 | 190 | 29.1% |
| 血液内科 | 186 | 28.4% |
| 神経科 | 159 | 24.3% |
| 総合診療科 | 120 | 18.3% |
| 小児外科 | 102 | 15.6% |
| 救急部 | 102 | 15.6% |
| 新生児科 | 92 | 14.1% |
| 代謝内分泌外科 | 85 | 13.0% |
| その他 | 153 | 23.4% |
| 無回答 | 6 | 0.9% |
| 合計 | 7226 | |

*構成比は回答施設数(654)を分母として算出



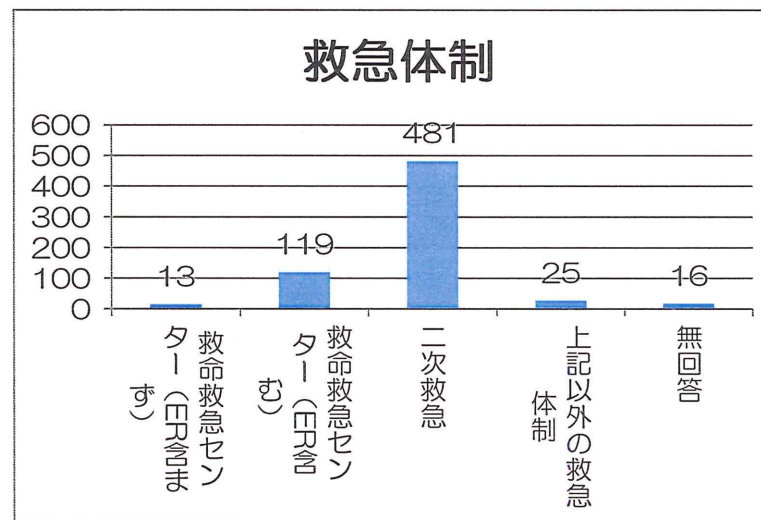
●病床数

| 病床数 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 20~199 | 178 | 27.2% |
| 200~499 | 307 | 46.9% |
| 500~ | 169 | 25.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



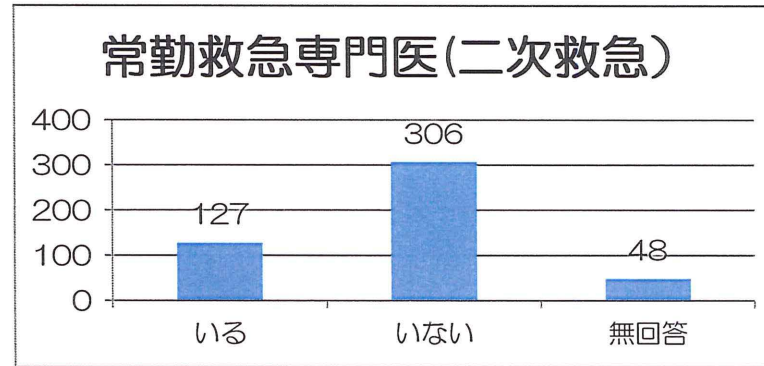
●救急体制

| 救急体制 | 病院数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| 救命救急センター（ER含まず） | 13 | 2.0% |
| 救命救急センター（ER含む） | 119 | 18.2% |
| 二次救急 | 481 | 73.5% |
| 上記以外の救急体制 | 25 | 3.8% |
| 無回答 | 16 | 2.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



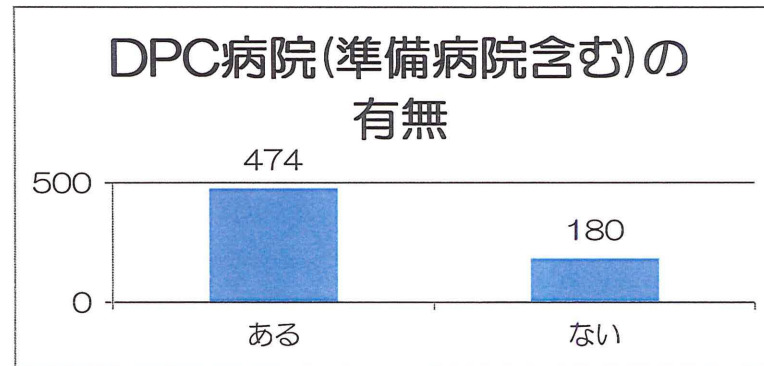
●二次救急病院の場合、常勤の救急専門医が救急診療に携わっていますか

| 常勤救急専門医 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| いる | 127 | 26.4% |
| いない | 306 | 63.6% |
| 無回答 | 48 | 10.0% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



●DPC病院(準備病院含む)の有無

| DPC病院(準備病院含む) | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ある | 474 | 72.5% |
| ない | 180 | 27.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% |

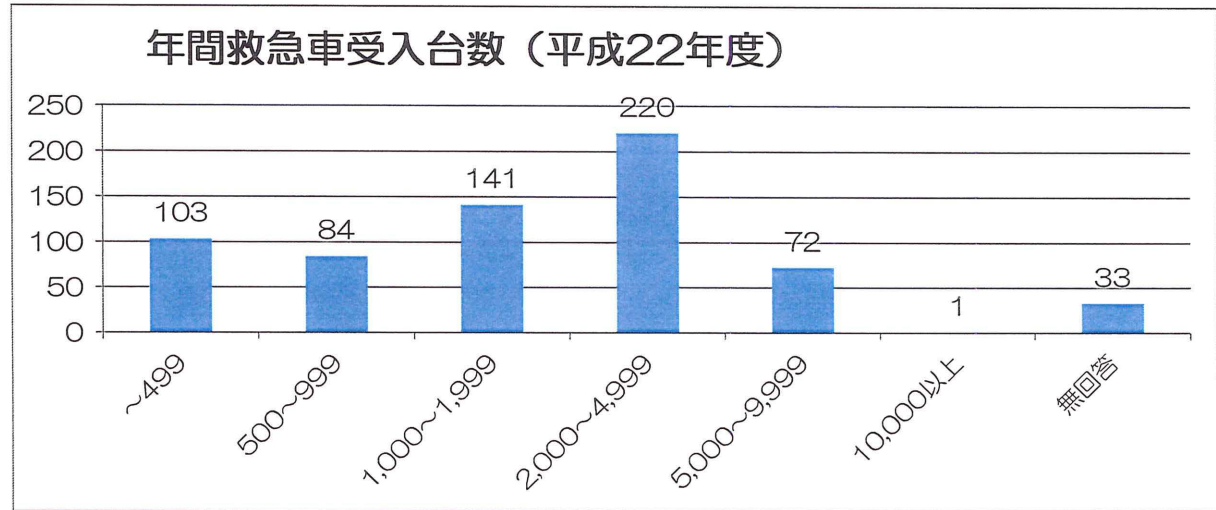


②救急車不応需率

●年間救急車受け入れ台数

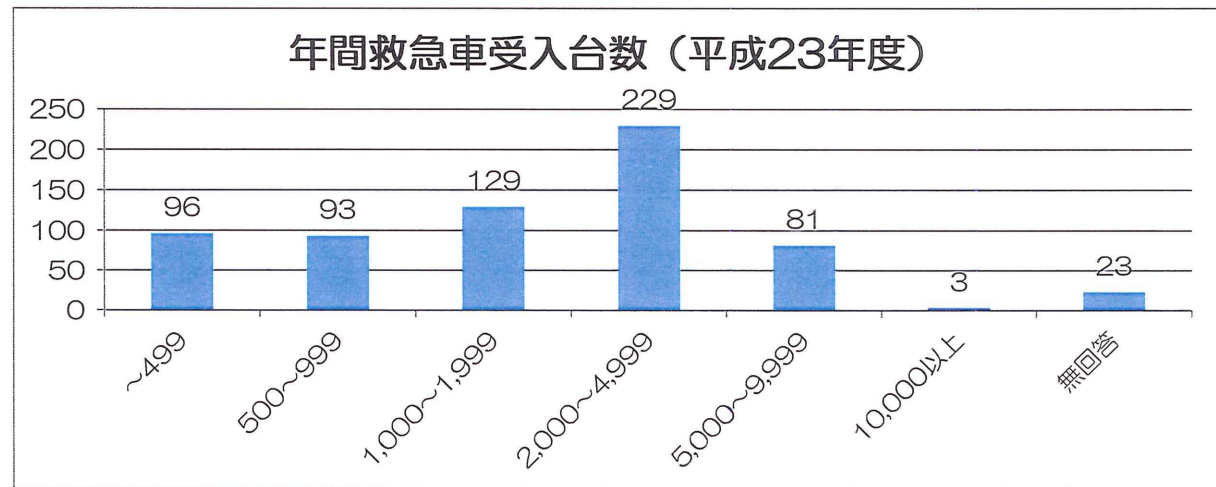
(1) 平成22年度

| 台数 | 病院数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| ~499 | 103 | 15.7% |
| 500~999 | 84 | 12.8% |
| 1,000~1,999 | 141 | 21.6% |
| 2,000~4,999 | 220 | 33.6% |
| 5,000~9,999 | 72 | 11.0% |
| 10,000以上 | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 33 | 5.0% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



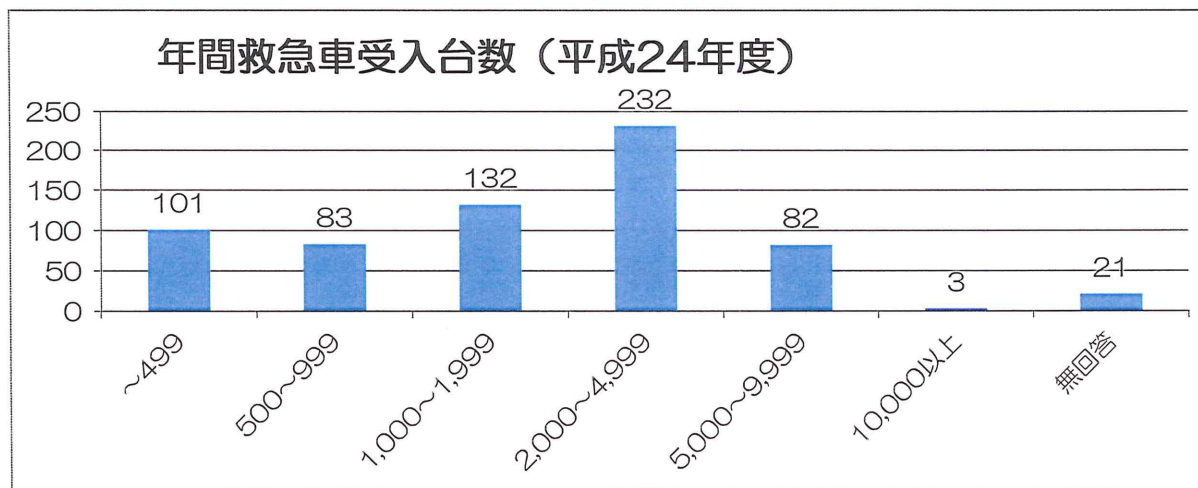
(2) 平成23年度

| 台数 | 病院数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| ~499 | 96 | 14.7% |
| 500~999 | 93 | 14.2% |
| 1,000~1,999 | 129 | 19.7% |
| 2,000~4,999 | 229 | 35.0% |
| 5,000~9,999 | 81 | 12.4% |
| 10,000以上 | 3 | 0.5% |
| 無回答 | 23 | 3.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



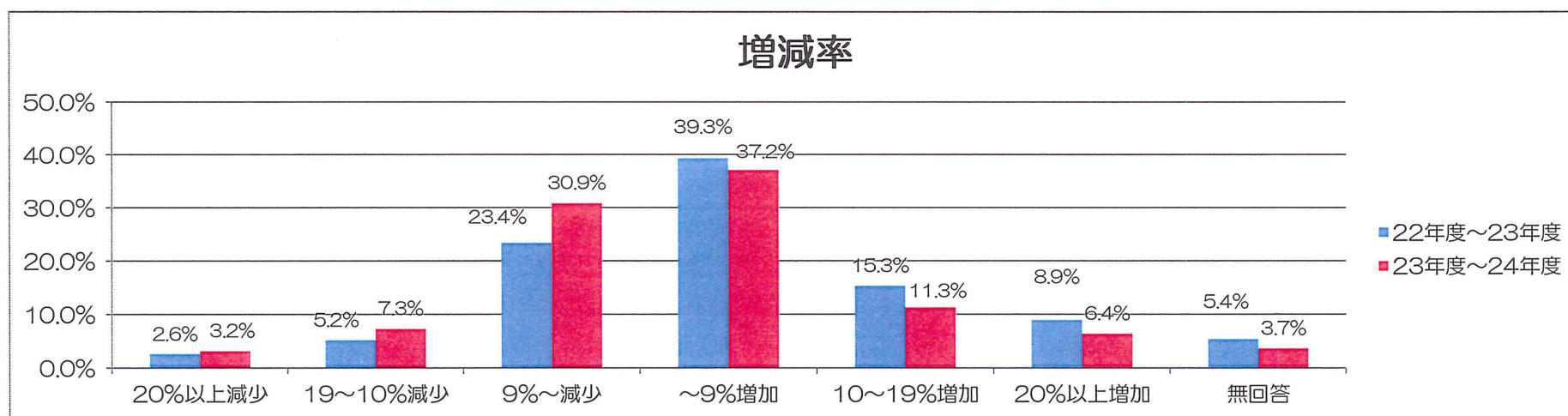
(3) 平成24年度

| 台数 | 病院数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| ~499 | 101 | 15.4% |
| 500~999 | 83 | 12.7% |
| 1,000~1,999 | 132 | 20.2% |
| 2,000~4,999 | 232 | 35.5% |
| 5,000~9,999 | 82 | 12.5% |
| 10,000以上 | 3 | 0.5% |
| 無回答 | 21 | 3.2% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



(4) 増減率

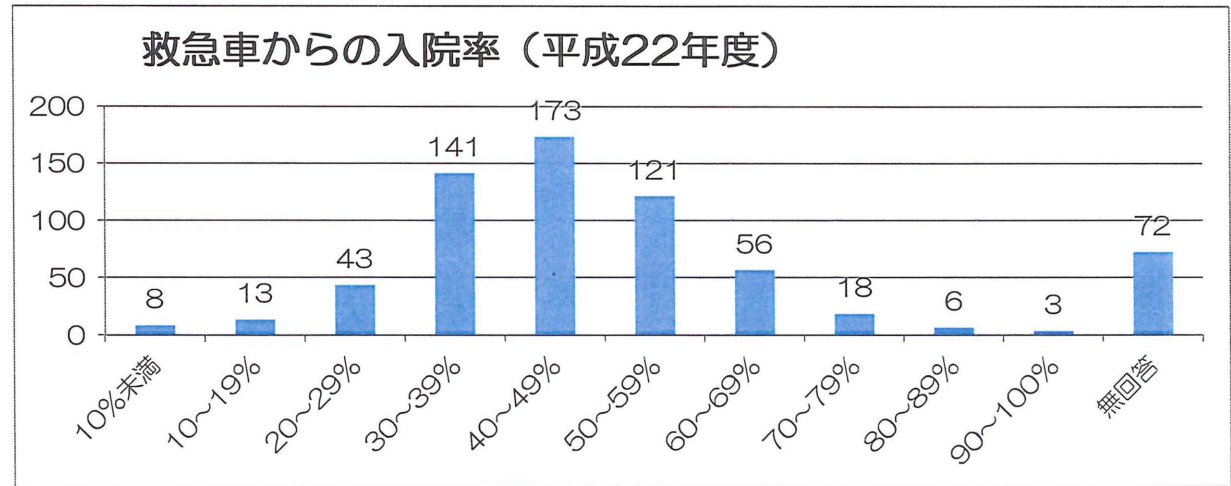
| 増減率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|----------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 20%以上減少 | 17 | 2.6% | 21 | 3.2% |
| 19～10%減少 | 34 | 5.2% | 48 | 7.3% |
| 9%～減少 | 153 | 23.4% | 202 | 30.9% |
| ～9%増加 | 257 | 39.3% | 243 | 37.2% |
| 10～19%増加 | 100 | 15.3% | 74 | 11.3% |
| 20%以上増加 | 58 | 8.9% | 42 | 6.4% |
| 無回答 | 35 | 5.4% | 24 | 3.7% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



●救急車からの入院率

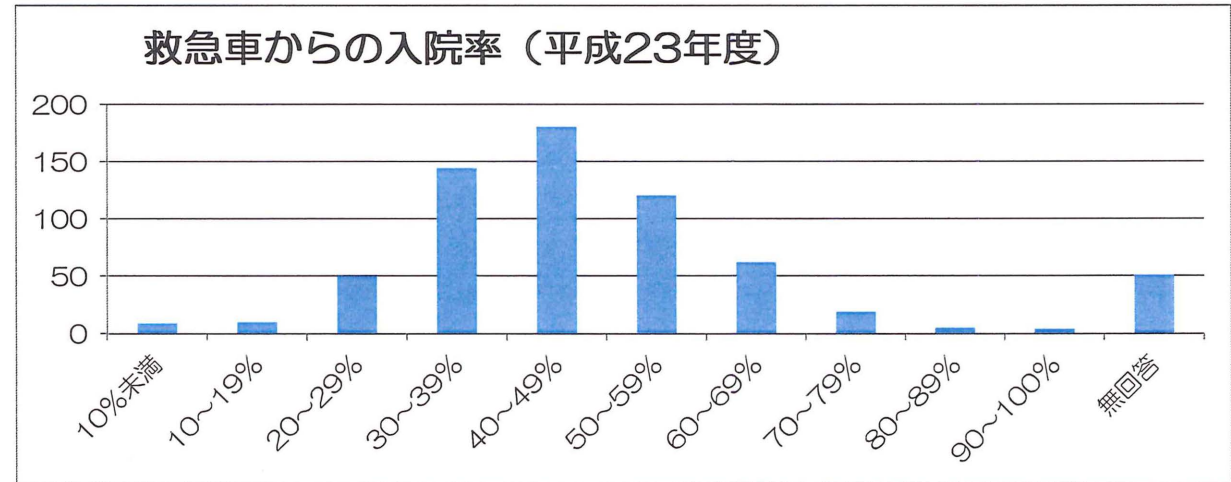
(1) 平成22年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 10%未満 | 8 | 1.2% |
| 10~19% | 13 | 2.0% |
| 20~29% | 43 | 6.6% |
| 30~39% | 141 | 21.6% |
| 40~49% | 173 | 26.5% |
| 50~59% | 121 | 18.5% |
| 60~69% | 56 | 8.6% |
| 70~79% | 18 | 2.8% |
| 80~89% | 6 | 0.9% |
| 90~100% | 3 | 0.5% |
| 無回答 | 72 | 11.0% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



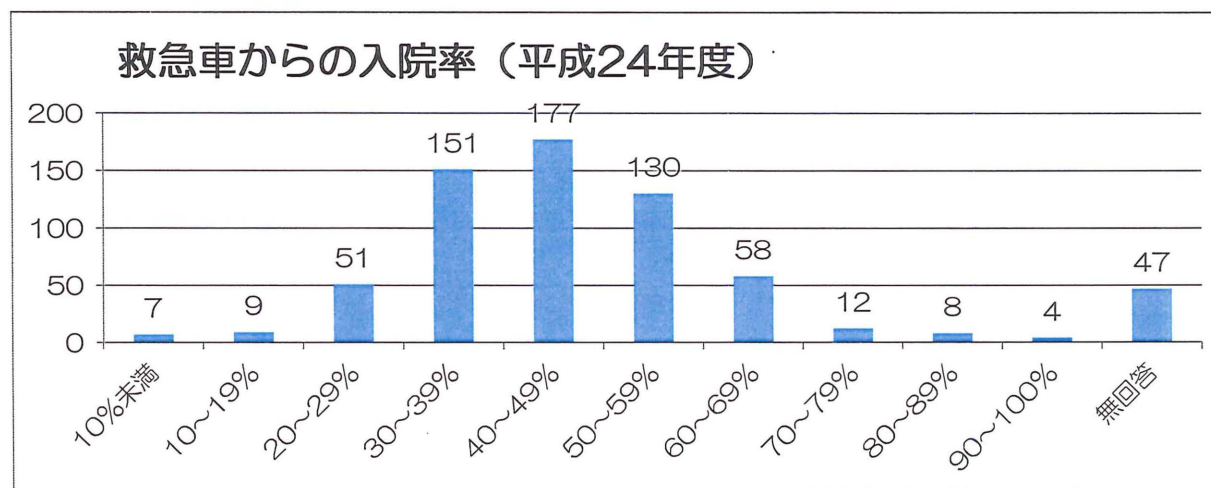
(2) 平成23年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 10%未満 | 9 | 1.4% |
| 10~19% | 10 | 1.5% |
| 20~29% | 50 | 7.6% |
| 30~39% | 144 | 22.0% |
| 40~49% | 180 | 27.5% |
| 50~59% | 120 | 18.3% |
| 60~69% | 62 | 9.5% |
| 70~79% | 19 | 2.9% |
| 80~89% | 5 | 0.8% |
| 90~100% | 4 | 0.6% |
| 無回答 | 51 | 7.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



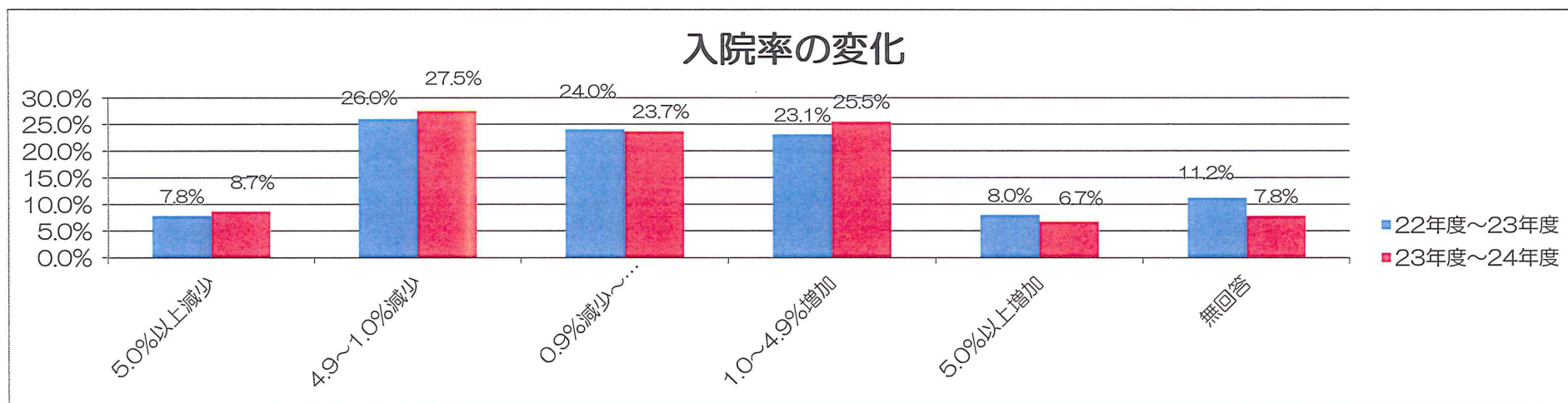
(3) 平成24年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 10%未満 | 7 | 1.1% |
| 10~19% | 9 | 1.4% |
| 20~29% | 51 | 7.8% |
| 30~39% | 151 | 23.1% |
| 40~49% | 177 | 27.1% |
| 50~59% | 130 | 19.9% |
| 60~69% | 58 | 8.9% |
| 70~79% | 12 | 1.8% |
| 80~89% | 8 | 1.2% |
| 90~100% | 4 | 0.6% |
| 無回答 | 47 | 7.2% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



(4) 入院率の変化

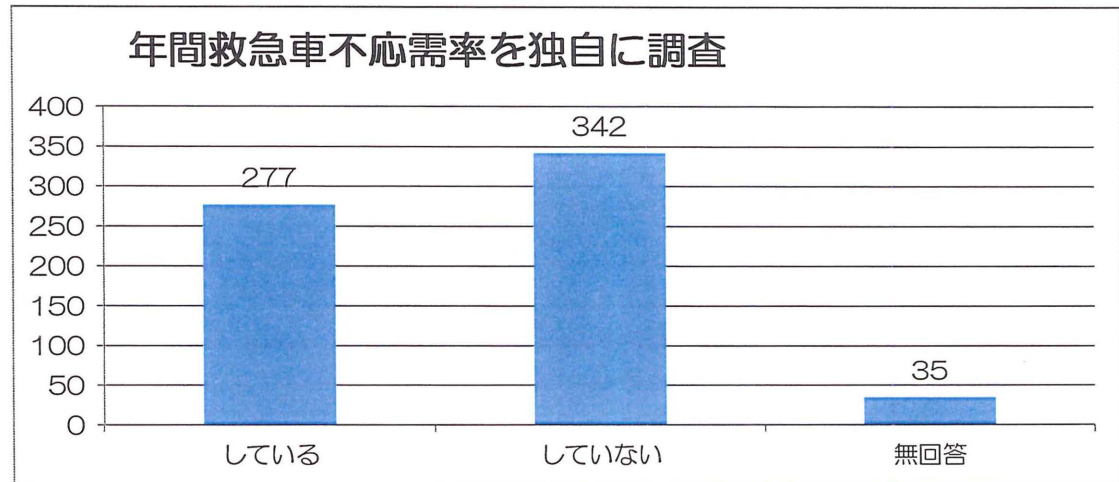
| 入院率の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 51 | 7.8% | 57 | 8.7% |
| 4.9～1.0%減少 | 170 | 26.0% | 180 | 27.5% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 157 | 24.0% | 155 | 23.7% |
| 1.0～4.9%増加 | 151 | 23.1% | 167 | 25.5% |
| 5.0%以上増加 | 52 | 8.0% | 44 | 6.7% |
| 無回答 | 73 | 11.2% | 51 | 7.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



●年間救急車不応需率

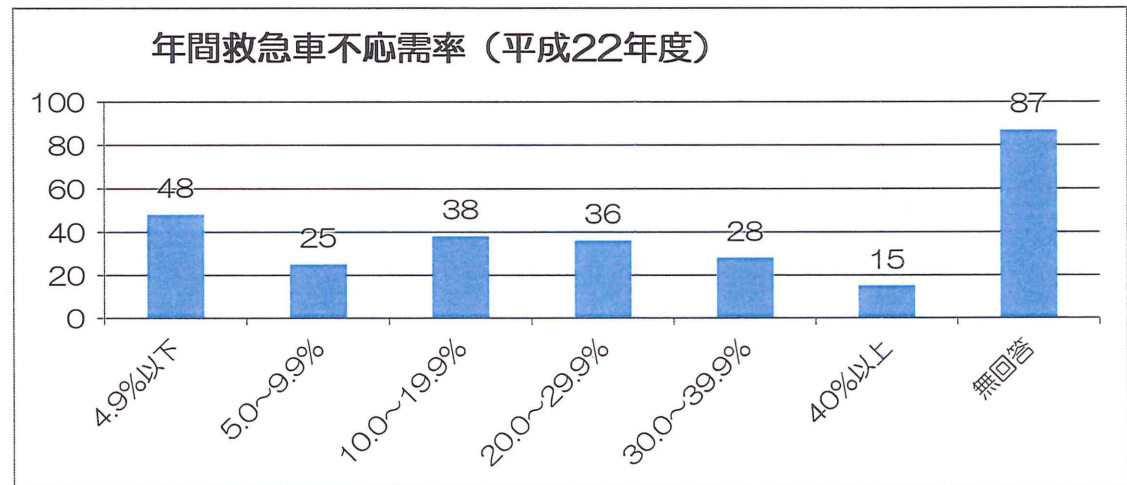
*年間救急車不応需率の統計を独自に調査していますか

| 統計調査 | 病院数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| している | 277 | 42.4% |
| していない | 342 | 52.3% |
| 無回答 | 35 | 5.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



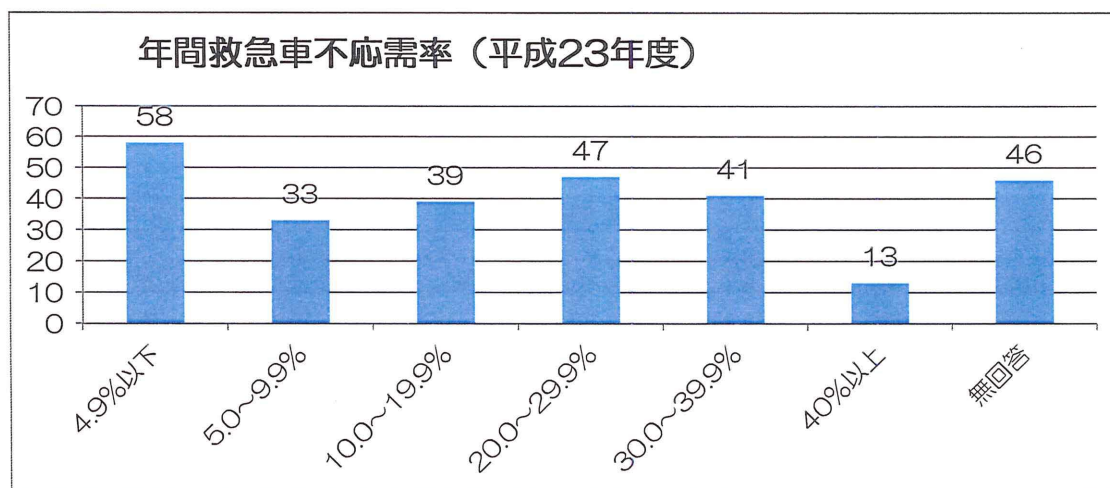
(1) 平成22年度

| 不応需率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 48 | 17.3% |
| 5.0~9.9% | 25 | 9.0% |
| 10.0~19.9% | 38 | 13.7% |
| 20.0~29.9% | 36 | 13.0% |
| 30.0~39.9% | 28 | 10.1% |
| 40%以上 | 15 | 5.4% |
| 無回答 | 87 | 31.4% |
| 合計 | 277 | 100.0% |



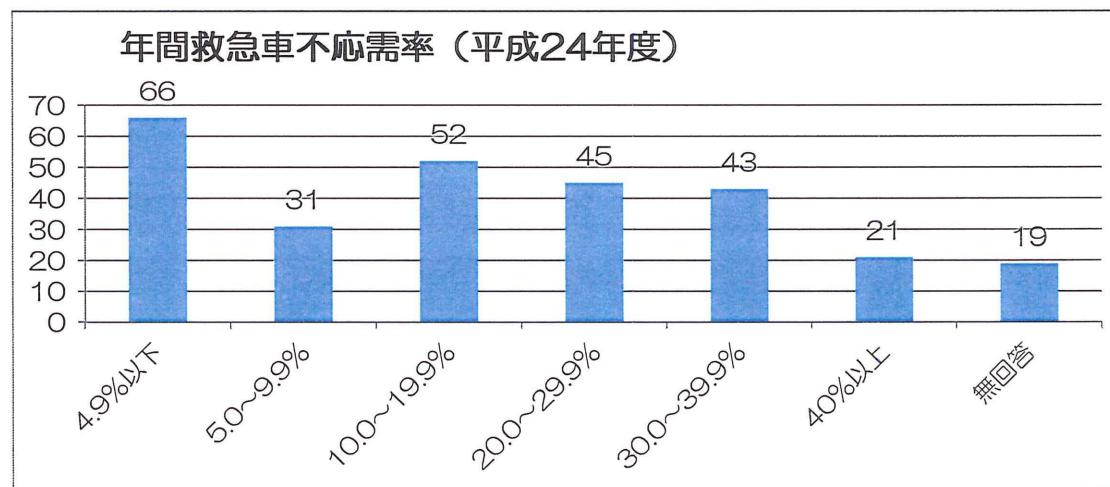
(2) 平成23年度

| 不応需率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 58 | 20.9% |
| 5.0~9.9% | 33 | 11.9% |
| 10.0~19.9% | 39 | 14.1% |
| 20.0~29.9% | 47 | 17.0% |
| 30.0~39.9% | 41 | 14.8% |
| 40%以上 | 13 | 4.7% |
| 無回答 | 46 | 16.6% |
| 合計 | 277 | 100.0% |



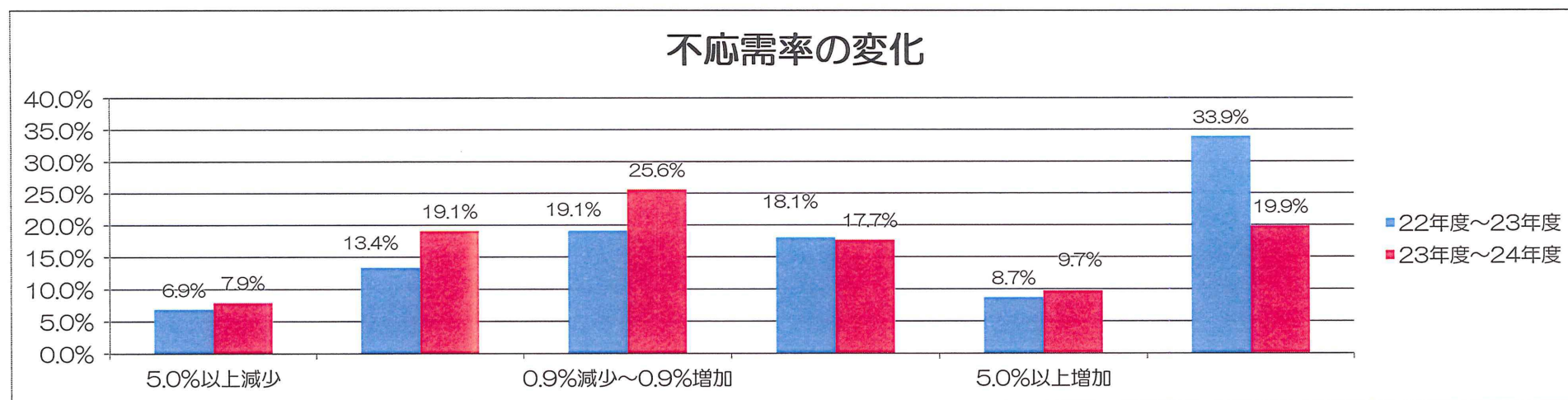
(3) 平成24年度

| 不応需率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 66 | 23.8% |
| 5.0~9.9% | 31 | 11.2% |
| 10.0~19.9% | 52 | 18.8% |
| 20.0~29.9% | 45 | 16.2% |
| 30.0~39.9% | 43 | 15.5% |
| 40%以上 | 21 | 7.6% |
| 無回答 | 19 | 6.9% |
| 合計 | 277 | 100.0% |



(4) 不応需率の変化

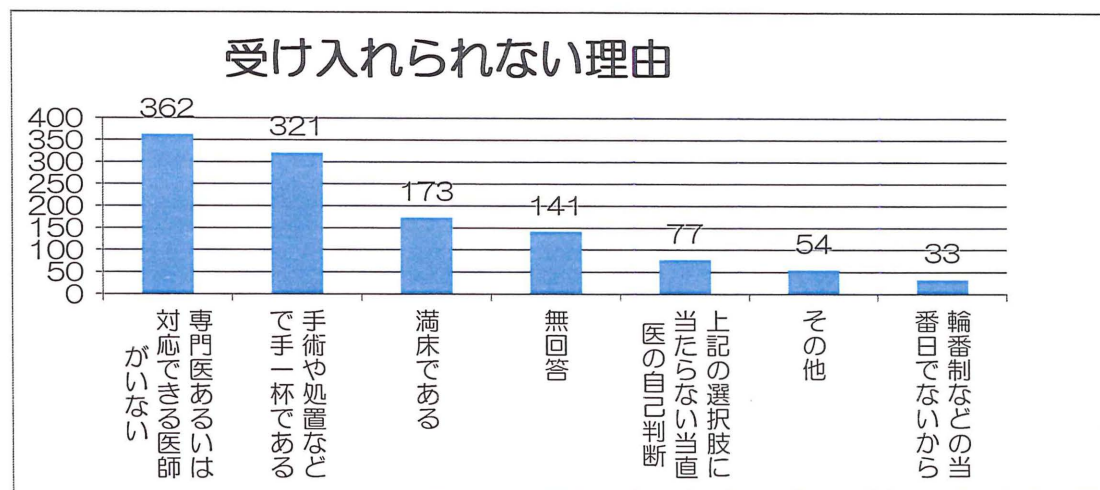
| 不応需率の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 19 | 6.9% | 22 | 7.9% |
| 4.9～1.0%減少 | 37 | 13.4% | 53 | 19.1% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 53 | 19.1% | 71 | 25.6% |
| 1.0～4.9%増加 | 50 | 18.1% | 49 | 17.7% |
| 5.0%以上増加 | 24 | 8.7% | 27 | 9.7% |
| 無回答 | 94 | 33.9% | 55 | 19.9% |
| 合計 | 277 | 100.0% | 277 | 100.0% |



(5) 受け入れられない理由 (多いものから2つ選択)

| 理由 | 病院数 | 割合 |
|----------------------|------|-------|
| 専門医あるいは対応できる医師がいない | 362 | 55.4% |
| 手術や処置などで手一杯である | 321 | 49.1% |
| 満床である | 173 | 26.5% |
| 無回答 | 141 | 21.6% |
| 上記の選択肢に当たらない当直医の自己判断 | 77 | 11.8% |
| その他 | 54 | 8.3% |
| 輪番制などの当番日でないから | 33 | 5.0% |
| 合計 | 1161 | |

* 構成比は回答施設数 (654) を分母として算出

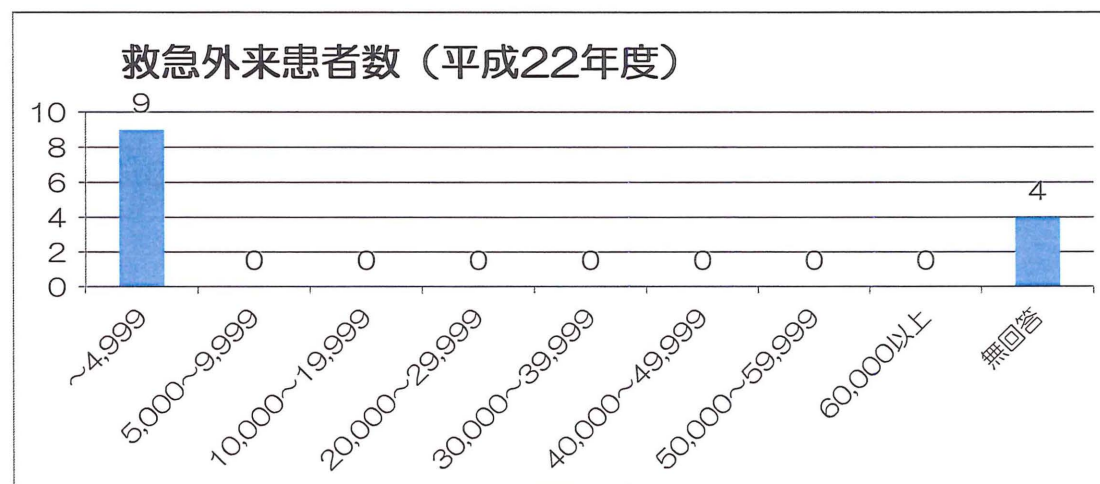


③時間外救急患者の動向

1) 救命救急センター (ER含まず、救急搬送患者の年間症例数)

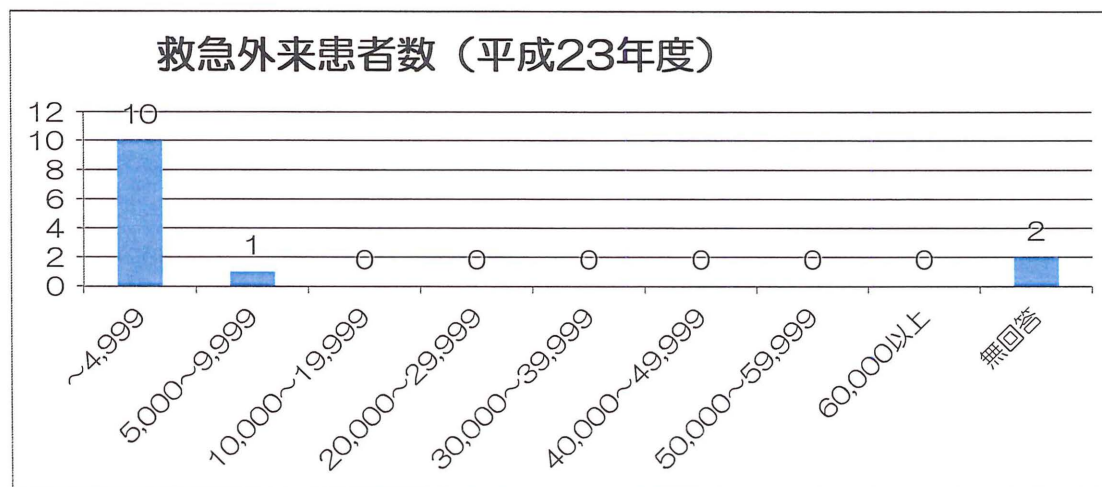
(1) 平成22年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ~4,999 | 9 | 69.2% |
| 5,000~9,999 | 0 | 0.0% |
| 10,000~19,999 | 0 | 0.0% |
| 20,000~29,999 | 0 | 0.0% |
| 30,000~39,999 | 0 | 0.0% |
| 40,000~49,999 | 0 | 0.0% |
| 50,000~59,999 | 0 | 0.0% |
| 60,000以上 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 4 | 30.8% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



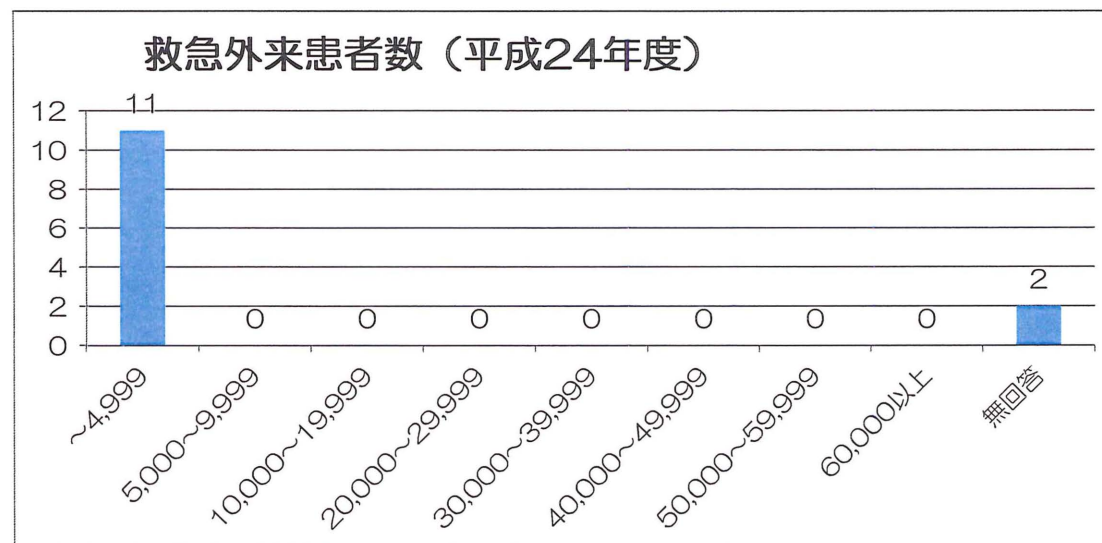
(2) 平成23年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ~4,999 | 10 | 76.9% |
| 5,000~9,999 | 1 | 7.7% |
| 10,000~19,999 | 0 | 0.0% |
| 20,000~29,999 | 0 | 0.0% |
| 30,000~39,999 | 0 | 0.0% |
| 40,000~49,999 | 0 | 0.0% |
| 50,000~59,999 | 0 | 0.0% |
| 60,000以上 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 15.4% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



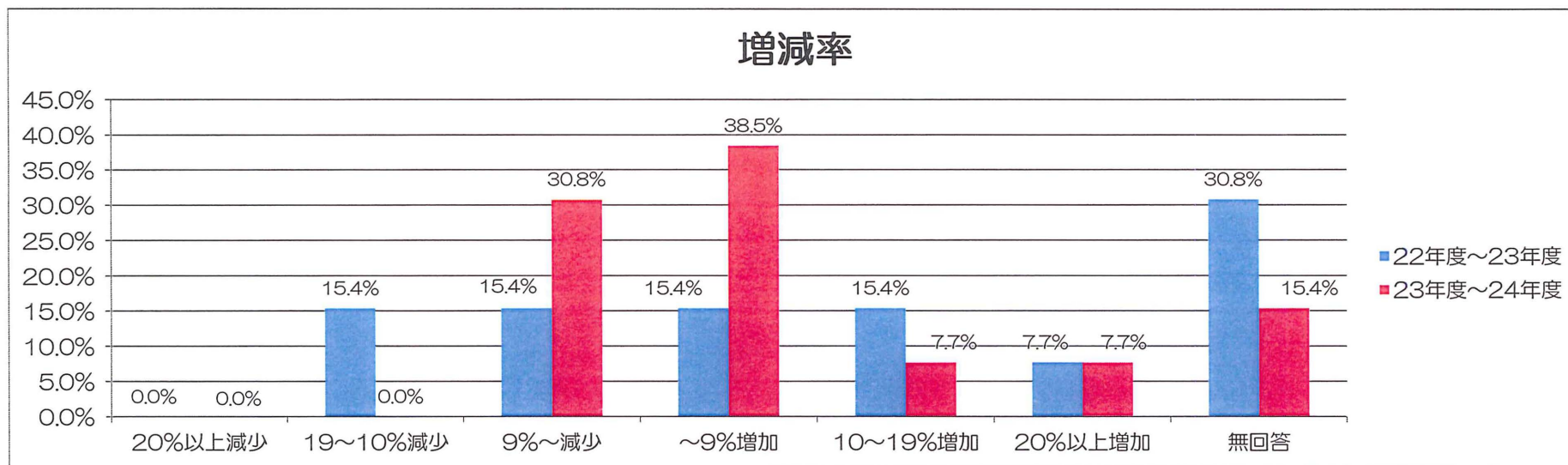
(3) 平成24年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ~4,999 | 11 | 84.6% |
| 5,000~9,999 | 0 | 0.0% |
| 10,000~19,999 | 0 | 0.0% |
| 20,000~29,999 | 0 | 0.0% |
| 30,000~39,999 | 0 | 0.0% |
| 40,000~49,999 | 0 | 0.0% |
| 50,000~59,999 | 0 | 0.0% |
| 60,000以上 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 15.4% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



(4) 増減率

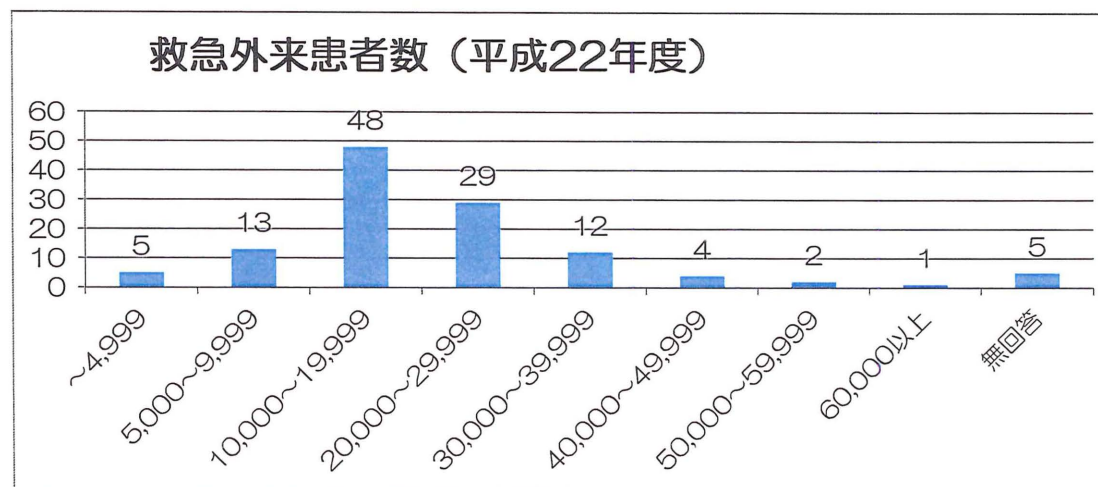
| 増減率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|----------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 20%以上減少 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 19～10%減少 | 2 | 15.4% | 0 | 0.0% |
| 9%～減少 | 2 | 15.4% | 4 | 30.8% |
| ～9%増加 | 2 | 15.4% | 5 | 38.5% |
| 10～19%増加 | 2 | 15.4% | 1 | 7.7% |
| 20%以上増加 | 1 | 7.7% | 1 | 7.7% |
| 無回答 | 4 | 30.8% | 2 | 15.4% |
| 合計 | 13 | 100.0% | 13 | 100.0% |



2) 救命救急センター（ER含む、救急外来患者の年間症例数）

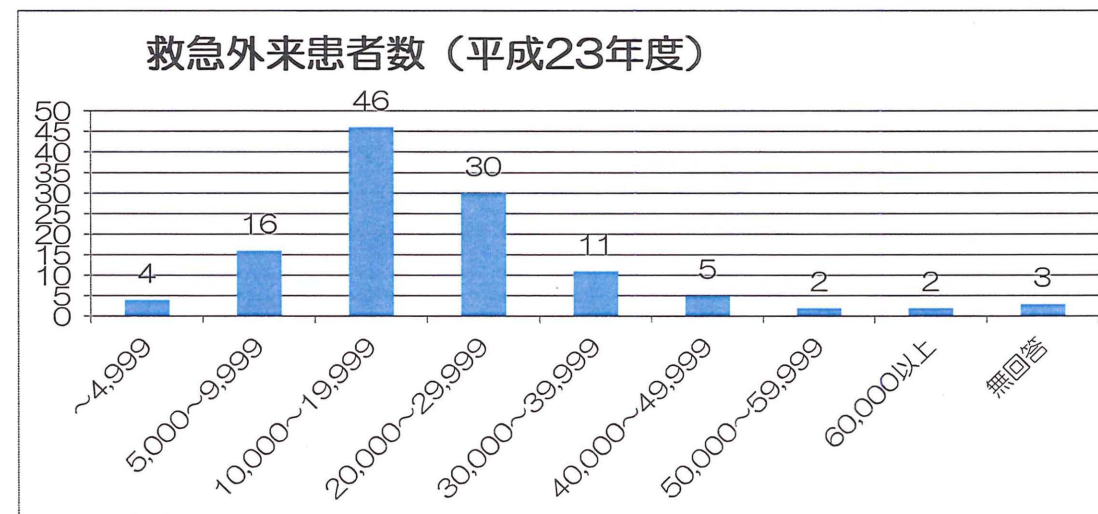
(1) 平成22年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ～4,999 | 5 | 4.2% |
| 5,000～9,999 | 13 | 10.9% |
| 10,000～19,999 | 48 | 40.3% |
| 20,000～29,999 | 29 | 24.4% |
| 30,000～39,999 | 12 | 10.1% |
| 40,000～49,999 | 4 | 3.4% |
| 50,000～59,999 | 2 | 1.7% |
| 60,000以上 | 1 | 0.8% |
| 無回答 | 5 | 4.2% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



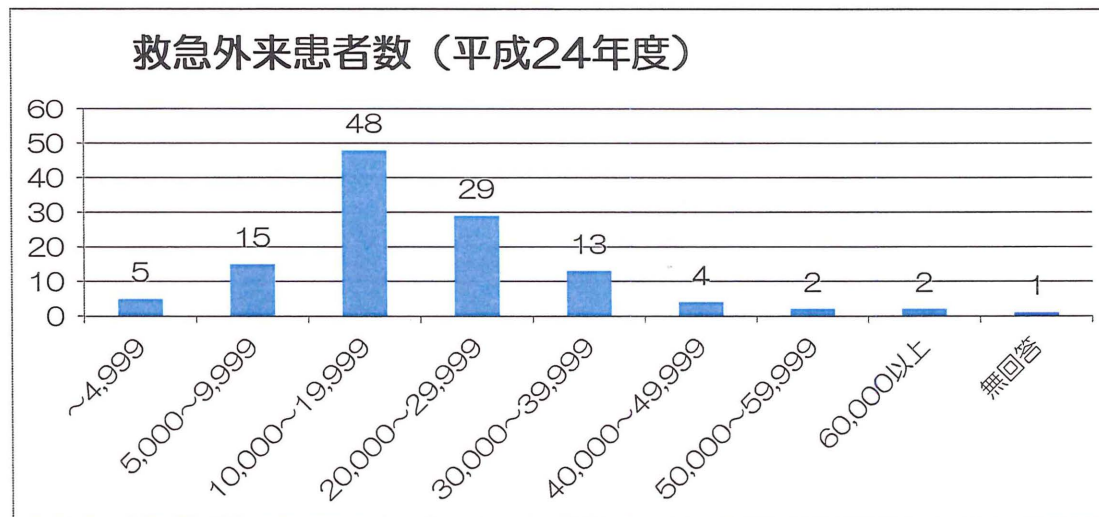
(2) 平成23年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ～4,999 | 4 | 3.4% |
| 5,000～9,999 | 16 | 13.4% |
| 10,000～19,999 | 46 | 38.7% |
| 20,000～29,999 | 30 | 25.2% |
| 30,000～39,999 | 11 | 9.2% |
| 40,000～49,999 | 5 | 4.2% |
| 50,000～59,999 | 2 | 1.7% |
| 60,000以上 | 2 | 1.7% |
| 無回答 | 3 | 2.5% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



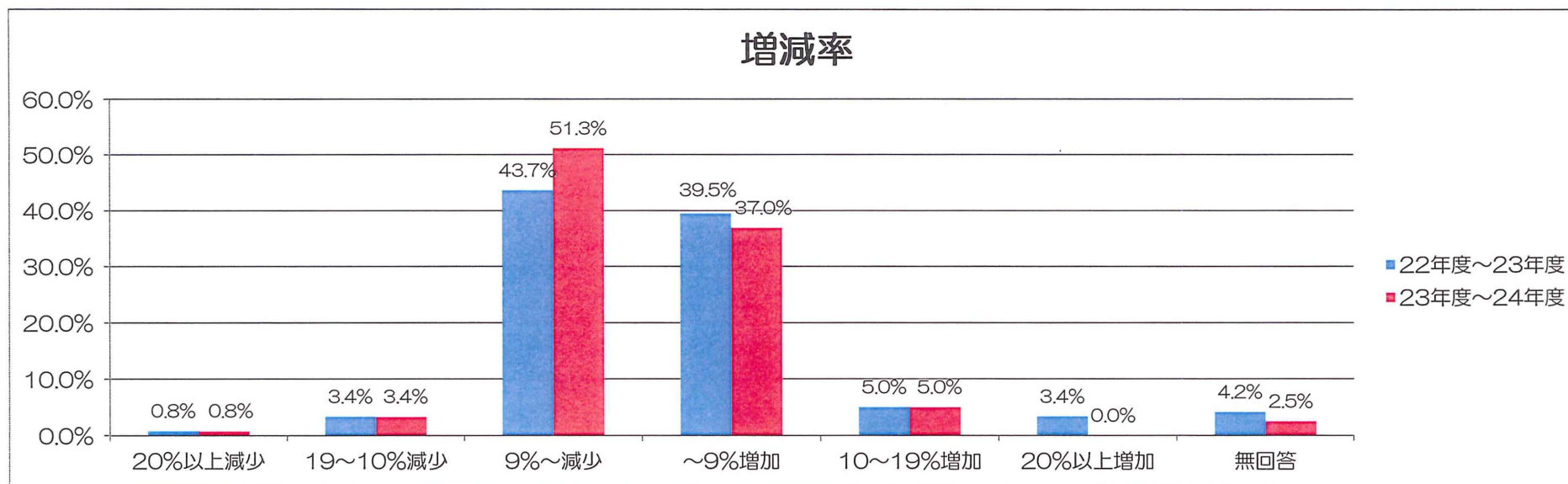
(3) 平成24年度

| 年間症例数 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ~4,999 | 5 | 4.2% |
| 5,000~9,999 | 15 | 12.6% |
| 10,000~19,999 | 48 | 40.3% |
| 20,000~29,999 | 29 | 24.4% |
| 30,000~39,999 | 13 | 10.9% |
| 40,000~49,999 | 4 | 3.4% |
| 50,000~59,999 | 2 | 1.7% |
| 60,000以上 | 2 | 1.7% |
| 無回答 | 1 | 0.8% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



(4) 増減率

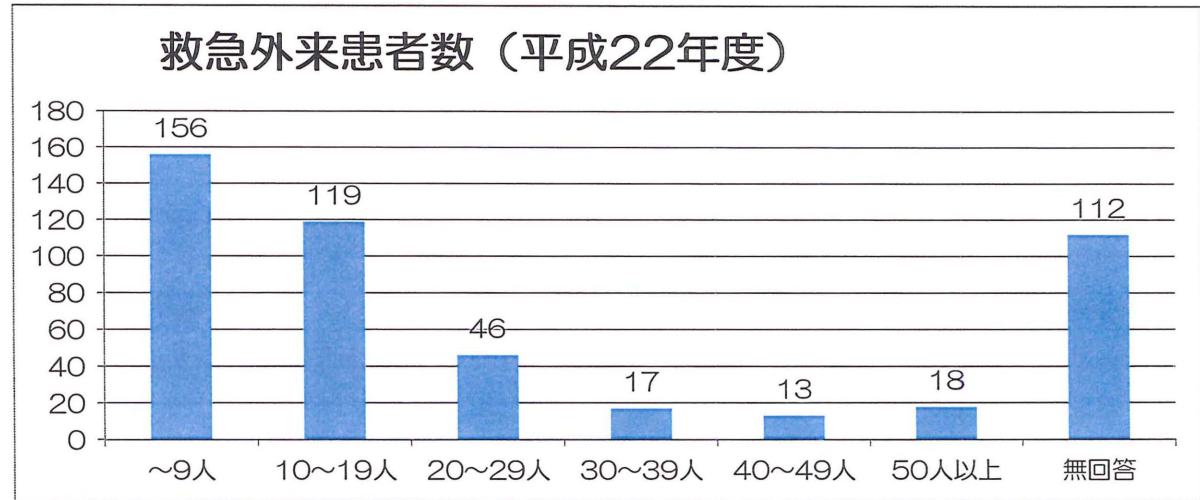
| 増減率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|----------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 20%以上減少 | 1 | 0.8% | 1 | 0.8% |
| 19～10%減少 | 4 | 3.4% | 4 | 3.4% |
| 9%～減少 | 52 | 43.7% | 61 | 51.3% |
| ～9%増加 | 47 | 39.5% | 44 | 37.0% |
| 10～19%増加 | 6 | 5.0% | 6 | 5.0% |
| 20%以上増加 | 4 | 3.4% | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 5 | 4.2% | 3 | 2.5% |
| 合計 | 119 | 100.0% | 119 | 100.0% |



3) 二次救急病院（救急外来患者の平日夜間宿直時間帯1日平均患者数）

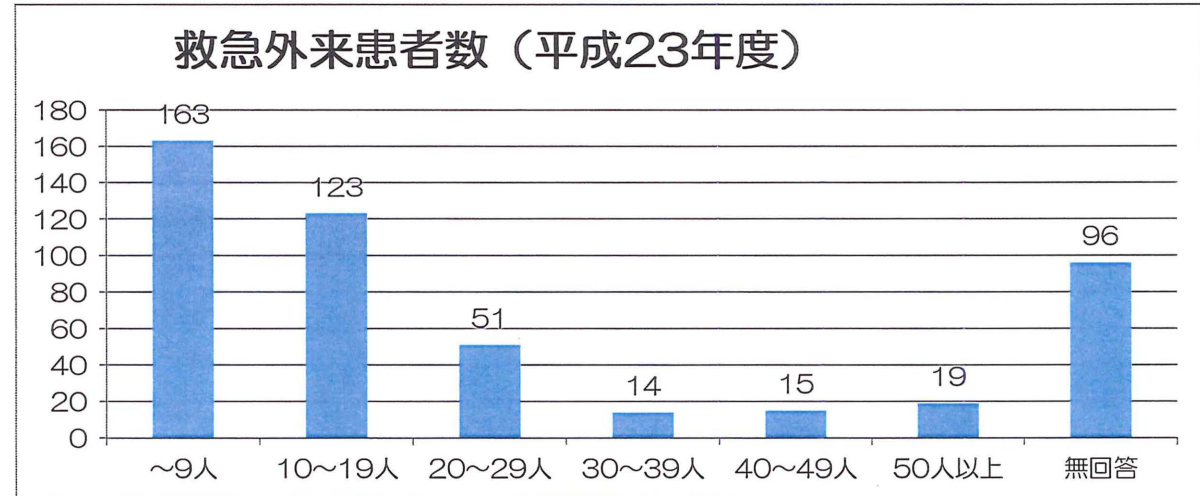
(1) 平成22年度

| 1日平均患者数 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| ～9人 | 156 | 32.4% |
| 10～19人 | 119 | 24.7% |
| 20～29人 | 46 | 9.6% |
| 30～39人 | 17 | 3.5% |
| 40～49人 | 13 | 2.7% |
| 50人以上 | 18 | 3.7% |
| 無回答 | 112 | 23.3% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



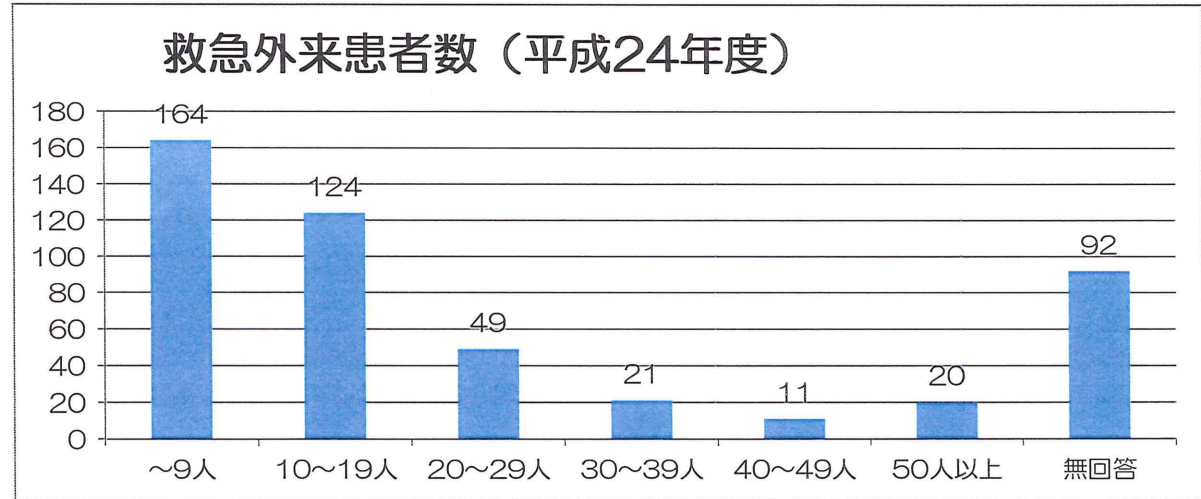
(2) 平成23年度

| 1日平均患者数 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| ～9人 | 163 | 33.9% |
| 10～19人 | 123 | 25.6% |
| 20～29人 | 51 | 10.6% |
| 30～39人 | 14 | 2.9% |
| 40～49人 | 15 | 3.1% |
| 50人以上 | 19 | 4.0% |
| 無回答 | 96 | 20.0% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



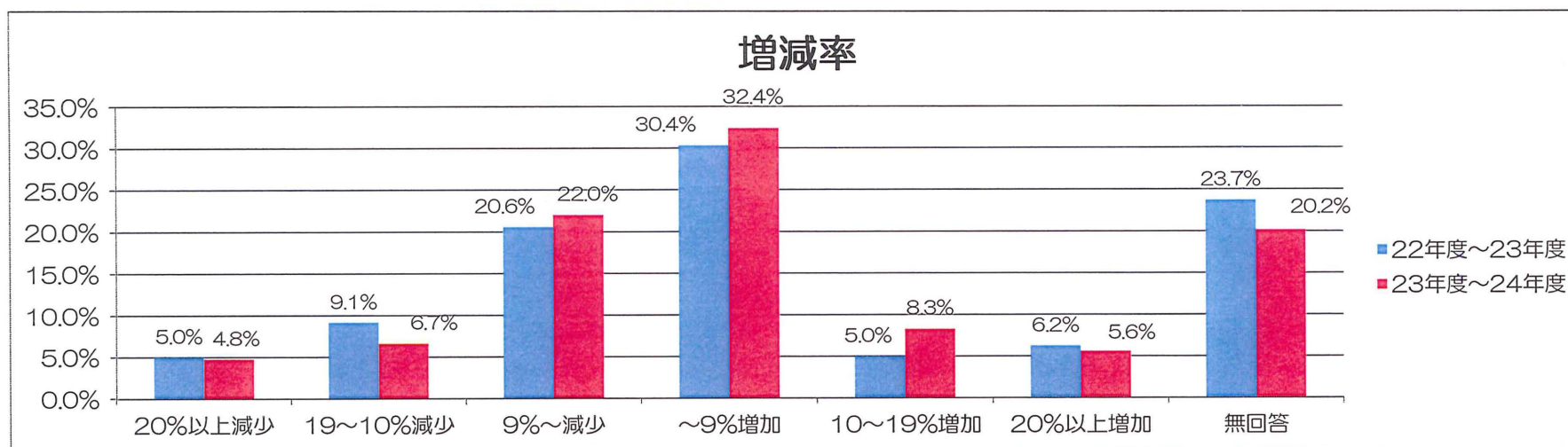
(3)平成24年度

| 1日平均患者数 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| ～9人 | 164 | 34.1% |
| 10～19人 | 124 | 25.8% |
| 20～29人 | 49 | 10.2% |
| 30～39人 | 21 | 4.4% |
| 40～49人 | 11 | 2.3% |
| 50人以上 | 20 | 4.2% |
| 無回答 | 92 | 19.1% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



(4) 増減率

| 増減率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|----------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 20%以上減少 | 24 | 5.0% | 23 | 4.8% |
| 19～10%減少 | 44 | 9.1% | 32 | 6.7% |
| 9%～減少 | 99 | 20.6% | 106 | 22.0% |
| ～9%増加 | 146 | 30.4% | 156 | 32.4% |
| 10～19%増加 | 24 | 5.0% | 40 | 8.3% |
| 20%以上増加 | 30 | 6.2% | 27 | 5.6% |
| 無回答 | 114 | 23.7% | 97 | 20.2% |
| 合計 | 481 | 100.0% | 481 | 100.0% |

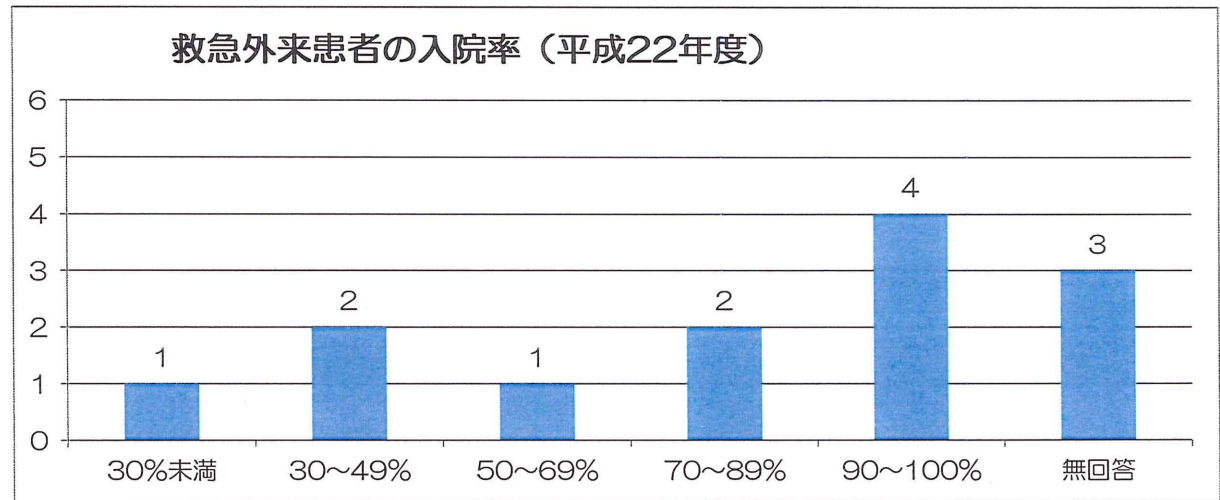


●救急外来患者の入院率

1)救命救急センター（ER含まず）

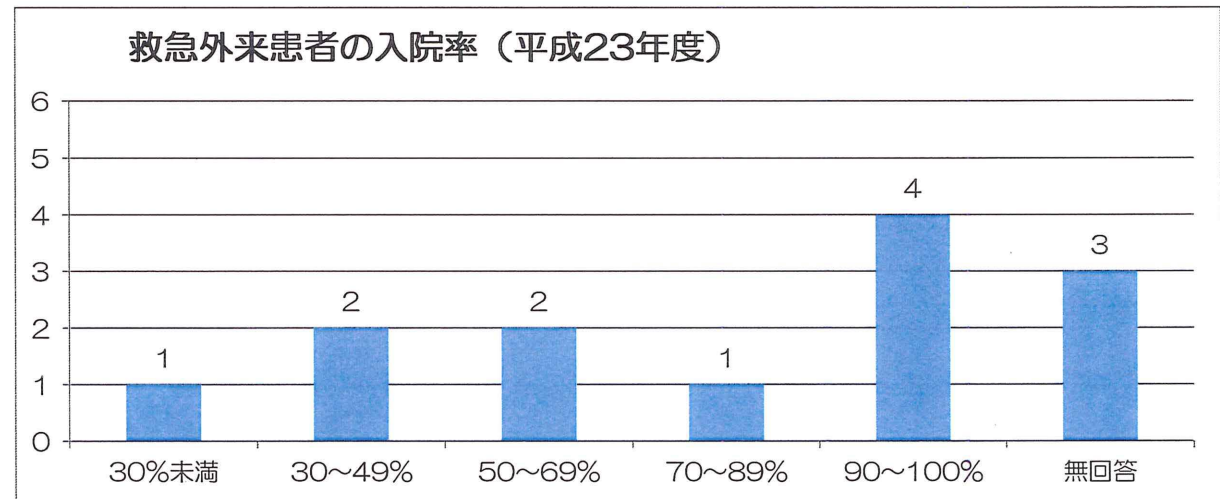
(1)平成22年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 30%未満 | 1 | 7.7% |
| 30~49% | 2 | 15.4% |
| 50~69% | 1 | 7.7% |
| 70~89% | 2 | 15.4% |
| 90~100% | 4 | 30.8% |
| 無回答 | 3 | 23.1% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



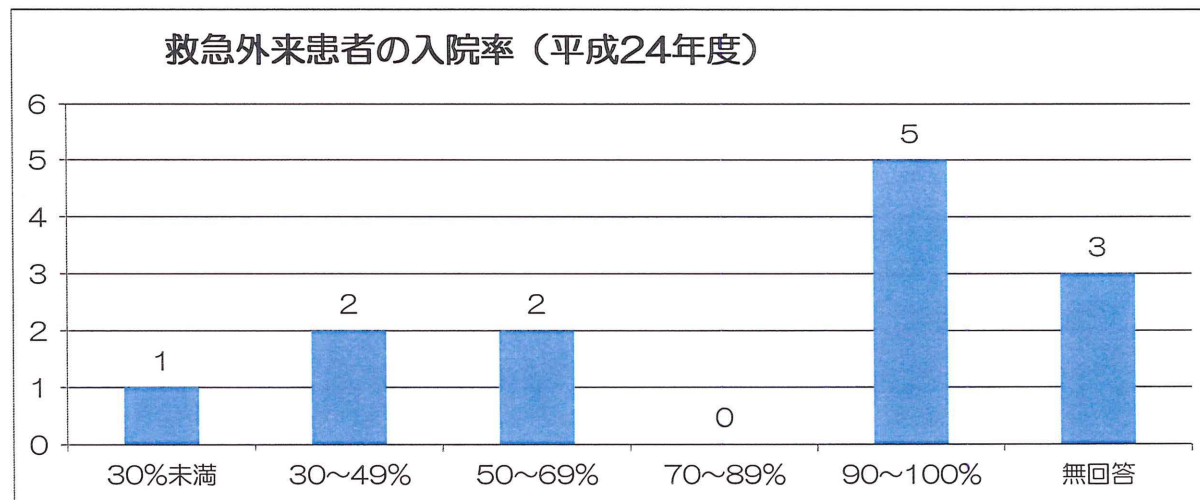
(2)平成23年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 30%未満 | 1 | 7.7% |
| 30~49% | 2 | 15.4% |
| 50~69% | 2 | 15.4% |
| 70~89% | 1 | 7.7% |
| 90~100% | 4 | 30.8% |
| 無回答 | 3 | 23.1% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



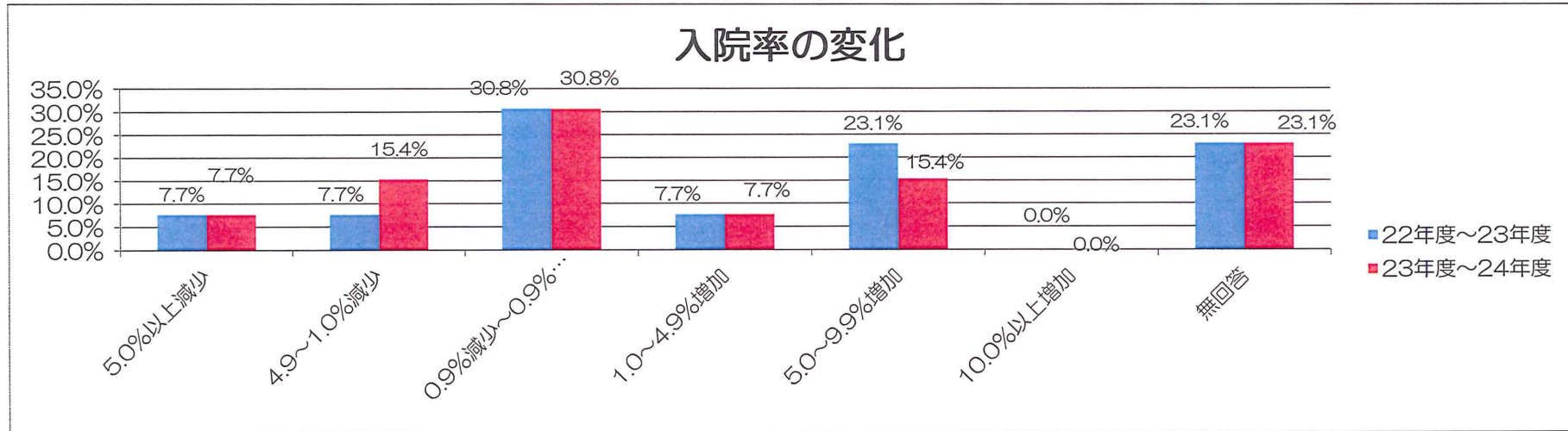
(3) 平成24年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 30%未満 | 1 | 7.7% |
| 30~49% | 2 | 15.4% |
| 50~69% | 2 | 15.4% |
| 70~89% | 0 | 0.0% |
| 90~100% | 5 | 38.5% |
| 無回答 | 3 | 23.1% |
| 合計 | 13 | 100.0% |



(4) 入院率の変化

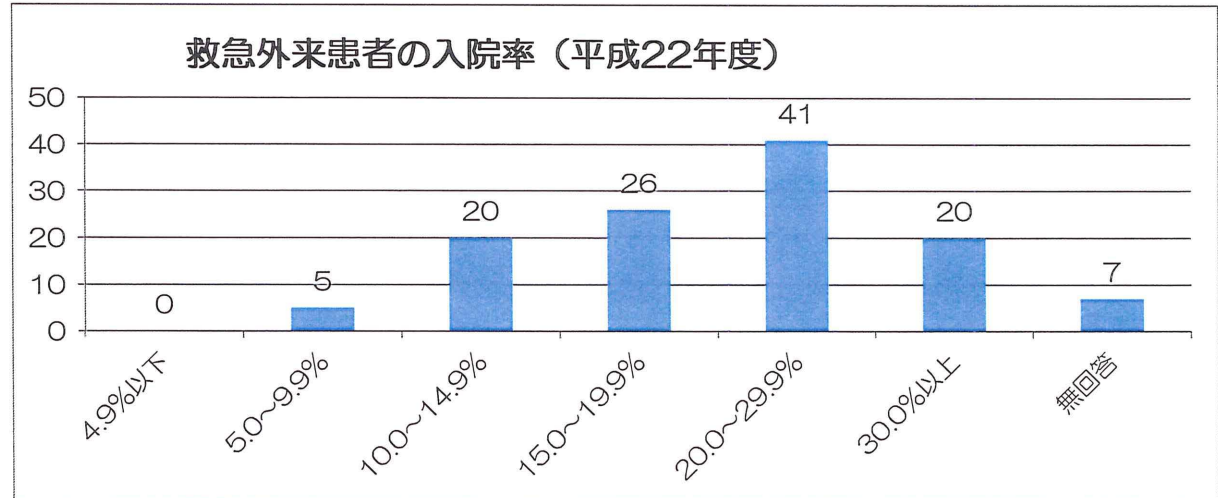
| 入院率の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 1 | 7.7% | 1 | 7.7% |
| 4.9～1.0%減少 | 1 | 7.7% | 2 | 15.4% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 4 | 30.8% | 4 | 30.8% |
| 1.0～4.9%増加 | 1 | 7.7% | 1 | 7.7% |
| 5.0～9.9%増加 | 3 | 23.1% | 2 | 15.4% |
| 10.0%以上増加 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 3 | 23.1% | 3 | 23.1% |
| 合計 | 13 | 100.0% | 13 | 100.0% |



2)救命救急センター（ER含む）

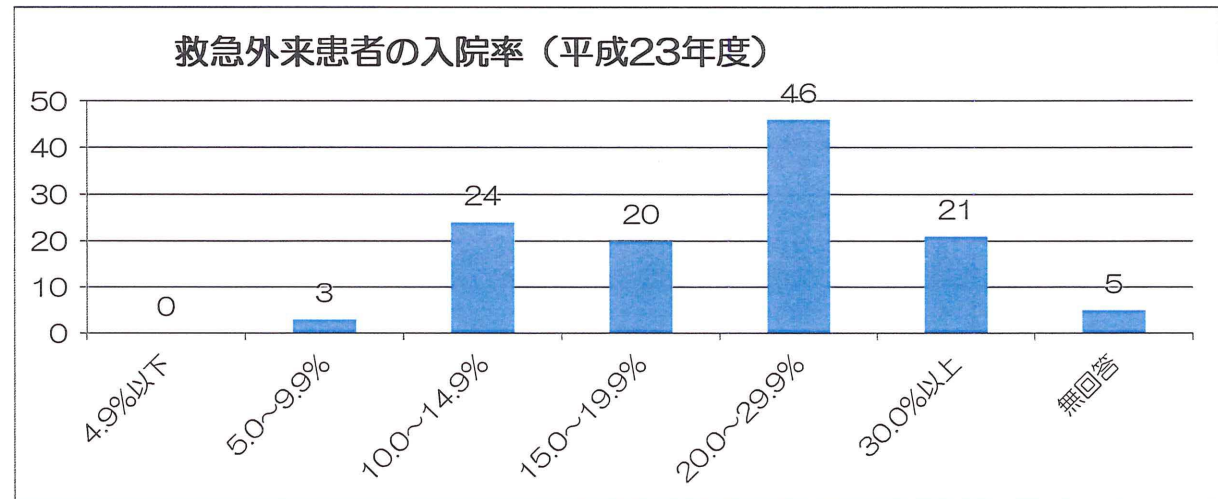
(1)平成22年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 0 | 0.0% |
| 5.0~9.9% | 5 | 4.2% |
| 10.0~14.9% | 20 | 16.8% |
| 15.0~19.9% | 26 | 21.8% |
| 20.0~29.9% | 41 | 34.5% |
| 30.0%以上 | 20 | 16.8% |
| 無回答 | 7 | 5.9% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



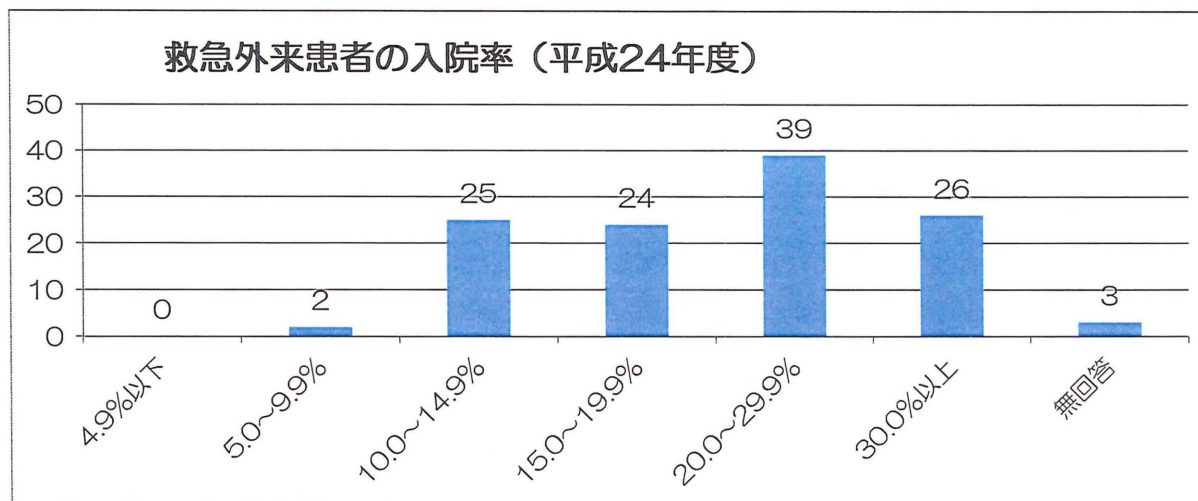
(2)平成23年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 0 | 0.0% |
| 5.0~9.9% | 3 | 2.5% |
| 10.0~14.9% | 24 | 20.2% |
| 15.0~19.9% | 20 | 16.8% |
| 20.0~29.9% | 46 | 38.7% |
| 30.0%以上 | 21 | 17.6% |
| 無回答 | 5 | 4.2% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



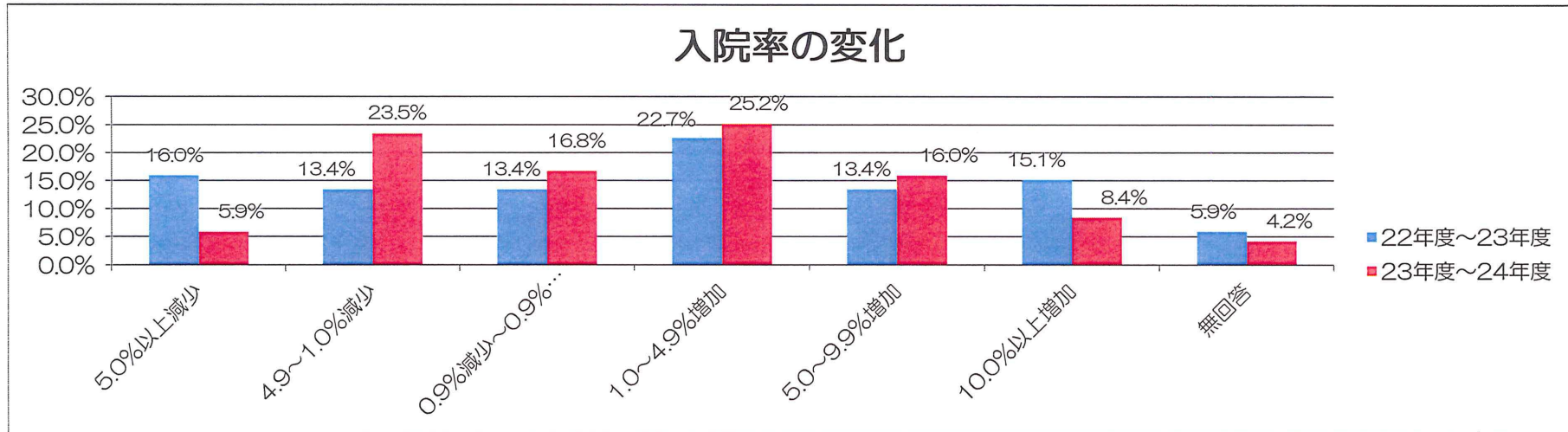
(3) 平成24年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 0 | 0.0% |
| 5.0~9.9% | 2 | 1.7% |
| 10.0~14.9% | 25 | 21.0% |
| 15.0~19.9% | 24 | 20.2% |
| 20.0~29.9% | 39 | 32.8% |
| 30.0%以上 | 26 | 21.8% |
| 無回答 | 3 | 2.5% |
| 合計 | 119 | 100.0% |



(4) 入院率の変化

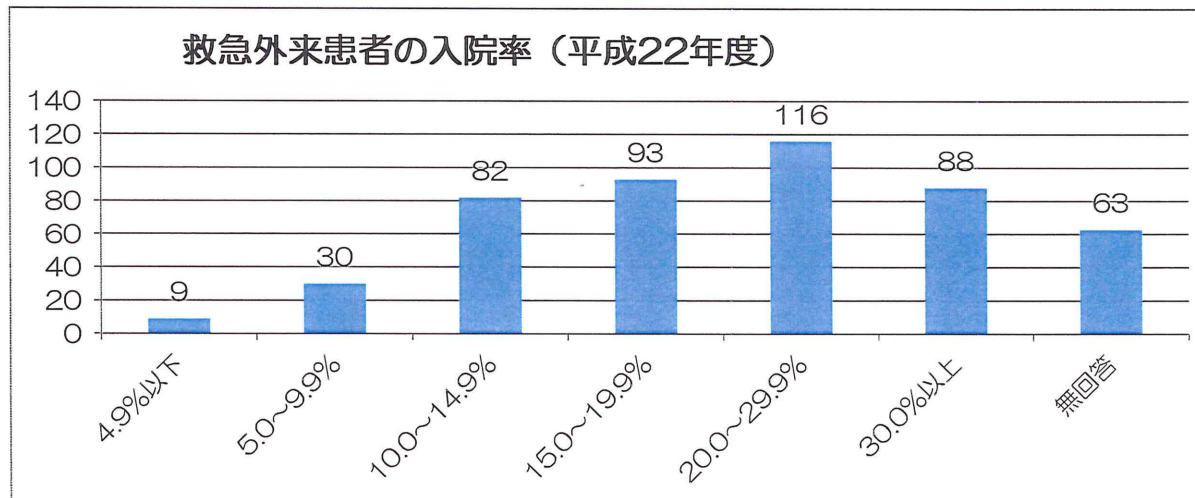
| 入院率の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 19 | 16.0% | 7 | 5.9% |
| 4.9～1.0%減少 | 16 | 13.4% | 28 | 23.5% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 16 | 13.4% | 20 | 16.8% |
| 1.0～4.9%増加 | 27 | 22.7% | 30 | 25.2% |
| 5.0～9.9%増加 | 16 | 13.4% | 19 | 16.0% |
| 10.0%以上増加 | 18 | 15.1% | 10 | 8.4% |
| 無回答 | 7 | 5.9% | 5 | 4.2% |
| 合計 | 119 | 100.0% | 119 | 100.0% |



3) 二次救急病院

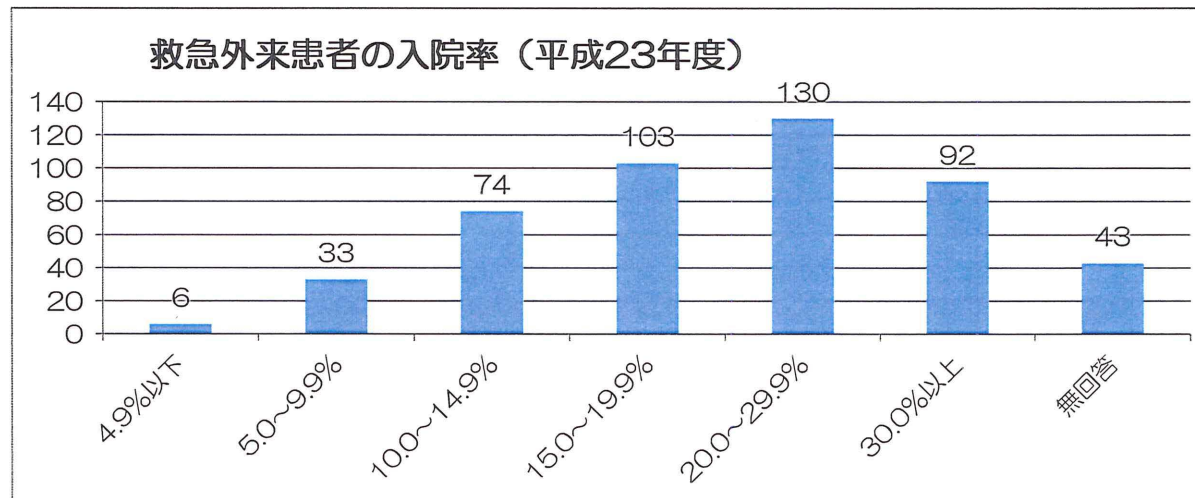
(1) 平成22年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 9 | 1.9% |
| 5.0~9.9% | 30 | 6.2% |
| 10.0~14.9% | 82 | 17.0% |
| 15.0~19.9% | 93 | 19.3% |
| 20.0~29.9% | 116 | 24.1% |
| 30.0%以上 | 88 | 18.3% |
| 無回答 | 63 | 13.1% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



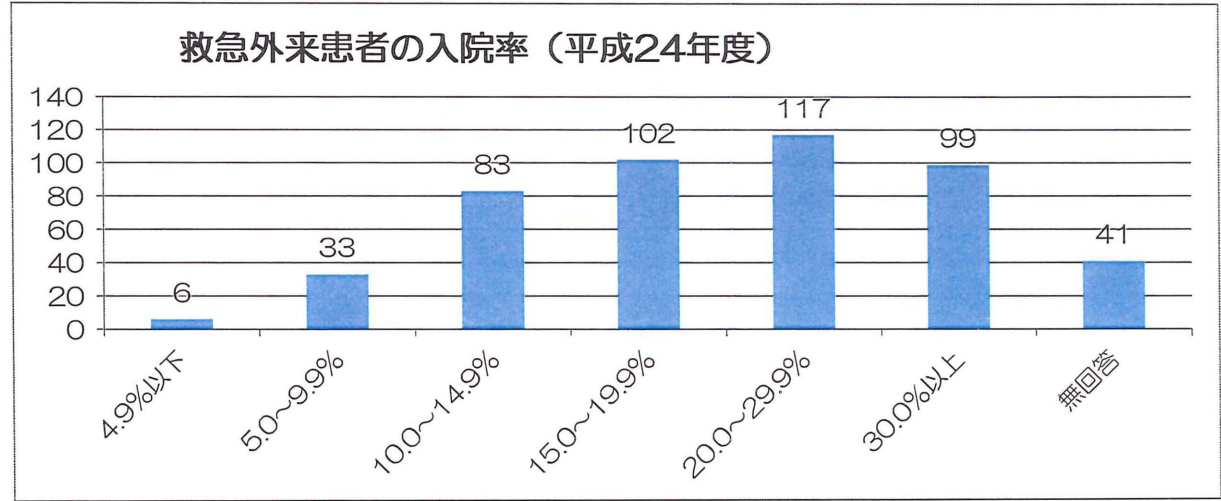
(2) 平成23年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 6 | 1.2% |
| 5.0~9.9% | 33 | 6.9% |
| 10.0~14.9% | 74 | 15.4% |
| 15.0~19.9% | 103 | 21.4% |
| 20.0~29.9% | 130 | 27.0% |
| 30.0%以上 | 92 | 19.1% |
| 無回答 | 43 | 8.9% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



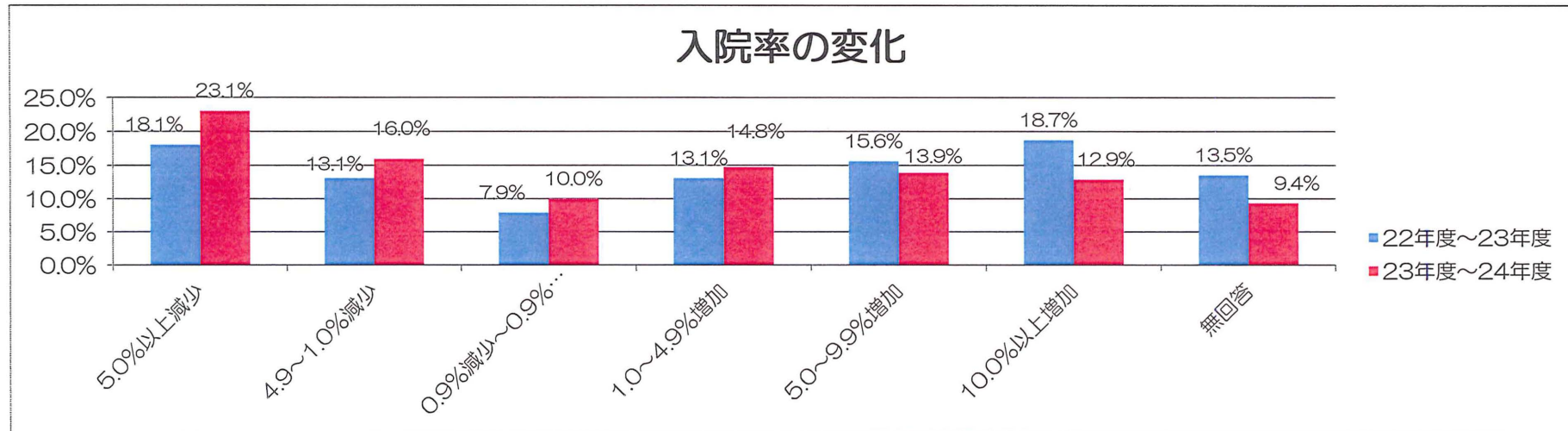
(3) 平成24年度

| 入院率 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 6 | 1.2% |
| 5.0~9.9% | 33 | 6.9% |
| 10.0~14.9% | 83 | 17.3% |
| 15.0~19.9% | 102 | 21.2% |
| 20.0~29.9% | 117 | 24.3% |
| 30.0%以上 | 99 | 20.6% |
| 無回答 | 41 | 8.5% |
| 合計 | 481 | 100.0% |



(4) 入院率の変化

| 入院率の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 87 | 18.1% | 111 | 23.1% |
| 4.9～1.0%減少 | 63 | 13.1% | 77 | 16.0% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 38 | 7.9% | 48 | 10.0% |
| 1.0～4.9%増加 | 63 | 13.1% | 71 | 14.8% |
| 5.0～9.9%増加 | 75 | 15.6% | 67 | 13.9% |
| 10.0%以上増加 | 90 | 18.7% | 62 | 12.9% |
| 無回答 | 65 | 13.5% | 45 | 9.4% |
| 合計 | 481 | 100.0% | 481 | 100.0% |

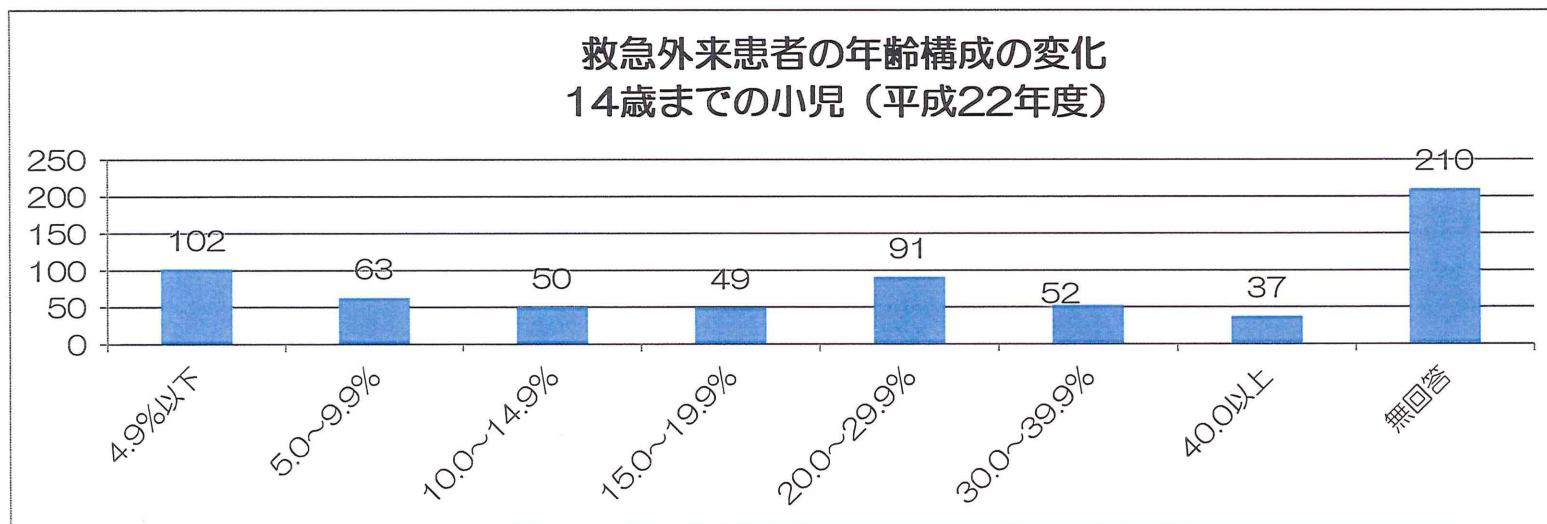


●救急外来患者（救急車、時間外、来院患者を含む）の年齢構成の変化

・14歳までの小児

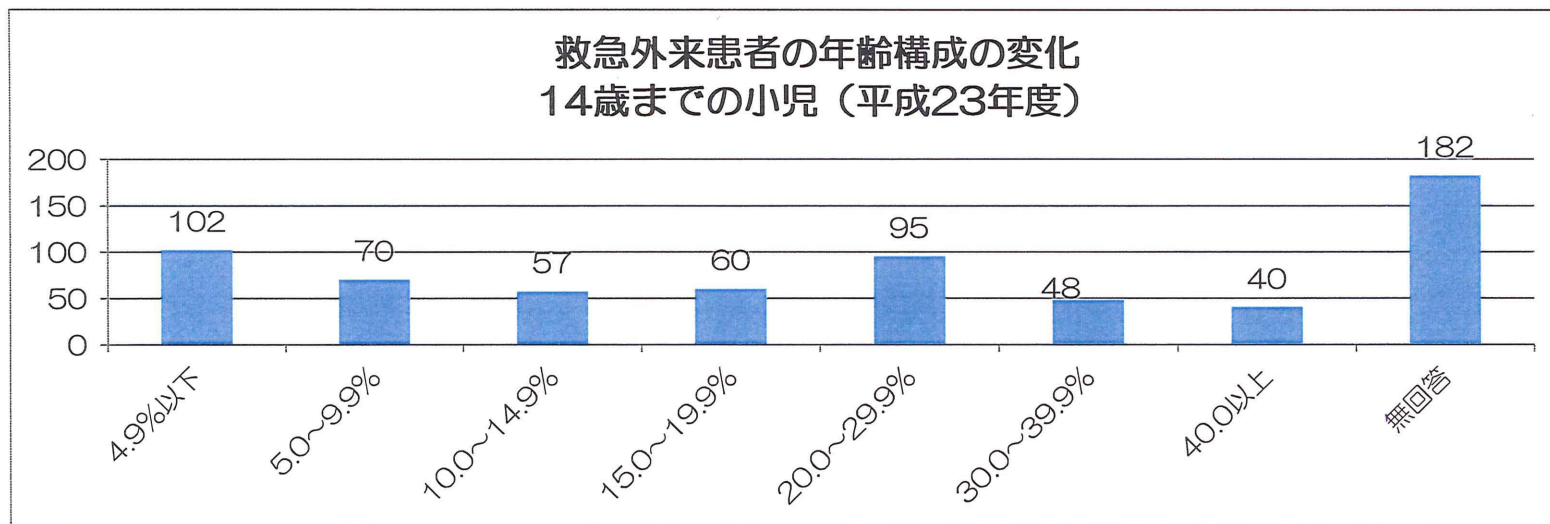
(1) 平成22年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 102 | 15.6% |
| 5.0~9.9% | 63 | 9.6% |
| 10.0~14.9% | 50 | 7.6% |
| 15.0~19.9% | 49 | 7.5% |
| 20.0~29.9% | 91 | 13.9% |
| 30.0~39.9% | 52 | 8.0% |
| 40.0以上 | 37 | 5.7% |
| 無回答 | 210 | 32.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



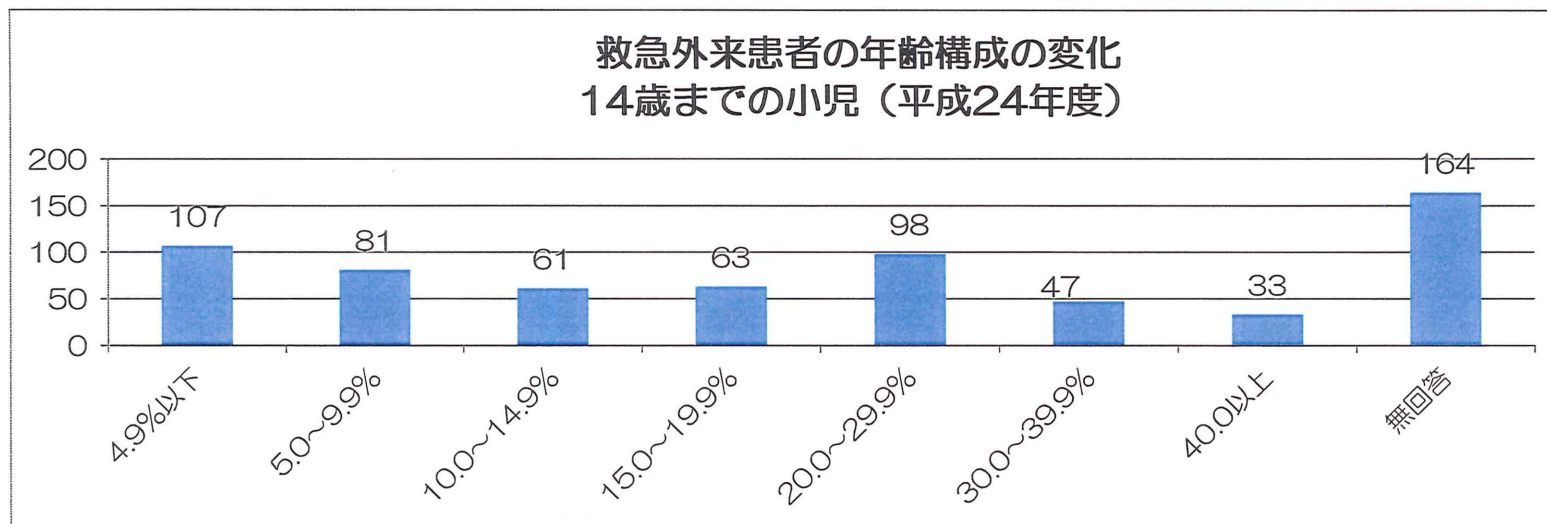
(2) 平成23年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 102 | 15.6% |
| 5.0~9.9% | 70 | 10.7% |
| 10.0~14.9% | 57 | 8.7% |
| 15.0~19.9% | 60 | 9.2% |
| 20.0~29.9% | 95 | 14.5% |
| 30.0~39.9% | 48 | 7.3% |
| 40.0以上 | 40 | 6.1% |
| 無回答 | 182 | 27.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



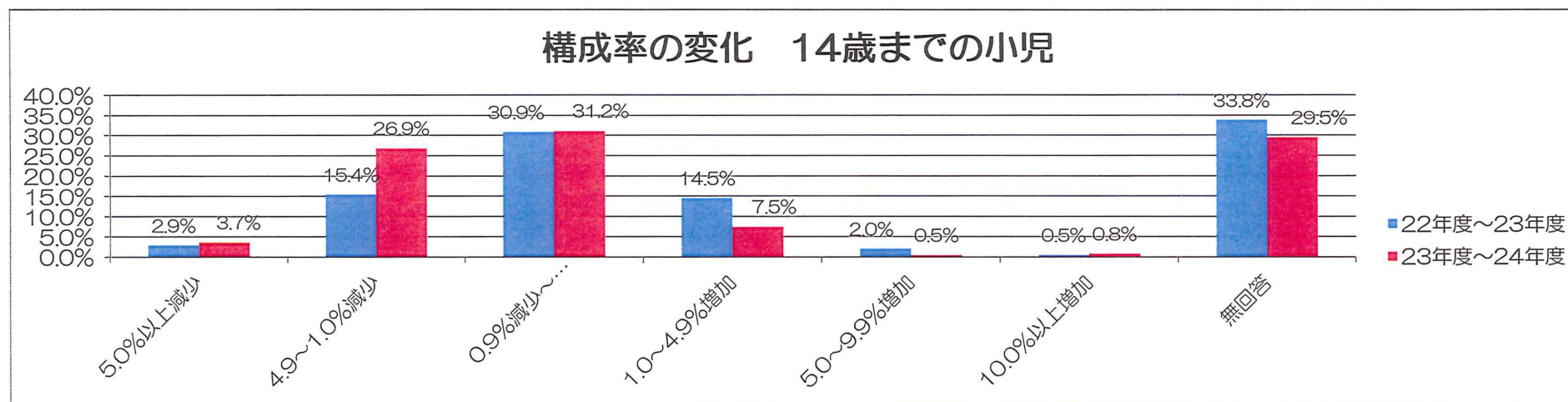
(3) 平成24年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 107 | 16.4% |
| 5.0~9.9% | 81 | 12.4% |
| 10.0~14.9% | 61 | 9.3% |
| 15.0~19.9% | 63 | 9.6% |
| 20.0~29.9% | 98 | 15.0% |
| 30.0~39.9% | 47 | 7.2% |
| 40.0以上 | 33 | 5.0% |
| 無回答 | 164 | 25.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



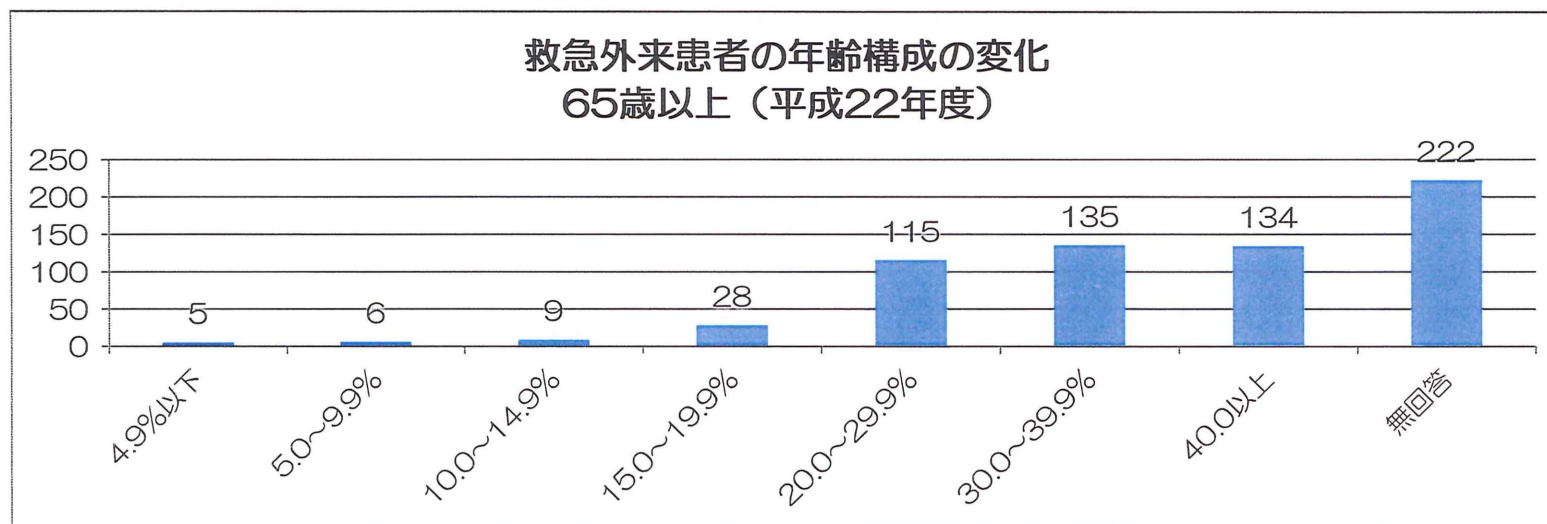
(4) 構成率の変化

| 割合の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 19 | 2.9% | 24 | 3.7% |
| 4.9～1.0%減少 | 101 | 15.4% | 176 | 26.9% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 202 | 30.9% | 204 | 31.2% |
| 1.0～4.9%増加 | 95 | 14.5% | 49 | 7.5% |
| 5.0～9.9%増加 | 13 | 2.0% | 3 | 0.5% |
| 10.0%以上増加 | 3 | 0.5% | 5 | 0.8% |
| 無回答 | 221 | 33.8% | 193 | 29.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



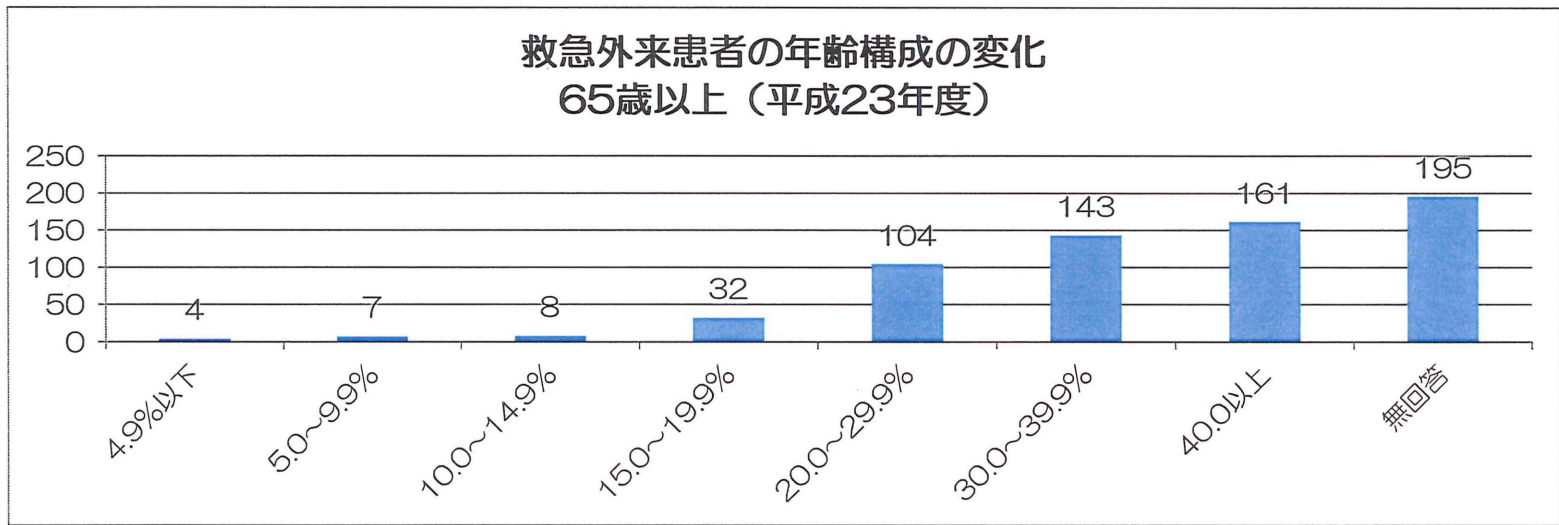
・65歳以上
 (1) 平成22年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 5 | 0.8% |
| 5.0~9.9% | 6 | 0.9% |
| 10.0~14.9% | 9 | 1.4% |
| 15.0~19.9% | 28 | 4.3% |
| 20.0~29.9% | 115 | 17.6% |
| 30.0~39.9% | 135 | 20.6% |
| 40.0以上 | 134 | 20.5% |
| 無回答 | 222 | 33.9% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



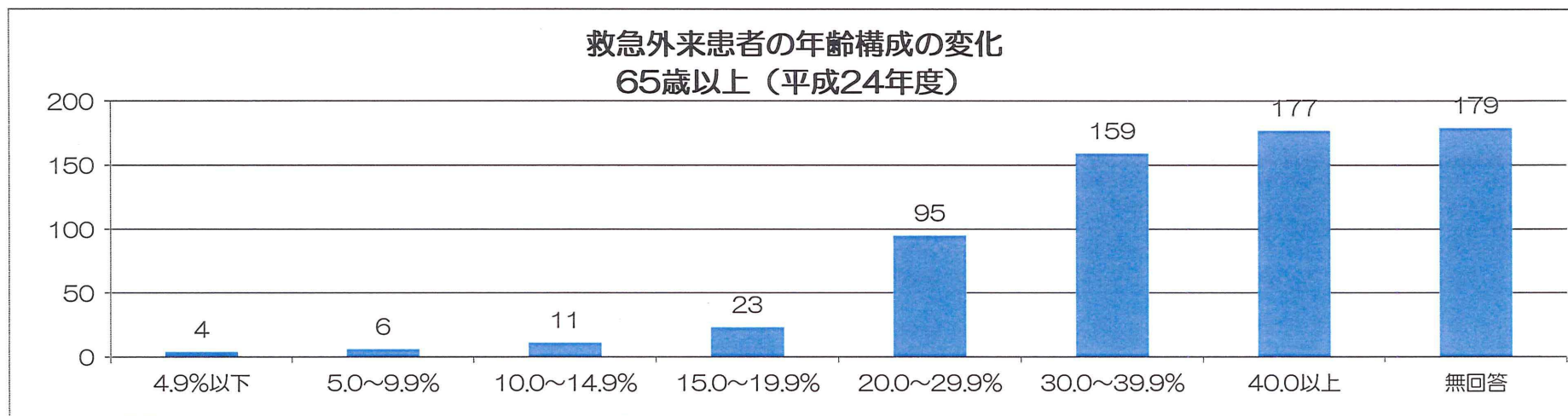
(2) 平成23年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 4 | 0.6% |
| 5.0~9.9% | 7 | 1.1% |
| 10.0~14.9% | 8 | 1.2% |
| 15.0~19.9% | 32 | 4.9% |
| 20.0~29.9% | 104 | 15.9% |
| 30.0~39.9% | 143 | 21.9% |
| 40.0以上 | 161 | 24.6% |
| 無回答 | 195 | 29.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



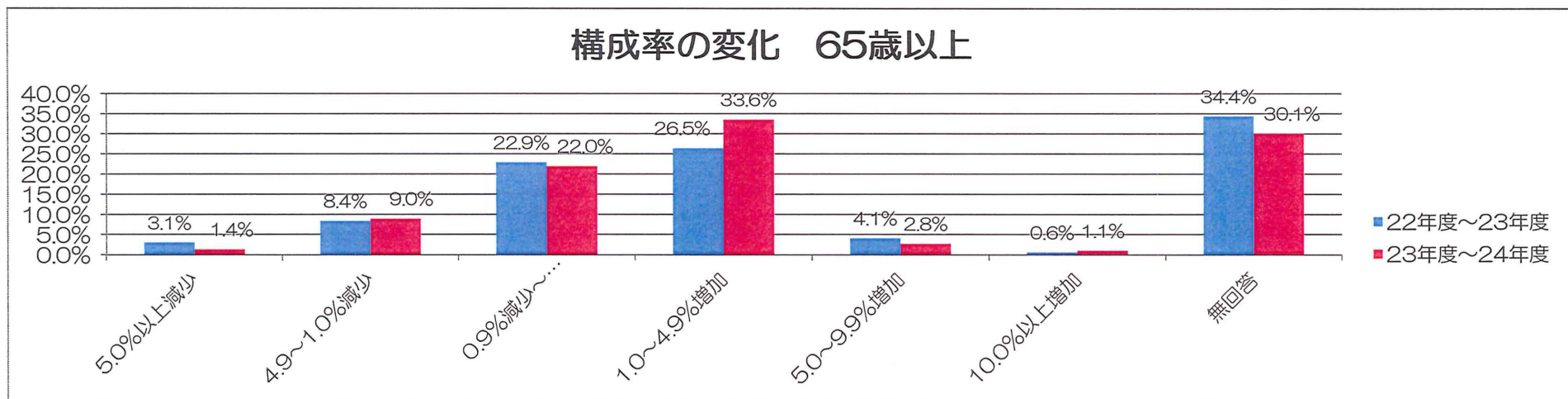
(3) 平成24年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 4 | 0.6% |
| 5.0~9.9% | 6 | 0.9% |
| 10.0~14.9% | 11 | 1.7% |
| 15.0~19.9% | 23 | 3.5% |
| 20.0~29.9% | 95 | 14.5% |
| 30.0~39.9% | 159 | 24.3% |
| 40.0以上 | 177 | 27.1% |
| 無回答 | 179 | 27.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



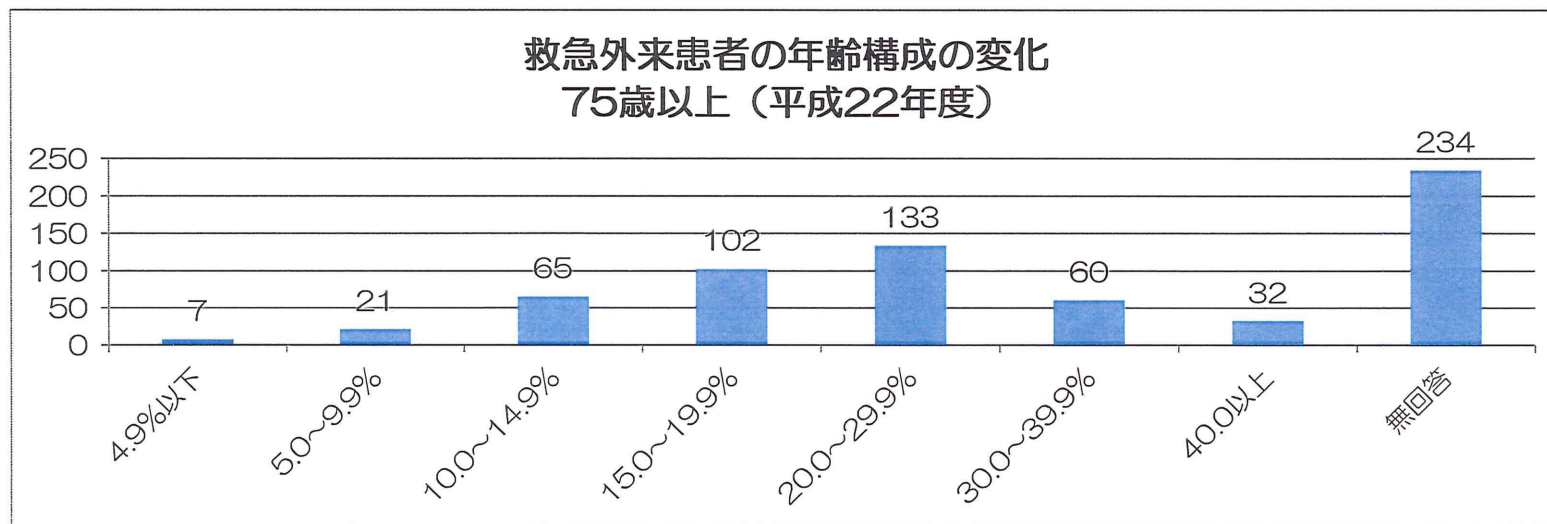
(4) 構成率の変化

| 割合の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 20 | 3.1% | 9 | 1.4% |
| 4.9～1.0%減少 | 55 | 8.4% | 59 | 9.0% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 150 | 22.9% | 144 | 22.0% |
| 1.0～4.9%増加 | 173 | 26.5% | 220 | 33.6% |
| 5.0～9.9%増加 | 27 | 4.1% | 18 | 2.8% |
| 10.0%以上増加 | 4 | 0.6% | 7 | 1.1% |
| 無回答 | 225 | 34.4% | 197 | 30.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



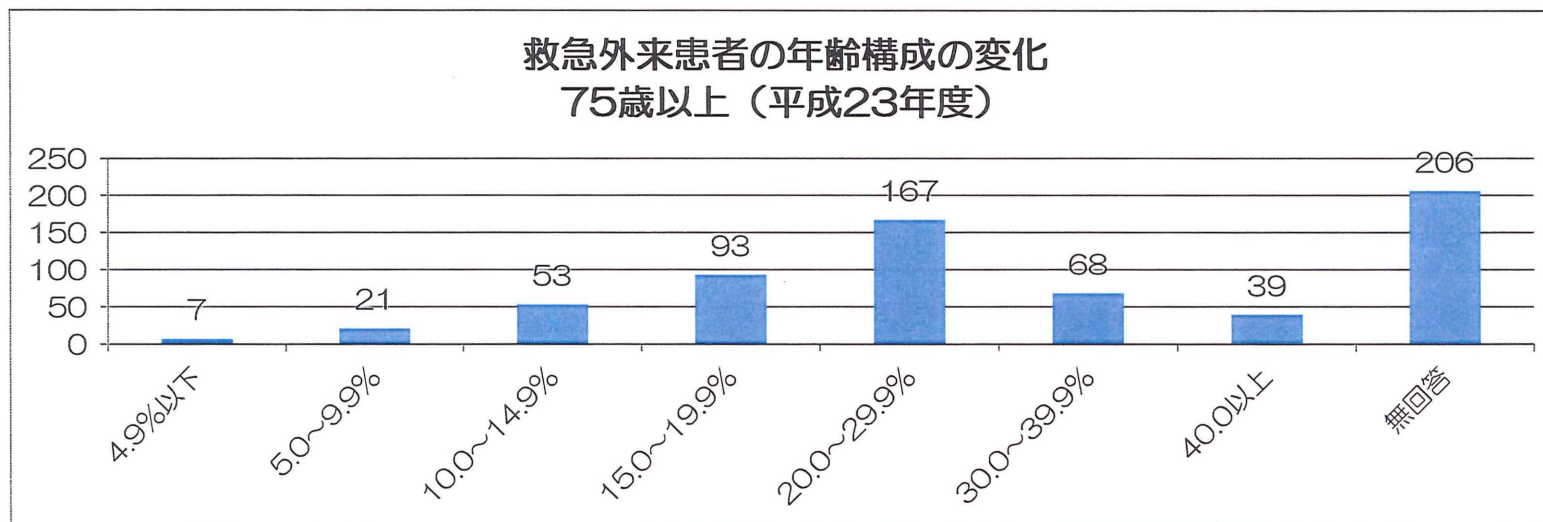
・75歳以上（再掲）
 (1) 平成22年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 7 | 1.1% |
| 5.0~9.9% | 21 | 3.2% |
| 10.0~14.9% | 65 | 9.9% |
| 15.0~19.9% | 102 | 15.6% |
| 20.0~29.9% | 133 | 20.3% |
| 30.0~39.9% | 60 | 9.2% |
| 40.0以上 | 32 | 4.9% |
| 無回答 | 234 | 35.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



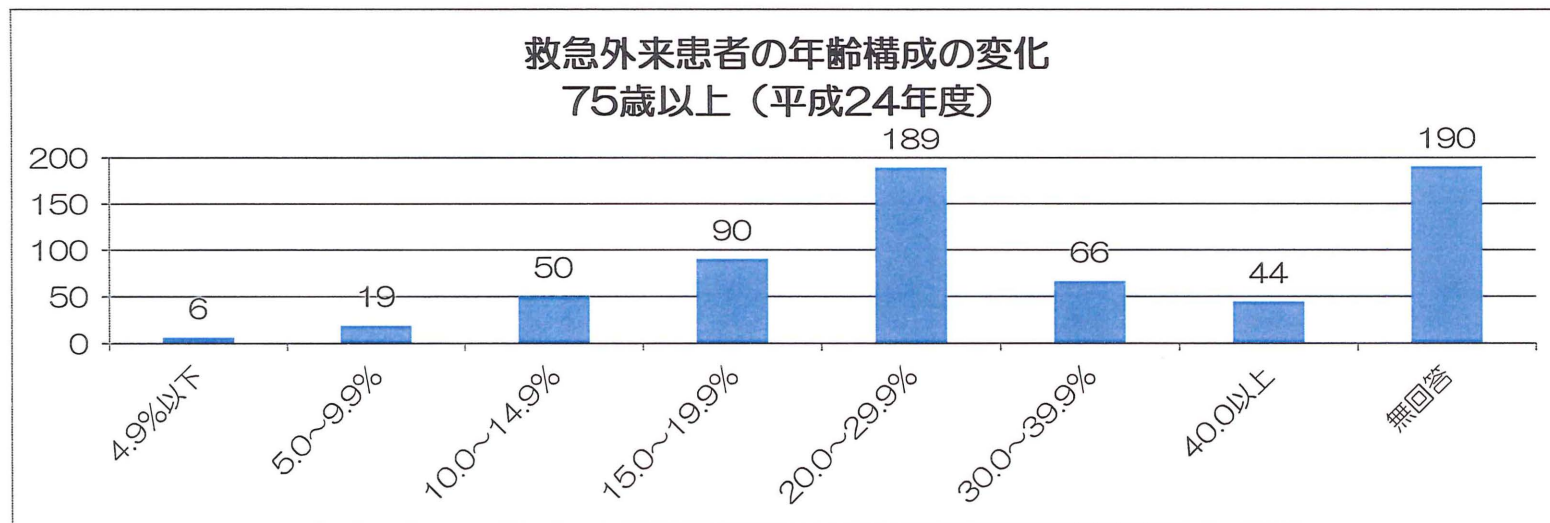
(2) 平成23年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 7 | 1.1% |
| 5.0~9.9% | 21 | 3.2% |
| 10.0~14.9% | 53 | 8.1% |
| 15.0~19.9% | 93 | 14.2% |
| 20.0~29.9% | 167 | 25.5% |
| 30.0~39.9% | 68 | 10.4% |
| 40.0以上 | 39 | 6.0% |
| 無回答 | 206 | 31.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



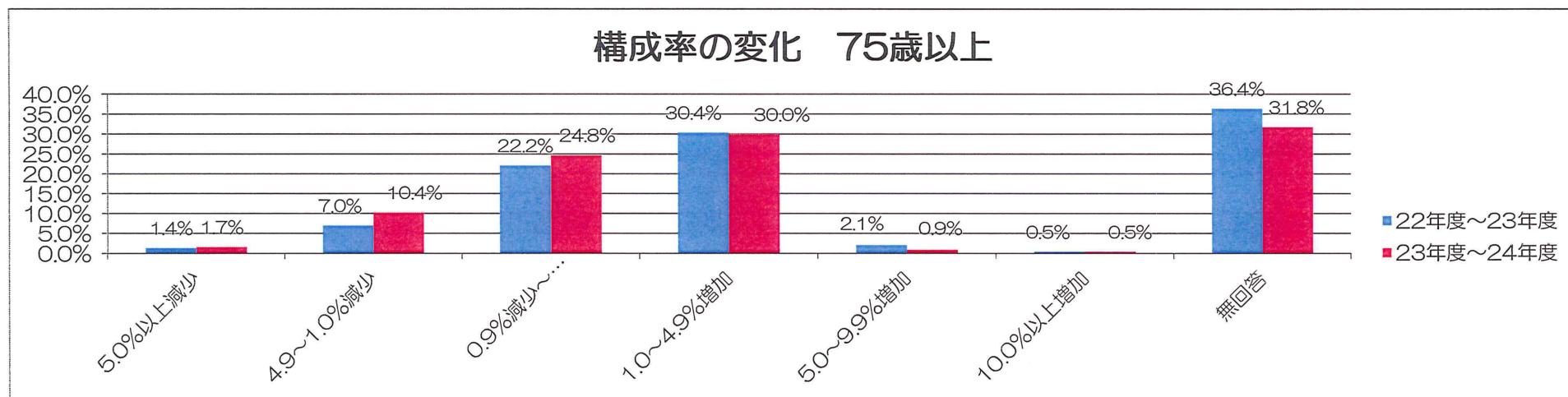
(3) 平成24年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 6 | 0.9% |
| 5.0~9.9% | 19 | 2.9% |
| 10.0~14.9% | 50 | 7.6% |
| 15.0~19.9% | 90 | 13.8% |
| 20.0~29.9% | 189 | 28.9% |
| 30.0~39.9% | 66 | 10.1% |
| 40.0以上 | 44 | 6.7% |
| 無回答 | 190 | 29.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



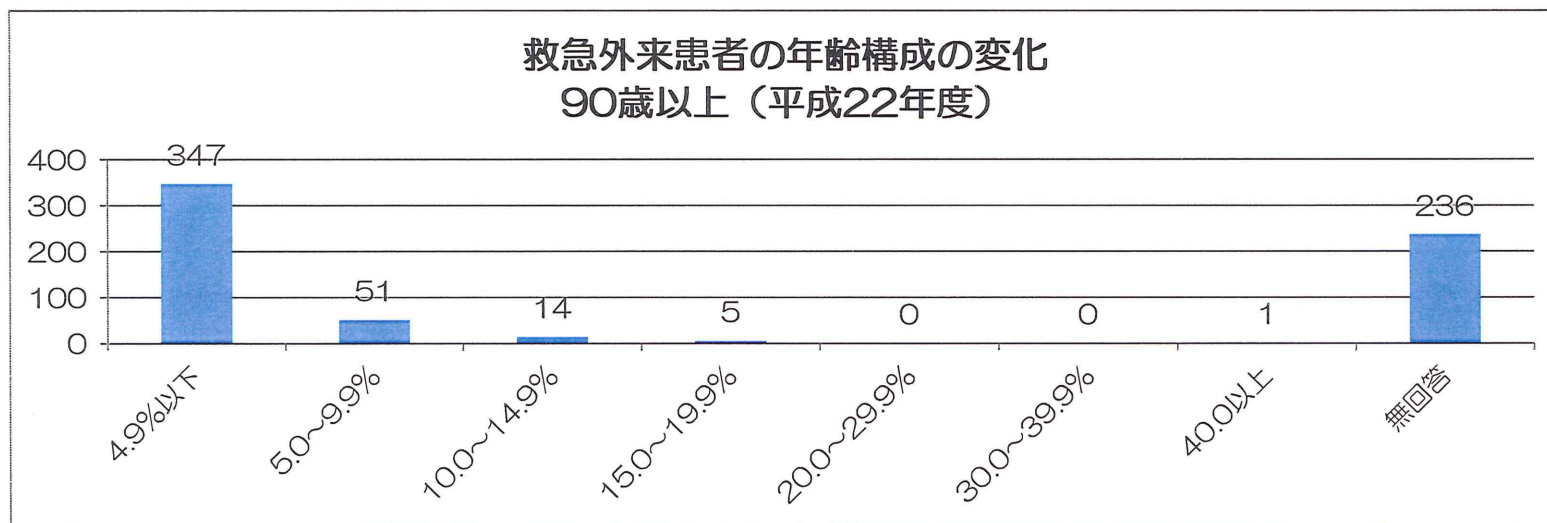
(4) 構成率の変化

| 割合の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 9 | 1.4% | 11 | 1.7% |
| 4.9～1.0%減少 | 46 | 7.0% | 68 | 10.4% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 145 | 22.2% | 162 | 24.8% |
| 1.0～4.9%増加 | 199 | 30.4% | 196 | 30.0% |
| 5.0～9.9%増加 | 14 | 2.1% | 6 | 0.9% |
| 10.0%以上増加 | 3 | 0.5% | 3 | 0.5% |
| 無回答 | 238 | 36.4% | 208 | 31.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



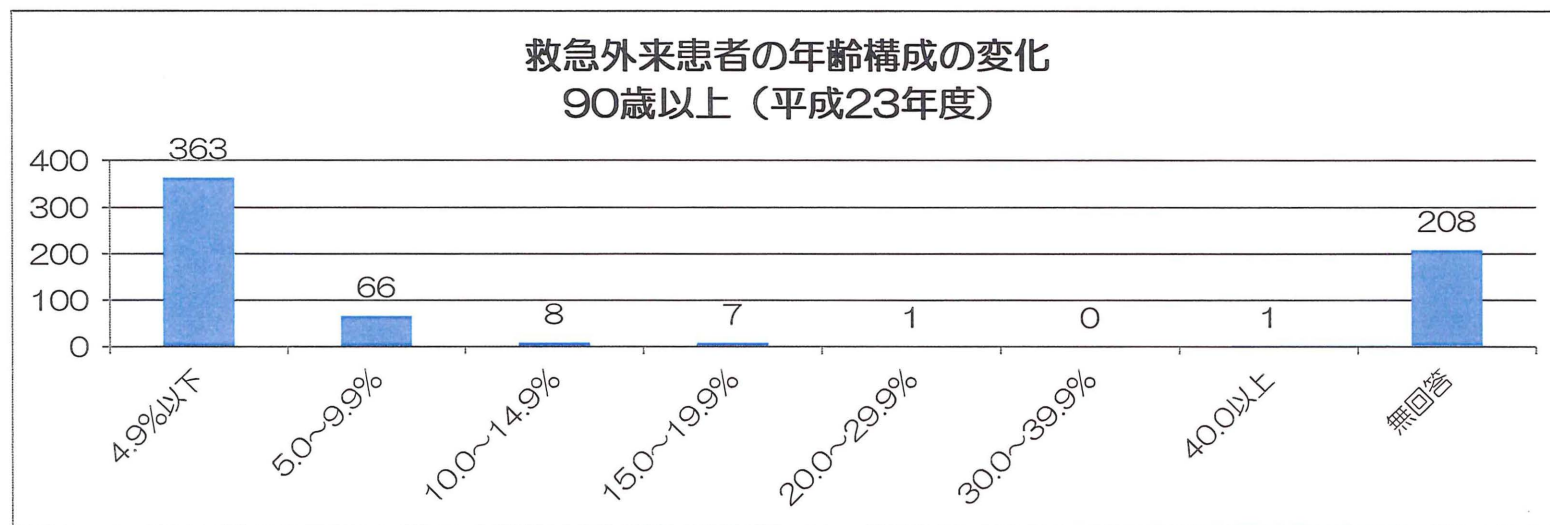
- ・90歳以上（再掲）
- （1）平成22年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 347 | 53.1% |
| 5.0~9.9% | 51 | 7.8% |
| 10.0~14.9% | 14 | 2.1% |
| 15.0~19.9% | 5 | 0.8% |
| 20.0~29.9% | 0 | 0.0% |
| 30.0~39.9% | 0 | 0.0% |
| 40.0以上 | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 236 | 36.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



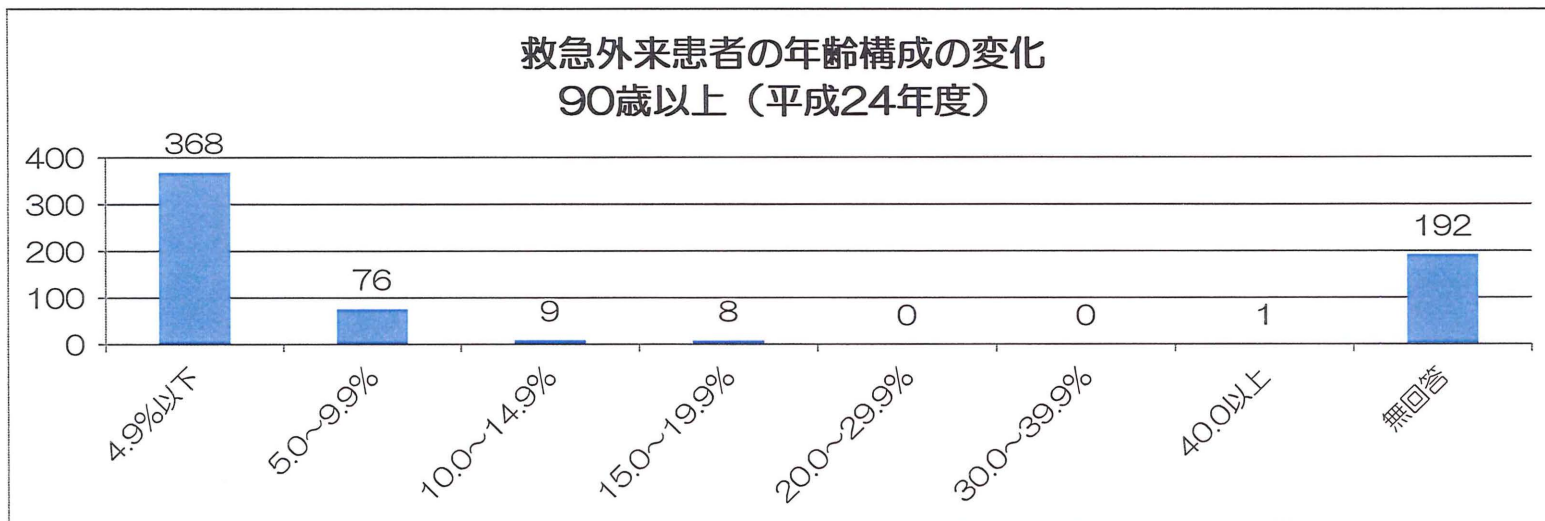
(2) 平成23年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 363 | 55.5% |
| 5.0~9.9% | 66 | 10.1% |
| 10.0~14.9% | 8 | 1.2% |
| 15.0~19.9% | 7 | 1.1% |
| 20.0~29.9% | 1 | 0.2% |
| 30.0~39.9% | 0 | 0.0% |
| 40.0以上 | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 208 | 31.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



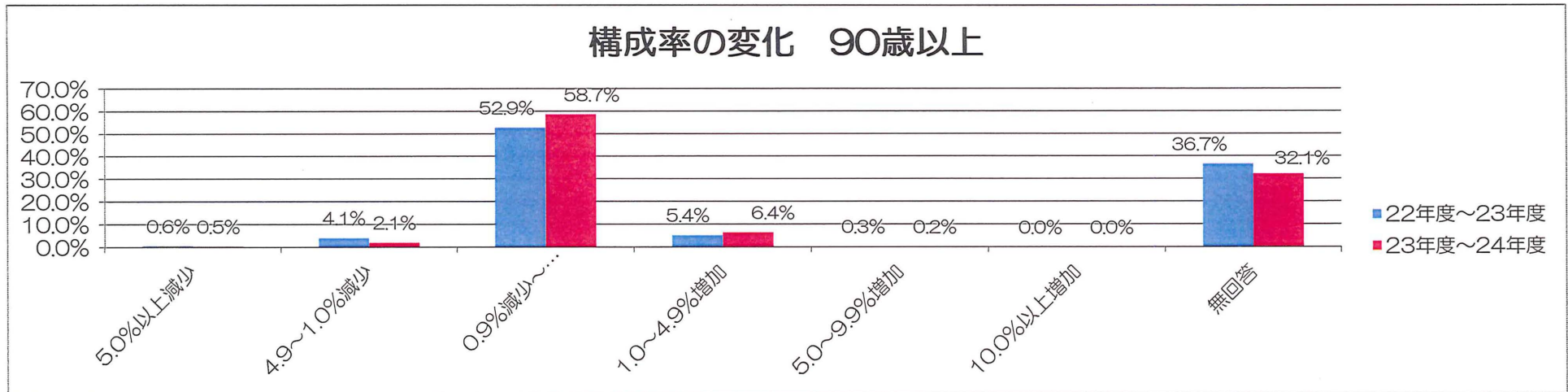
(3) 平成24年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 368 | 56.3% |
| 5.0~9.9% | 76 | 11.6% |
| 10.0~14.9% | 9 | 1.4% |
| 15.0~19.9% | 8 | 1.2% |
| 20.0~29.9% | 0 | 0.0% |
| 30.0~39.9% | 0 | 0.0% |
| 40.0以上 | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 192 | 29.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



(4) 構成率の変化

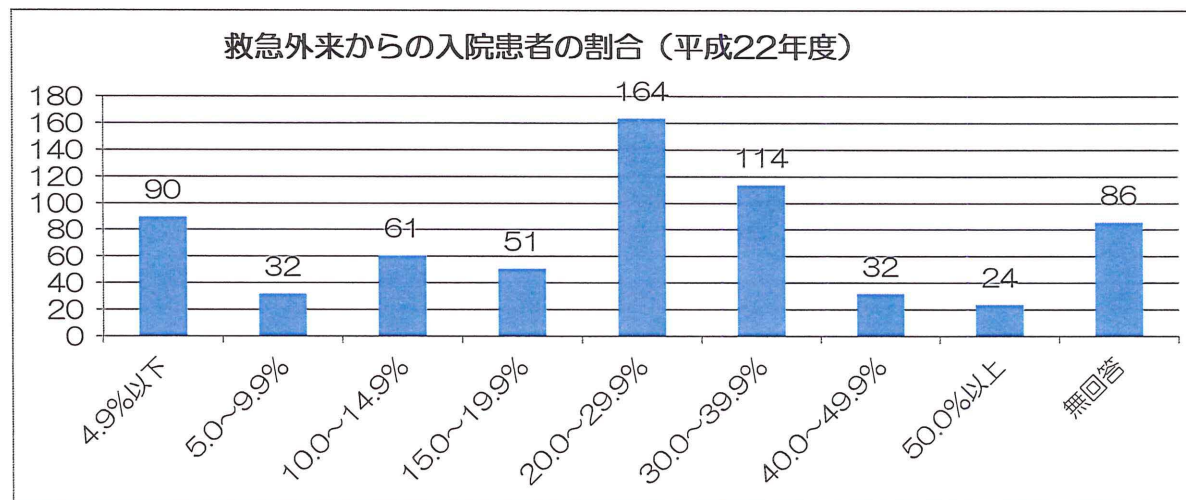
| 割合の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 4 | 0.6% | 3 | 0.5% |
| 4.9～1.0%減少 | 27 | 4.1% | 14 | 2.1% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 346 | 52.9% | 384 | 58.7% |
| 1.0～4.9%増加 | 35 | 5.4% | 42 | 6.4% |
| 5.0～9.9%増加 | 2 | 0.3% | 1 | 0.2% |
| 10.0%以上増加 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 240 | 36.7% | 210 | 32.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



●救急外来（業務時間内救急車を含む）からの入院患者が病院全体の入院患者に占める割合

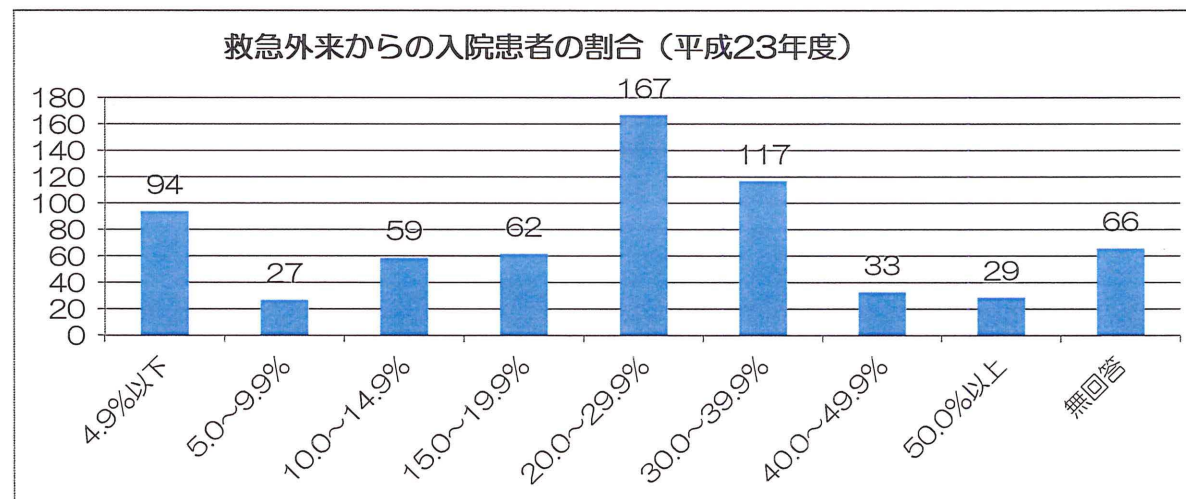
(1)平成22年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 90 | 13.8% |
| 5.0~9.9% | 32 | 4.9% |
| 10.0~14.9% | 61 | 9.3% |
| 15.0~19.9% | 51 | 7.8% |
| 20.0~29.9% | 164 | 25.1% |
| 30.0~39.9% | 114 | 17.4% |
| 40.0~49.9% | 32 | 4.9% |
| 50.0%以上 | 24 | 3.7% |
| 無回答 | 86 | 13.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



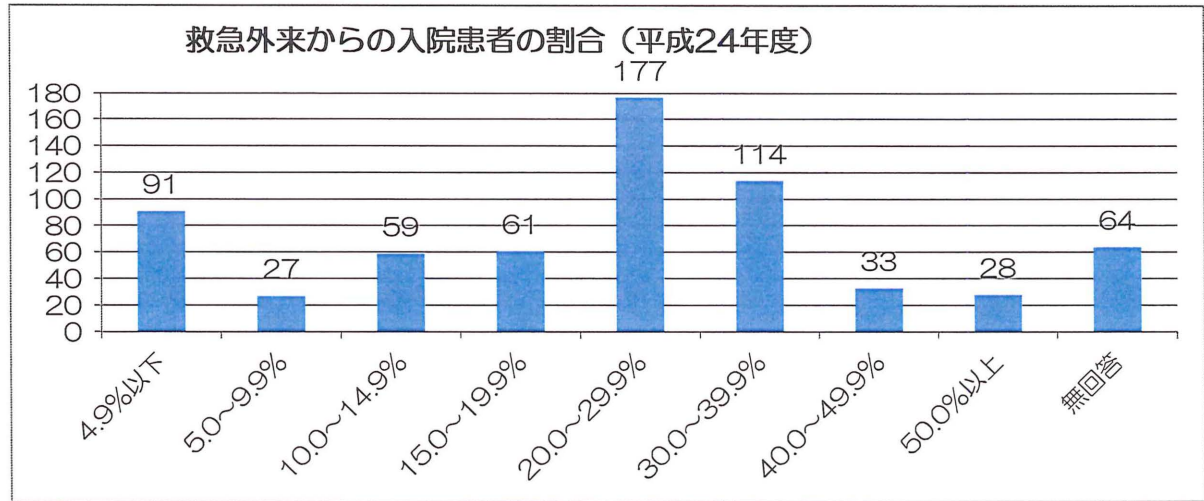
(2)平成23年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 94 | 14.4% |
| 5.0~9.9% | 27 | 4.1% |
| 10.0~14.9% | 59 | 9.0% |
| 15.0~19.9% | 62 | 9.5% |
| 20.0~29.9% | 167 | 25.5% |
| 30.0~39.9% | 117 | 17.9% |
| 40.0~49.9% | 33 | 5.0% |
| 50.0%以上 | 29 | 4.4% |
| 無回答 | 66 | 10.1% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



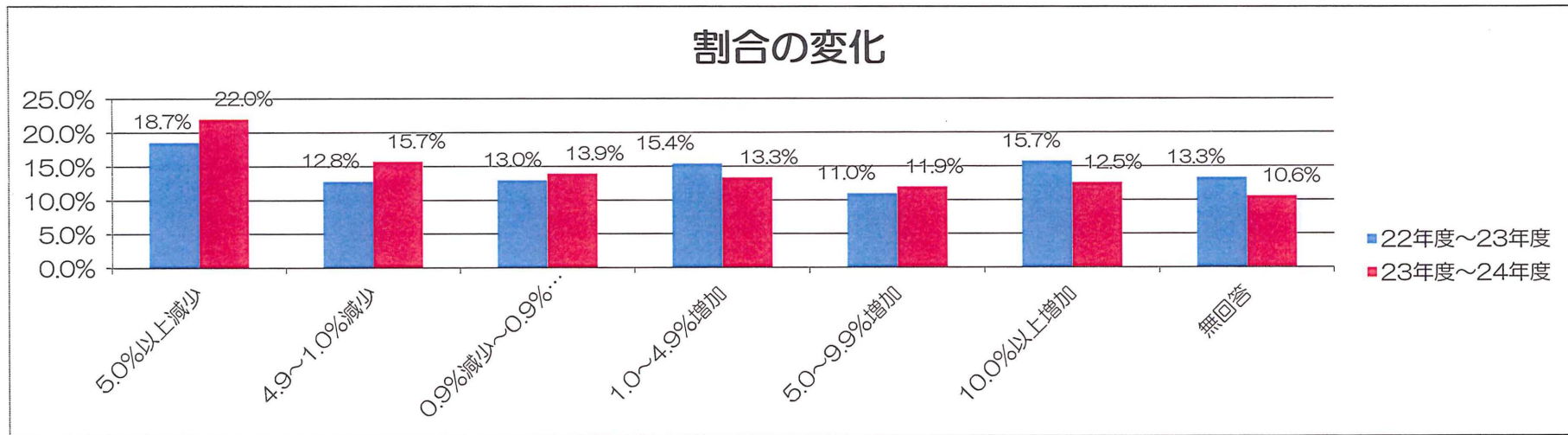
(3) 平成24年度

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 4.9%以下 | 91 | 13.9% |
| 5.0~9.9% | 27 | 4.1% |
| 10.0~14.9% | 59 | 9.0% |
| 15.0~19.9% | 61 | 9.3% |
| 20.0~29.9% | 177 | 27.1% |
| 30.0~39.9% | 114 | 17.4% |
| 40.0~49.9% | 33 | 5.0% |
| 50.0%以上 | 28 | 4.3% |
| 無回答 | 64 | 9.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



(4) 割合の変化

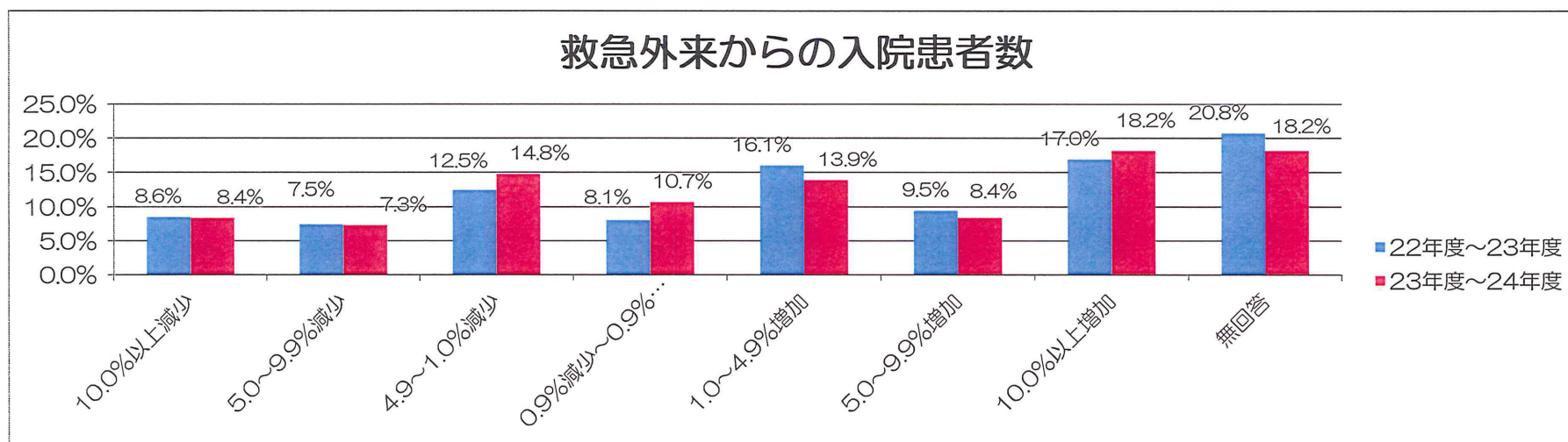
| 割合の変化 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 5.0%以上減少 | 122 | 18.7% | 144 | 22.0% |
| 4.9～1.0%減少 | 84 | 12.8% | 103 | 15.7% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 85 | 13.0% | 91 | 13.9% |
| 1.0～4.9%増加 | 101 | 15.4% | 87 | 13.3% |
| 5.0～9.9%増加 | 72 | 11.0% | 78 | 11.9% |
| 10.0%以上増加 | 103 | 15.7% | 82 | 12.5% |
| 無回答 | 87 | 13.3% | 69 | 10.6% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



●救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者が病院全体の収入に関連しているか否かの検討

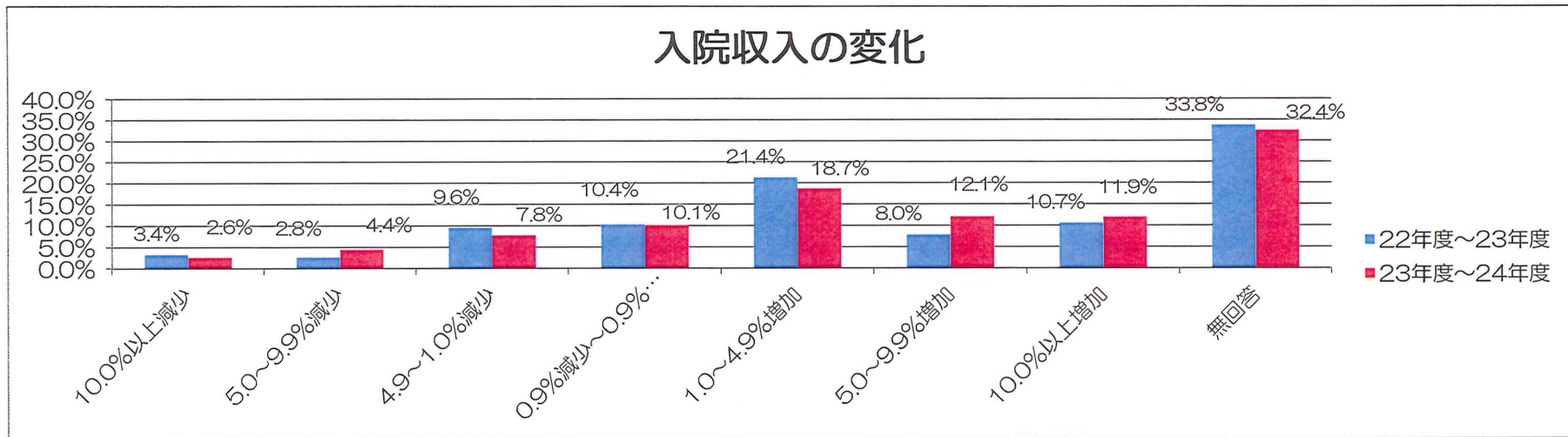
(1) 救急外来(業務時間内救急車を含む)からの入院患者数(率ではなく絶対数の変化)

| 変化率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 10.0%以上減少 | 56 | 8.6% | 55 | 8.4% |
| 5.0～9.9%減少 | 49 | 7.5% | 48 | 7.3% |
| 4.9～1.0%減少 | 82 | 12.5% | 97 | 14.8% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 53 | 8.1% | 70 | 10.7% |
| 1.0～4.9%増加 | 105 | 16.1% | 91 | 13.9% |
| 5.0～9.9%増加 | 62 | 9.5% | 55 | 8.4% |
| 10.0%以上増加 | 111 | 17.0% | 119 | 18.2% |
| 無回答 | 136 | 20.8% | 119 | 18.2% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |



(2) 入院収入の変化

| 変化率 | 22年度～23年度 | | 23年度～24年度 | |
|---------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 病院数 | 構成比 | 病院数 | 構成比 |
| 10.0%以上減少 | 22 | 3.4% | 17 | 2.6% |
| 5.0～9.9%減少 | 18 | 2.8% | 29 | 4.4% |
| 4.9～1.0%減少 | 63 | 9.6% | 51 | 7.8% |
| 0.9%減少～0.9%増加 | 68 | 10.4% | 66 | 10.1% |
| 1.0～4.9%増加 | 140 | 21.4% | 122 | 18.7% |
| 5.0～9.9%増加 | 52 | 8.0% | 79 | 12.1% |
| 10.0%以上増加 | 70 | 10.7% | 78 | 11.9% |
| 無回答 | 221 | 33.8% | 212 | 32.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% | 654 | 100.0% |

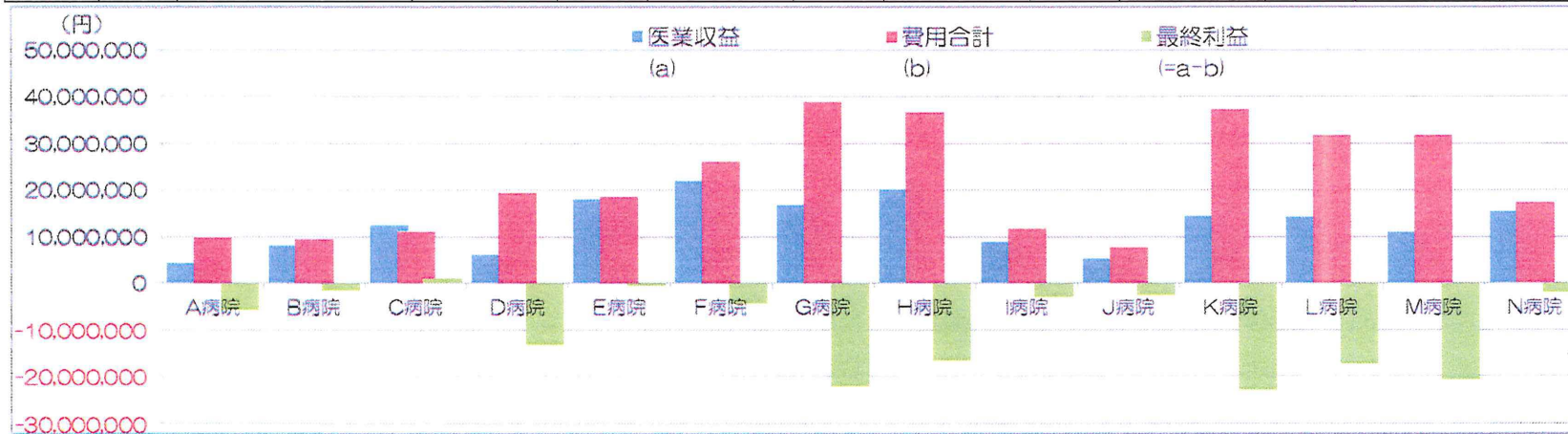


④救急外来原価計算のお尋ね（二次救急病院に限る）

●救急外来部門損益計算の結果

（調査期間：平成25年9月単月）

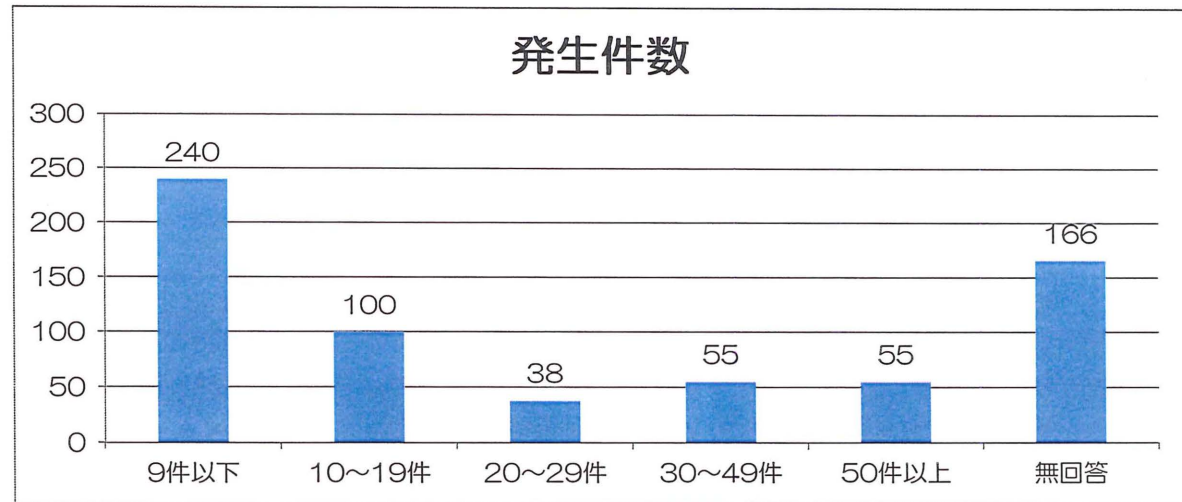
| | 病床数 | 医業収益 (a) | | 費用合計 (b) | | | | | | 最終利益 (=a-b) | | | |
|-----|-----|-------------|-----------|-------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|----------------|-----------|-------------|--------|
| | | 金額 円 | 構成比率 % | 給与費 | | 材料費 | | その他 | | 金額 円 | 構成比率 % | | |
| | | | | 金額 円 | 構成比率 % | 金額 円 | 構成比率 % | 金額 円 | 構成比率 % | | | | |
| A病院 | 190 | 4,275,763 | 100.0 | 10,018,785 | 234.3 | 8,095,784 | 189.3 | 672,972 | 15.7 | 1,250,029 | 29.2 | -5,743,022 | -134.3 |
| B病院 | 206 | 7,969,643 | 100.0 | 9,580,057 | 120.2 | 4,552,761 | 57.1 | 1,748,828 | 21.9 | 3,278,469 | 41.1 | -1,610,414 | -20.2 |
| C病院 | 216 | 12,365,810 | 100.0 | 11,278,509 | 91.2 | 6,068,179 | 49.1 | 3,023,220 | 24.4 | 2,187,110 | 17.7 | 1,087,301 | 8.8 |
| D病院 | 224 | 6,117,600 | 100.0 | 19,510,339 | 318.9 | 14,825,390 | 242.3 | 818,100 | 13.4 | 3,866,849 | 63.2 | -13,392,739 | -218.9 |
| E病院 | 255 | 18,026,451 | 100.0 | 18,645,933 | 103.4 | 9,064,900 | 50.3 | 4,555,200 | 25.3 | 5,025,834 | 27.9 | -619,482 | -3.4 |
| F病院 | 262 | 21,924,013 | 100.0 | 26,304,488 | 120.0 | 9,123,348 | 41.6 | 4,560,780 | 20.8 | 12,620,360 | 57.6 | -4,380,475 | -20.0 |
| G病院 | 266 | 16,731,170 | 100.0 | 38,940,658 | 232.7 | 4,652,311 | 27.8 | 2,796,103 | 16.7 | 31,492,244 | 188.2 | -22,209,488 | -132.7 |
| H病院 | 267 | 20,059,552 | 100.0 | 36,678,072 | 182.8 | 18,581,922 | 92.6 | 7,498,302 | 37.4 | 10,597,848 | 52.8 | -16,618,520 | -82.8 |
| I病院 | 308 | 8,908,468 | 100.0 | 11,867,023 | 133.2 | 6,729,744 | 75.5 | 1,937,257 | 21.7 | 3,200,022 | 35.9 | -2,958,555 | -33.2 |
| J病院 | 351 | 5,224,000 | 100.0 | 7,855,000 | 150.4 | 4,410,000 | 84.4 | 1,160,000 | 22.2 | 2,285,000 | 43.7 | -2,631,000 | -50.4 |
| K病院 | 380 | 14,439,469 | 100.0 | 37,415,785 | 259.1 | 8,203,672 | 56.8 | 4,601,573 | 31.9 | 24,610,540 | 170.4 | -22,976,316 | -159.1 |
| L病院 | 405 | 14,198,223 | 100.0 | 31,782,912 | 223.9 | 18,807,979 | 132.5 | 3,682,972 | 25.9 | 9,291,961 | 65.4 | -17,584,689 | -123.9 |
| M病院 | 433 | 10,923,584 | 100.0 | 31,714,996 | 290.3 | 23,938,101 | 219.1 | 3,728,159 | 34.1 | 4,048,735 | 37.1 | -20,791,412 | -190.3 |
| N病院 | 472 | 15,316,603 | 100.0 | 17,415,673 | 113.7 | 16,566,243 | 108.2 | 335,837 | 2.2 | 513,592 | 3.4 | -2,099,070 | -13.7 |



⑤救急外来における未収金

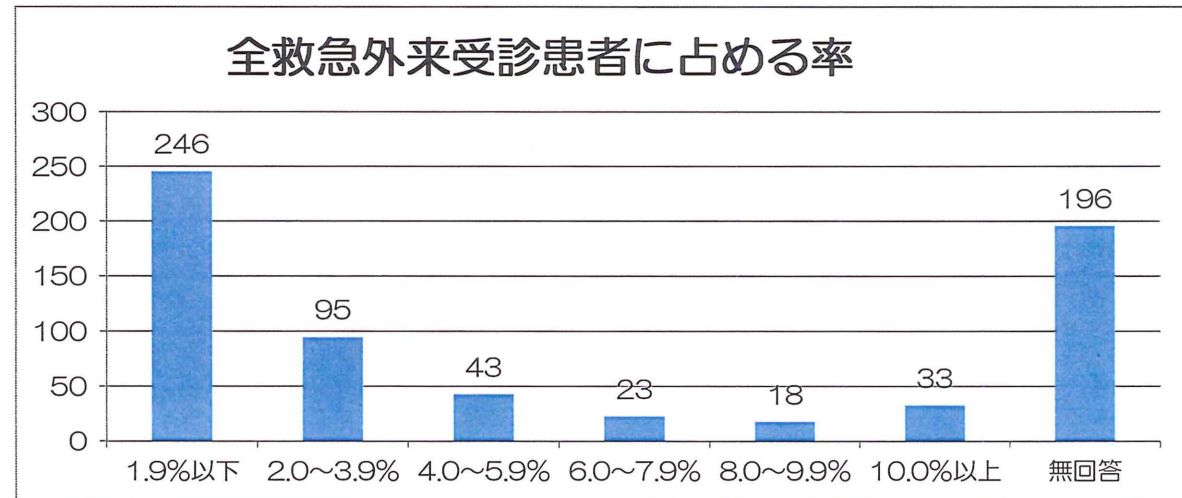
●発生件数

| 件数 | 病院数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 9件以下 | 240 | 36.7% |
| 10~19件 | 100 | 15.3% |
| 20~29件 | 38 | 5.8% |
| 30~49件 | 55 | 8.4% |
| 50件以上 | 55 | 8.4% |
| 無回答 | 166 | 25.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



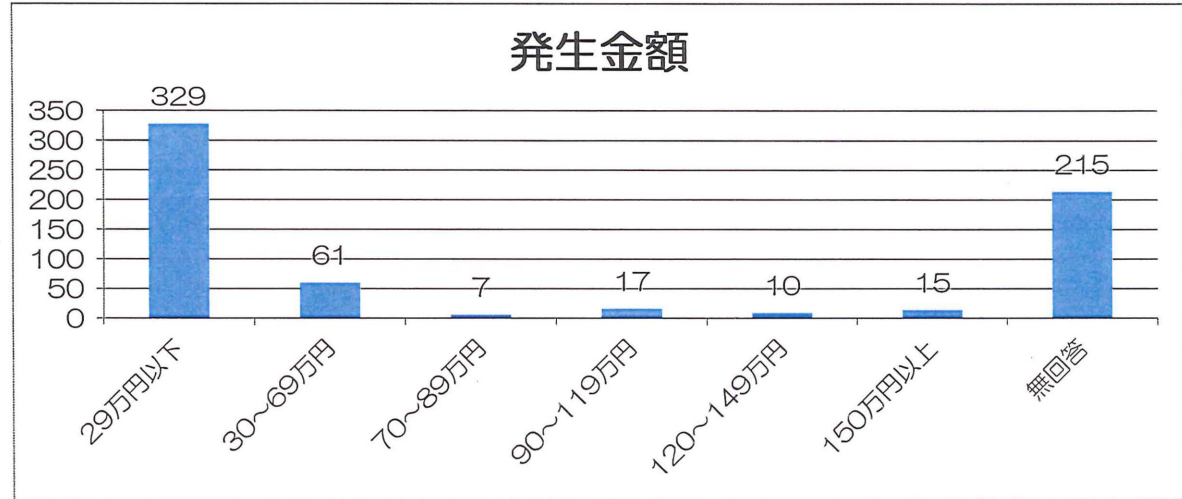
●全救急外来受診患者に占める率

| 割合 | 病院数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 1.9%以下 | 246 | 37.6% |
| 2.0~3.9% | 95 | 14.5% |
| 4.0~5.9% | 43 | 6.6% |
| 6.0~7.9% | 23 | 3.5% |
| 8.0~9.9% | 18 | 2.8% |
| 10.0%以上 | 33 | 5.0% |
| 無回答 | 196 | 30.0% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



●発生金額

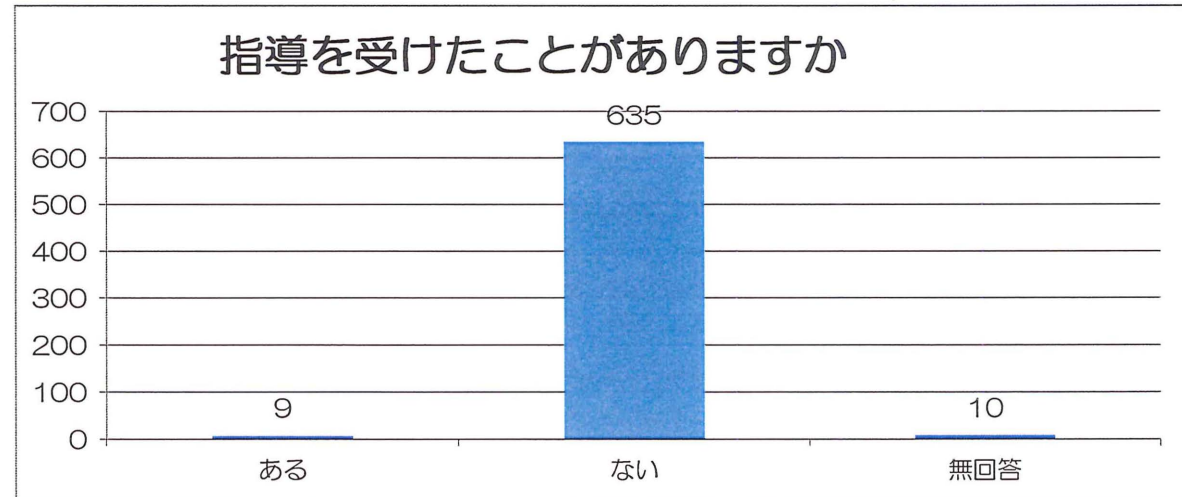
| 金額 | 病院数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| 29万円以下 | 329 | 50.3% |
| 30~69万円 | 61 | 9.3% |
| 70~89万円 | 7 | 1.1% |
| 90~119万円 | 17 | 2.6% |
| 120~149万円 | 10 | 1.5% |
| 150万円以上 | 15 | 2.3% |
| 無回答 | 215 | 32.9% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



◎医師の当直業務に関する解釈の不統一に関する問題

●医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けたことがありますか

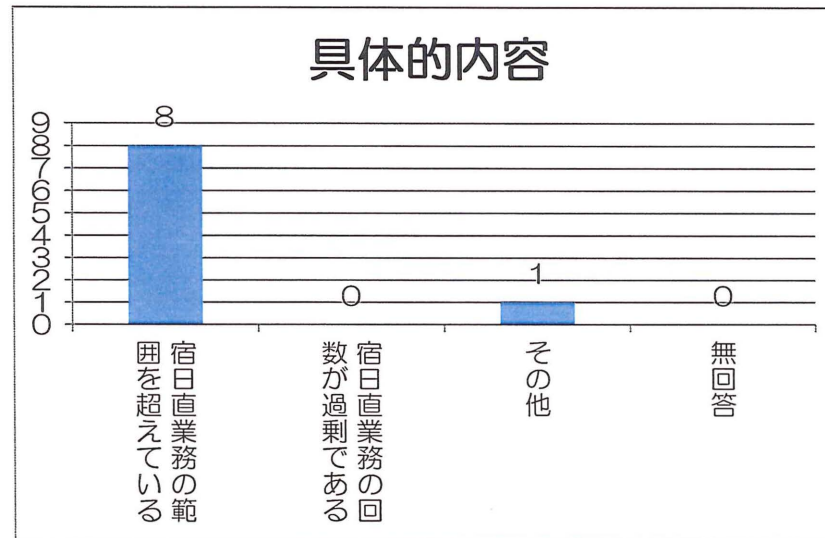
| | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| ある | 9 | 1.4% |
| ない | 635 | 97.1% |
| 無回答 | 10 | 1.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



●ある場合、具体的内容

| 内容 | 病院数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| 宿日直業務の範囲を超えている | 8 | 88.9% |
| 宿日直業務の回数が過剰である | 0 | 0.0% |
| その他 | 1 | 11.1% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 9 | 100.0% |

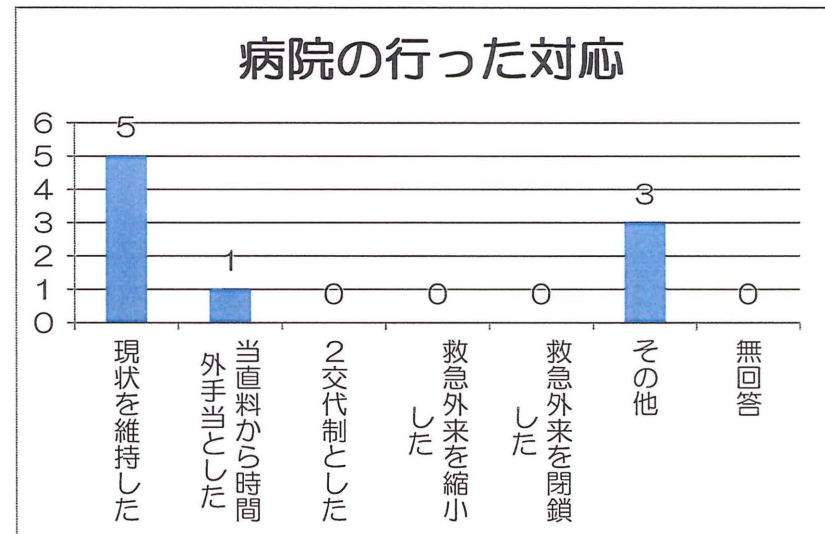
※構成比はあると答えた施設数（9）を分母として算出



●ある場合、病院の行った対応

| 対応 | 病院数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 現状を維持した | 5 | 55.6% |
| 当直料から時間外手当とした | 1 | 11.1% |
| 2交代制とした | 0 | 0.0% |
| 救急外来を縮小した | 0 | 0.0% |
| 救急外来を閉鎖した | 0 | 0.0% |
| その他 | 3 | 33.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 9 | 100.0% |

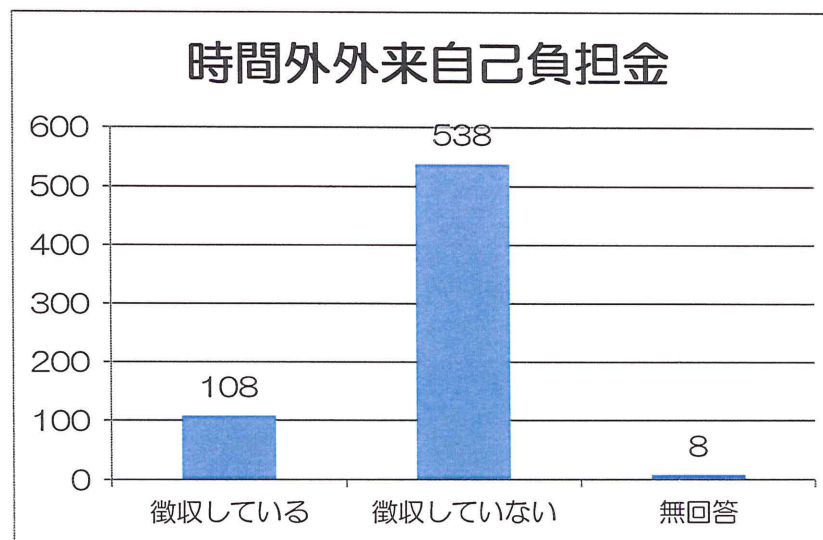
※構成比はあると答えた施設数（9）を分母として算出



⑦時間外外来自己負担金（選定療養費）

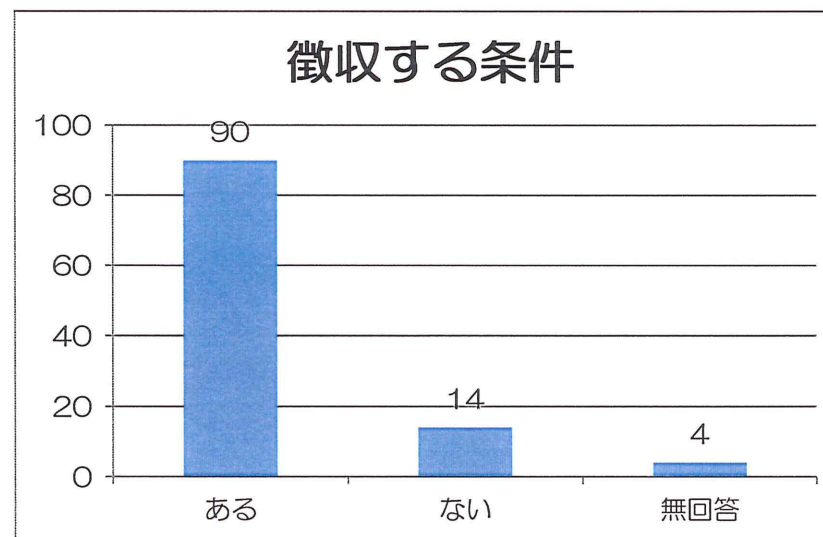
●時間外外来自己負担金を徴収していますか

| | 病院数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 徴収している | 108 | 16.5% |
| 徴収していない | 538 | 82.3% |
| 無回答 | 8 | 1.2% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



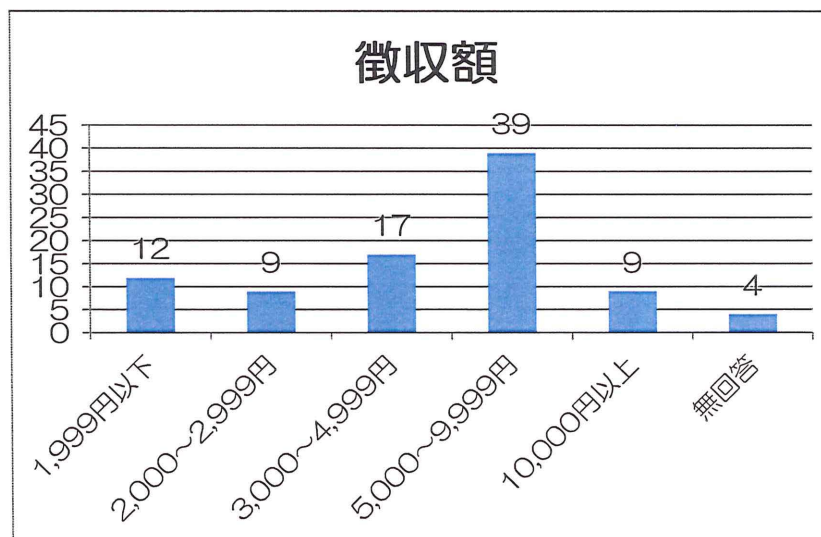
●徴収している場合、徴収する条件がありますか

| | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| ある | 90 | 83.3% |
| ない | 14 | 13.0% |
| 無回答 | 4 | 3.7% |
| 合計 | 108 | 100.0% |



(1)条件がある場合、徴収額

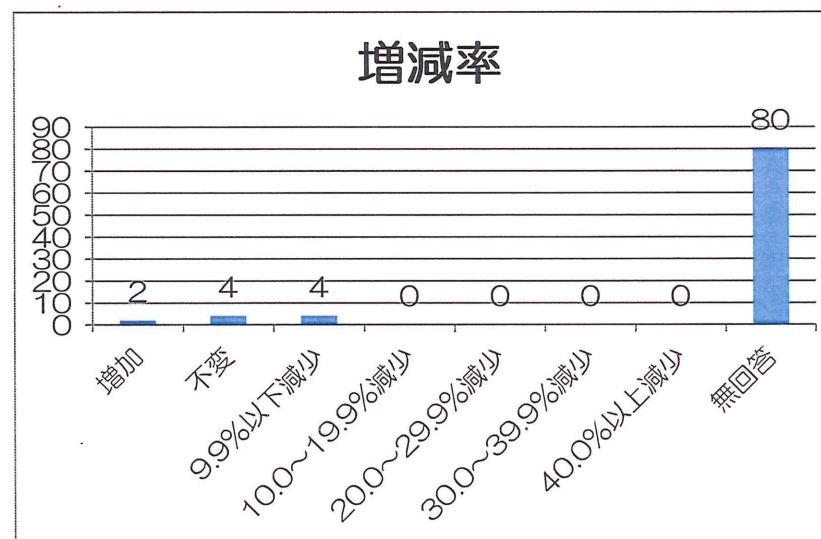
| 徴収額 | 病院数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| 1,999円以下 | 12 | 13.3% |
| 2,000~2,999円 | 9 | 10.0% |
| 3,000~4,999円 | 17 | 18.9% |
| 5,000~9,999円 | 39 | 43.3% |
| 10,000円以上 | 9 | 10.0% |
| 無回答 | 4 | 4.4% |
| 合計 | 90 | 100.0% |



(2) **24年度中に徴収を始めた病院で**

徴収前後での時間外外来患者の増減率

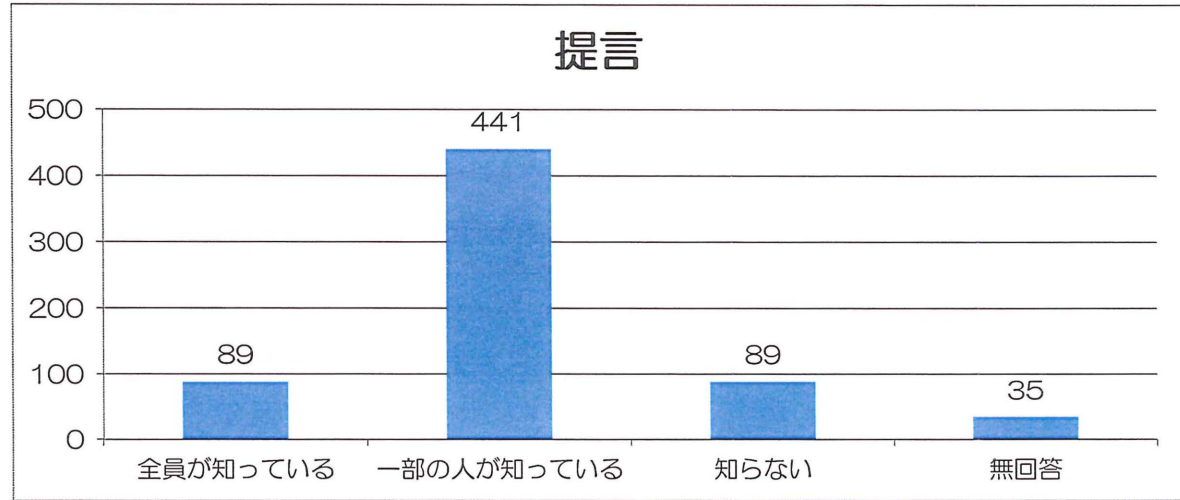
| 増減率 | 病院数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| 増加 | 2 | 2.2% |
| 不変 | 4 | 4.4% |
| 9.9%以下減少 | 4 | 4.4% |
| 10.0~19.9%減少 | 0 | 0.0% |
| 20.0~29.9%減少 | 0 | 0.0% |
| 30.0~39.9%減少 | 0 | 0.0% |
| 40.0%以上減少 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 80 | 88.9% |
| 合計 | 90 | 100.0% |



⑧終末期医療

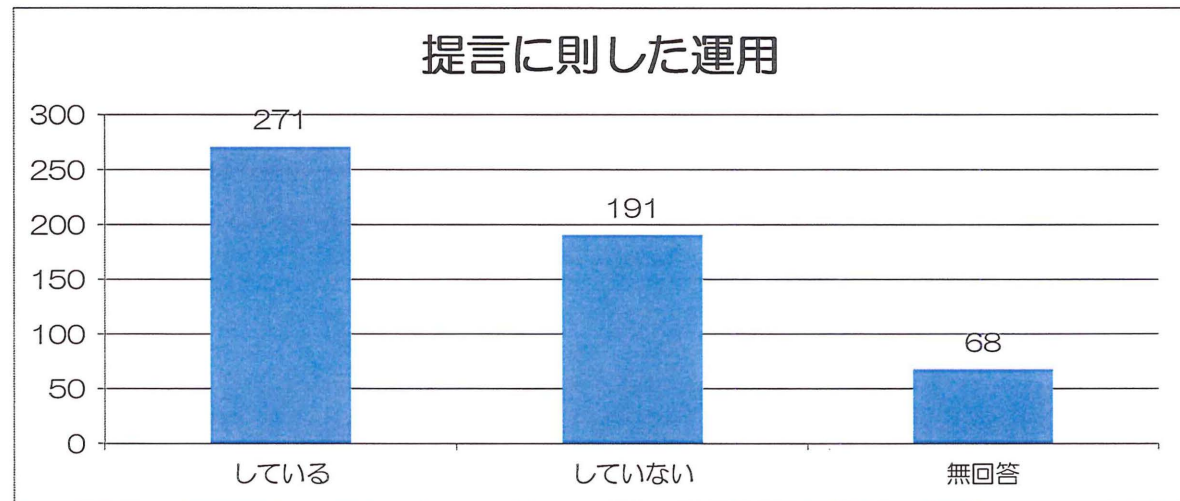
●日本救急医学会終末期医療のあり方検討委員会のガイドライン「救急医療における終末期医療に関する提言」を現場が知っていますか

| 提言 | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 全員が知っている | 89 | 13.6% |
| 一部の人が知っている | 441 | 67.4% |
| 知らない | 89 | 13.6% |
| 無回答 | 35 | 5.4% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



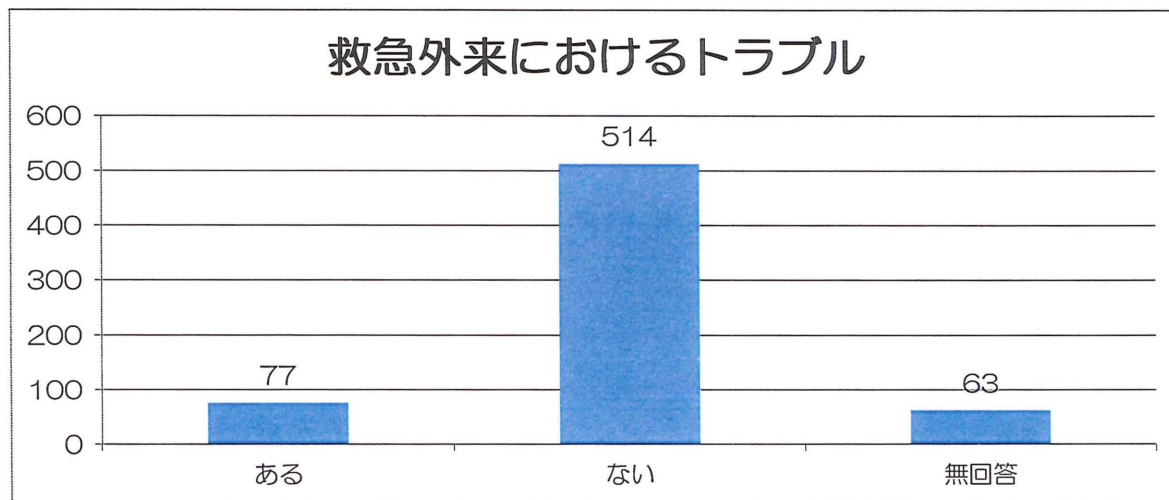
●知っている場合、「提言」に則した運用をしていますか

| 提言の利用 | 病院数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| している | 271 | 51.1% |
| していない | 191 | 36.0% |
| 無回答 | 68 | 12.8% |
| 合計 | 530 | 100.0% |



●救急外来においてトラブルが生じたことがありますか

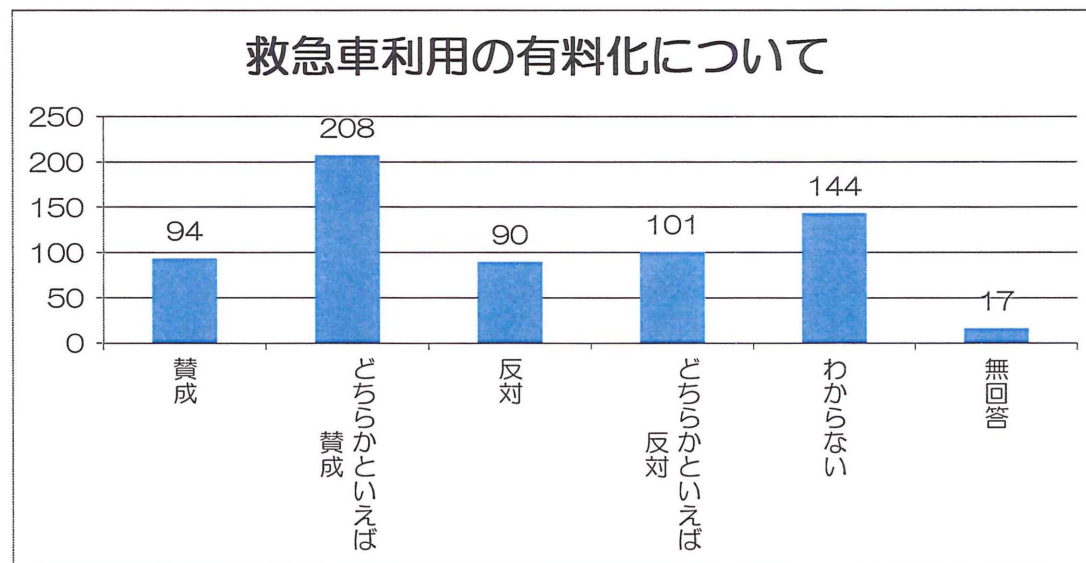
| | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| ある | 77 | 11.8% |
| ない | 514 | 78.6% |
| 無回答 | 63 | 9.6% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



◎救急車の有料化

●救急車利用の有料化について

| | 病院数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 賛成 | 94 | 14.4% |
| どちらかといえば賛成 | 208 | 31.8% |
| 反対 | 90 | 13.8% |
| どちらかといえば反対 | 101 | 15.4% |
| わからない | 144 | 22.0% |
| 無回答 | 17 | 2.6% |
| 合計 | 654 | 100.0% |

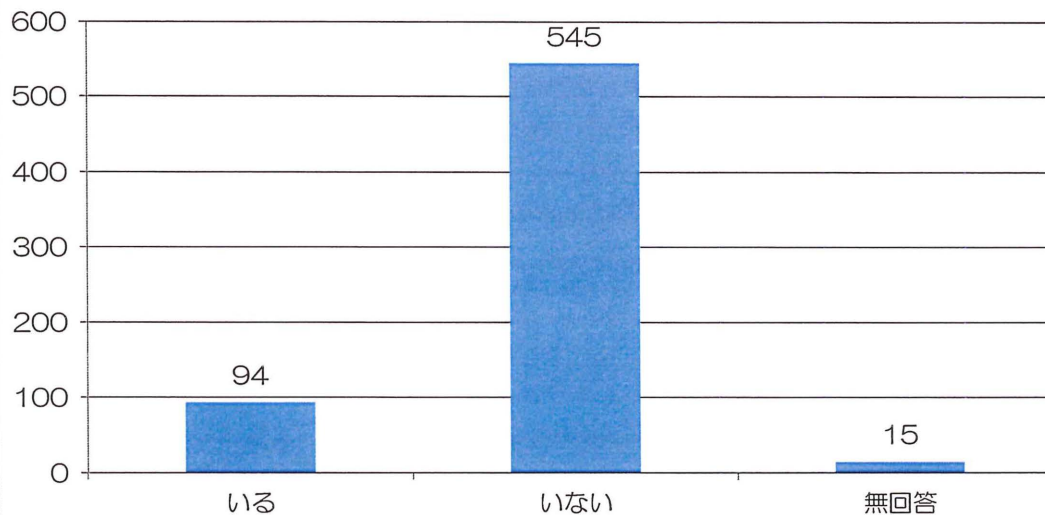


⑩診療アシスタントについて

●救急に専従の診療アシスタントはいますか

| | 病院数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| いる | 94 | 14.4% |
| いない | 545 | 83.3% |
| 無回答 | 15 | 2.3% |
| 合計 | 654 | 100.0% |

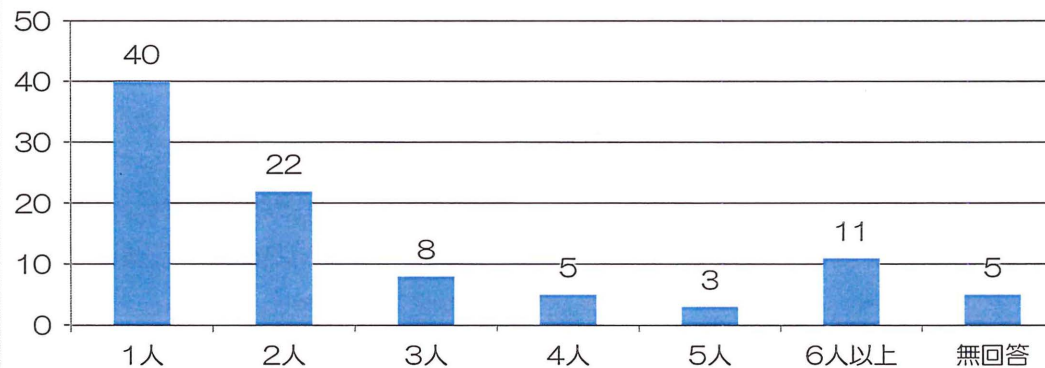
救急に専従の診療アシスタントはいますか



●診療アシスタントの人数

| 人数 | 病院数 | 構成比 |
|------|-----|--------|
| 1人 | 40 | 42.6% |
| 2人 | 22 | 23.4% |
| 3人 | 8 | 8.5% |
| 4人 | 5 | 5.3% |
| 5人 | 3 | 3.2% |
| 6人以上 | 11 | 11.7% |
| 無回答 | 5 | 5.3% |
| 合計 | 94 | 100.0% |

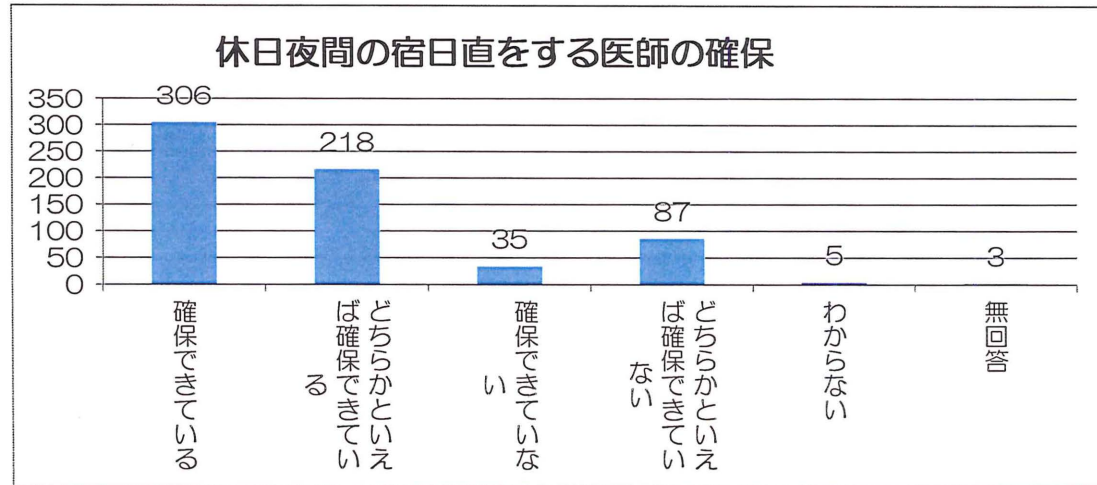
診療アシスタントの人数



⑪ 休日夜間の宿日直をする医師・看護師の確保について

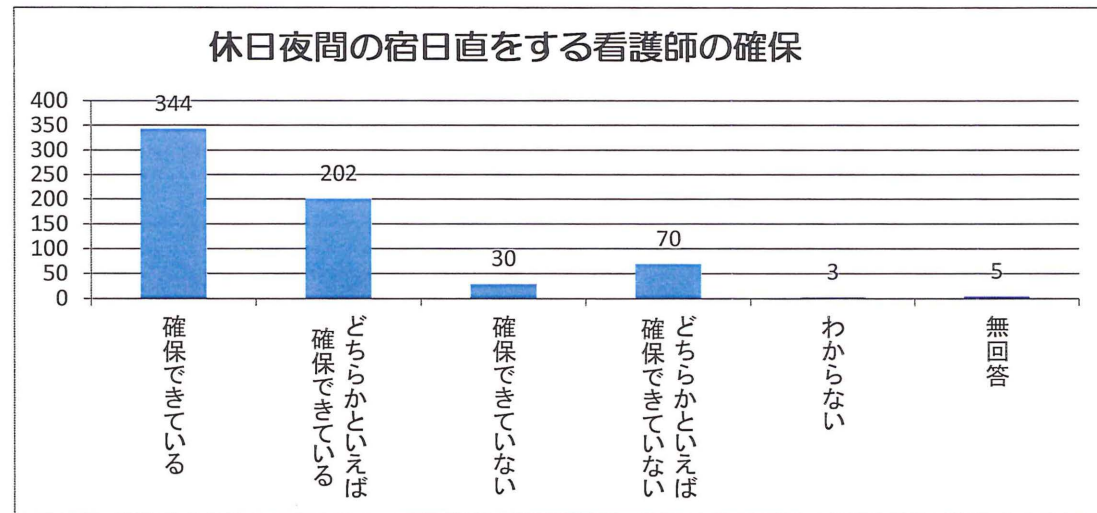
● 休日夜間の宿日直をする医師の確保

| | 病院数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| 確保できている | 306 | 46.8% |
| どちらかといえば確保できてい | 218 | 33.3% |
| 確保できていない | 35 | 5.4% |
| どちらかといえば確保できていない | 87 | 13.3% |
| わからない | 5 | 0.8% |
| 無回答 | 3 | 0.5% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



● 休日夜間の宿日直をする看護師の確保

| | 病院数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| 確保できている | 344 | 52.6% |
| どちらかといえば確保できてい | 202 | 30.9% |
| 確保できていない | 30 | 4.6% |
| どちらかといえば確保できていない | 70 | 10.7% |
| わからない | 3 | 0.5% |
| 無回答 | 5 | 0.8% |
| 合計 | 654 | 100.0% |



平成24年度救急医療アンケート

別紙1

救急外来対応可能な科

| 科目 | 計 | 科目 | 計 | 科目 | 計 |
|----------------|---|--------------|----|------------|----|
| アレルギー科 | 3 | 産婦人科 | 1 | 糖尿病・内分泌内科 | 1 |
| ペインクリニック | 1 | 歯科 | 5 | 糖尿病代謝内科 | 1 |
| メンタルクリニック | 1 | 歯科・口腔外科 | 2 | 糖尿病内科 | 4 |
| リウマチ・糖尿病科 | 1 | 歯科・歯科口腔外科 | 1 | 糖尿病内分泌内科 | 1 |
| リウマチ・膠原病内科 | 1 | 歯科口腔外科 | 39 | 透析科 | 1 |
| リウマチ科 | 7 | 歯口科 | 1 | 内科 | 2 |
| リウマチ膠原病アレルギー内科 | 1 | 児童精神科 | 1 | 内科和漢・リウマチ科 | 1 |
| リハビリテーション科 | 9 | 耳鼻咽喉科 | 3 | 内視鏡外科 | 1 |
| リハビリ科 | 1 | 耳鼻科 | 1 | 内分泌・糖内科 | 1 |
| リュウマチ膠原病内科 | 1 | 腫瘍内科 | 5 | 内分泌内科 | 1 |
| 胃腸科 | 1 | 循環器内科 | 6 | 乳腺科 | 1 |
| 外科 | 3 | 小児科 | 1 | 乳腺外科 | 7 |
| 感染症リウマチ科 | 1 | 小児心臓外科 | 1 | 乳腺外来 | 1 |
| 感染症科 | 3 | 小児脳神経外科 | 1 | 乳腺内分泌外科 | 3 |
| 感染症内科 | 3 | 消化器・肝臓内科 | 1 | 脳・血管内科 | 1 |
| 緩和ケア | 1 | 消化器科 | 6 | 脳血管治療科 | 1 |
| 緩和ケア科 | 2 | 消化器肝臓内科 | 1 | 脳神経外科 | 3 |
| 緩和ケア内科 | 5 | 消化器内科 | 52 | 脳神経内科 | 3 |
| 肝・胆・膵外科 | 1 | 心臓外科 | 1 | 脳卒中科 | 1 |
| 肝臓・胆のう・膵臓内科 | 1 | 心臓血管外科 | 1 | 泌尿器科 | 3 |
| 肝臓内科 | 3 | 心療内科 | 1 | 皮膚科 | 96 |
| 肝胆膵内科 | 1 | 神経精神科 | 2 | 病理診断科 | 1 |
| 眼科 | 1 | 神経内科 | 36 | 婦人科 | 11 |
| 救急診療科 | 1 | 人工透析内科 | 1 | 放射線科 | 26 |
| 胸部・乳腺外科 | 1 | 腎臓・泌尿器科 | 1 | 放射線治療科 | 3 |
| 血液腫瘍内科 | 1 | 整形外科 | 3 | 放射線診断科 | 2 |
| 血管外科 | 5 | 精神科 | 33 | 麻酔科 | 41 |
| 呼吸器外科 | 3 | 精神神経科 | 2 | 臨床検査科 | 1 |
| 呼吸器内科 | 6 | 総合内科 | 1 | 肛門科 | 1 |
| 口腔外科 | 2 | 代謝・腎臓・リウマチ内科 | 1 | 膠原病・リウマチ科 | 1 |
| 高血圧内科 | 1 | 糖尿病 | 1 | 膠原病内科 | 2 |
| 産科 | 1 | 糖尿病・代謝内科 | 1 | 頸部外科 | 1 |

別紙2

医師の当直業務に関して労働基準局から指導を受けた内容（その他）

- ・当直労働に対する割増賃金支払いの指導

別紙3

病院の行った内容

- ・医師1人当たり当直・日直の回数削減、非常勤医師に当直・日直変更する。
- ・当面検討課題として留保。
- ・変形労働時間を採用した。

別紙4

終末期医療の対応トラブル

- 主治医の方針が当直医に伝達されていない場合、患者にとって配慮ができていない対応になってしまう。
- 末期状態であることを本人に告知されていない患者が搬送されてきた際、説明内容に対してのクレーム。
- 主治医からの明確な指示がない場合、当直医が主治医ではない場合が多いので、患者さんへの対応を家族に確認することになり、本人の意志（延命か否か）と乖離した治療を行ってしまう場合がある。
- 他院に終末期ケアで紹介した患者が一時帰宅時に急変して当院へ運ばれてきた。施設入所中、連絡や説明不足で、救急車で搬入され、処置を行ってから、家族、施設の人がきてDNRだったと分かった。
- DNARオーダーがとられていたが、家族が救急要請をすることにより、CPRや特定行為が実施された。カルテを見るまで分からなかった。
- ショートステイ等の介護施設で、がんの終末期患者の症状マネジメントが困難、看取りが近い等の理由で入院が必要と考え救急車で来院したのに、救急外来では入院の必要がない（施設に帰っても大丈夫）と判断され、困ったという話を事後に施設側から聞いたことがある。
- DNRのPtの搬送時家人の同意なく挿管した。
- 外来にてDNRを言い渡されていたが、CPAで搬送された際にCPRを求められた。
- 家族内での意見の相違が調整できない。
- 終末期医療に対するスタッフと患者家族の認識の違い。
- 施設からの搬送で蘇生したら、施設には蘇生不要と伝えてあったのに何故蘇生をしたのかとクレームがついた。
- かかりつけ医が遠方であったり、紹介状がない場合など、患者様に関する情報の不足（今までの経過等不明）のため対応に苦慮することがある。
- 救急隊は患者がDNARであることの把握が困難な為CPAに対するCPR進行の判断に苦戦することがある。患者を看取った後、その場にいなかった遺族から「なぜ蘇生をしなかったのか」と非難されることがある。
- CPAの患者の家族が来院後、「処置を希望しなかった」と申し出があり、当惑した。
- 死亡診断時に於いて、警察が介入する事があった。
- 家族内で、意思統一がなされておらず、患者様と一緒に来院された御家族は看取りを希望されたため、そのまま看取った。しかし、後から来院された御家族は蘇生を希望しており、主に家族内でトラブルとなったことがあった。
- 中には人生に終わりはないと思っているのではないかと考えたくなるご家族もいる。「死の教育」が必要である。
- かかりつけ医や患者及び家族との治療方針に対する考え方の相違。
- 近隣の老健から患者が救急車で運ばれてきました。当院の救急車で死亡されたため警察に連絡しました。老健からなぜ警察に連絡したかとクレームあり。（老健では施設内に警察が立ち入ることを嫌がっている様子）
- 「DNR」との合意のもと退院し自宅療養していたが、状態が急変した際、家族がパニックになり救急車を手配した為、救急隊により挿管された状態で搬送されてきた。延命措置の継続か否かで苦慮した。
- 施設での「看取り」で済む患者の急変時の救急搬送。
- 施設入所中の患者で家族と連絡がとれず、意志が確認できなかったため蘇生を行ったが、直後家族から何もしないでほしいと連絡があった。施設にもその旨を伝えてあったが、付き添ってきた職員が把握していなかった。
- 延命を望まないことを希望し、在宅療養に入った患者が急変し病院へ搬送されるケース。家族の心境変化と医療従事者の考え方にギャップがある。
- DNARの確認が自院の患者（訪問看護ST利用者等）にはとれているが救急の場合不明が多い。
- 蘇生してほしくなかったのに蘇生してしまった。
- DNARが不明で治療するかどうかの判断に迷った。DNARの基礎疾患とは別の病態で重症の場合の判断に迷う。DNARと延命措置や人工呼吸が同義なのかの判断に迷う。
- 施設入居者や1人暮らしの終末期患者が増えており、この場合キーパーソンの同伴が無く、医療処置施行の可否や蘇生術の断念の判断に

苦慮している。

- 蘇生しないことについて同意が得られていたが、蘇生してしまった。また急きょ家族から蘇生依頼されるケースがある。
- DNRが決まっていない時、CPRを行ってしまう事がある。
- DNRを希望していた家族に対し、救命蘇生を行った時。
- 心肺蘇生時、蘇生しないと決められていた患者に電子カルテ上明示されていなかった為、蘇生行為が行われた。
- 施設からのCPA症例の搬送に対し、ACLSに準じて挿管等の蘇生処置を施し、心拍再開をみたが、後になって家人が到着し、蘇生を同意であったことが判明。どうして挿管したのかトラブルになった。(DNARの書面は搬送時なかった)
- DNRとなっている患者の家族がDNRを認識していない方がいてトラブルになることがある。
- 看取り希望でも救急車で来られるためCPRが行われるので、それに対し家族や地域医療連携のスタッフから不満を言われた。
- 挿管実施の是非決定時、患者親族が遠方の場合の処置方法の決定時。
- 家人が揃うまで心肺蘇生を中止しないで欲しいとの要望がある。家人の中で意見が合わず蘇生行為の中止を拒否し延命処置をしなければならぬ。挿管チューブ抜去を希望(抜管すれば死亡するのが確実にもかかわらず)。
- 開業医により在宅医療を受けている患者でNoCPRとなっていたが、病院にCPA搬入された際に情報が無くCPRを行い親族より苦情を受けた。
- 肺癌末期の患者さんが「しんどいので入院したい」と夜間に救急車で搬送されることがある。当直医の対応について家族とトラブルになることが時々ある。
- 家族内で意見が異なる事があり終末期医療をガイドラインどおりに進められない。
- 本人が生前DNAR(延命処置を希望しない)と言っていたが、搬入時に家族と連絡がつかず気管挿管で呼吸器管理をしてしまったことがあった。
- 緊急状態の患者様に回復の処置を行ったが、ご家族様が処置を希望されていなかったためトラブルになった。
- 本人や家族のliving willの施設からERへの伝達が悪く、意思に反した治療を行ったことに対するクレームがあった。
- 延命治療をするのか?しないのか?意思統一できておらず困る。
- 延命治療の有無について、本人の意思が医療側に伝わらなかったため、意思に反した医療行為が行なわれた。
- 蘇生か看取りか迷う時 ①遠方から家族が到着するまでと望む場合。②若い患者の際に家人が諦めきれない場合。③施設に入所中の、老衰だと思われる患者の場合(事前に打合せができていない?)。
- DNRと知らせたが、CPRしながら救急搬送された。
- DNRであったのに、家族の中での同意が得られずに揉めた。
- 本人と家人の健在時の意向と異なる意向であったため。
- 老健施設と患者とその家族との相互確認が不足しており、老健施設から心肺蘇生を続けながら救急搬送された先で、その家族に蘇生でなく看取りを希望される場合がある。
- CPAで搬送された患者様が蘇生処置後呼吸器を装着していた事に家族より希望していなかったと言われた。
- 家族などと連絡が取れず、本人の意思表示ができない場合に不必要な集中治療を行ってしまう場合がある。
- 救急搬送されてきた患者に救命措置を行った後に、家族からNoCPRの意向であったことを知らされ、その後の治療に支障を生じた。
- 他病院でDNARの確認があったものの、急変・当院搬入時に伝達不備があり、救命措置・集中治療となり、家族とトラブル。
- 蘇生するかどうかで対応に苦慮する。
- 基礎疾患のある患者で、延命治療は望まないと家族に伝えていた方が急変した時に救急車を呼んで心マを行われながら搬送される事がある。
- 医師間での意見、考えの相違。
- 患者家族は患者本人が高齢の為、延命処置を希望せず、苦痛を取り除く最低限の治療のみを希望したが、医師は、蘇生希望しないのになぜ救急車を呼んだのかとトラブルになった。
- 身よりなしの人がいる。
- DNRの患者の際、記録の見逃しや伝達不十分で呼吸器を装着したり、蘇生を行ったことがあった。